

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧
郡山女子大学

学科名	科目名	単位数
生活科学科	キャリアデザインⅡ（生活科学科）	1
	コミュニケーション技術A	2
	運動健康論（生活科学科）	2
	建築設備	2
	建築法規Ⅰ	2
	建築法規Ⅱ	2
	社会福祉原論	2
	社会福祉調査の基礎	2
	消費生活論	2
	生活学的経済論	2
	生活学的社会論	2
	生活学的法律論	2
	特別支援教育総論	2
	日本国憲法	2
	学科合計	27
食物栄養学科	キャリアデザインⅡ（食物栄養学科）	1
	運動健康論（食物栄養学科）	2
	運動生理学	2
	栄養教育論Ⅰ	2
	栄養教育論Ⅱ	2
	生活学的経済論	2
	生活学的社会論	2
	生活学的法律論	2
	日本国憲法	2
	病理学	2
	臨床医学Ⅰ	2
	臨床医学Ⅱ	2
	学科合計	23

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧
郡山女子大学短期大学部

学科名	科目名	単位数
健康栄養学科		
	キャリアデザインⅡ（健康栄養学科）	1
	スポーツ実技	1
	健康スポーツ論	1
	自然科学（物理）	2
	社会福祉概論	2
	情報処理Ⅰ	2
	食品衛生学	2
	食品学Ⅱ	2
	数理・データサイエンス基礎（健康栄養）	2
	日本国憲法	2
	学科合計	17
幼児教育学科		
	キャリアデザインⅡ（幼児教育学科）	1
	教育原理	2
	健康スポーツ論	1
	子ども家庭福祉	2
	自然科学（物理）	2
	社会福祉	2
	数理・データサイエンス基礎（幼児教育）	2
	日本国憲法	2
	保育原理	2
	情報処理Ⅰ	2
	学科合計	18
地域創成学科		
	キャリアデザインⅡ（地域創成学科）	1
	デザイン論	2
	児童サービス論	2
	情報概論	2
	情報処理Ⅰ（地域創成学科）	2
	情報倫理	2
	数理・データサイエンス基礎（地域創成）	2
	生涯学習概論	2
	博物館経営論	2
	博物館資料保存論	2
	学科合計	19
専攻科 文化学専攻		
	考古学演習	4
	考古学特論	4
	日本の考古学	4
	日本古代の歴史と文化	4
	学科合計	16
専攻科 幼児教育学専攻		
	パソコン実務演習	2
	保育課程特論	2
	保育学	2
	臨床心理学	2
	臨床心理学演習	2
	学科合計	10

授業名	キャリアデザインⅡ（生活科学科）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 1単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 1単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 1単位 選択	
担当教員名	◎森　みい			
開講期				
授業の概要	【授業のねらい】 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。 インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。			
	【授業の概要】 インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（5日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、就職指導にあたっている経験を活かし授業を行います。			
授業の到達目標	【授業終了時の達成目標】 インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、課題解決力を養っていきます。また、新たな学習意欲の契機となるように、仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解や充実感を感じ、人々の生活向上や社会に貢献ができることを目標とします。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	就業体験60％・報告会20％・提出物20％「認」評価判定	
テキスト	なし			
参考書	なし			
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
位置付け・水準	GU1122			
ディプロマポリシーとの関係	学修成果から人材を育成し、社会へと送り出す			
オフィスタイム	月曜日～金曜日　12:00～			
アクティブラーニング実施内容	インターンシップから主体的な学びや人間性の未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成			
実務家教員の経歴	就職部長、キャリアコンサルタント			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要 4/10(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出と、インターンシップに必要な書類についての確認をする。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究をしておく。 インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え 4/17(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップを具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
3	企業研究(講演) 5/15(Vコマ)	身近な経営者の講演を実施習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
4	事前指導 (ビジネス文書作成) (5/29 Vコマ)	日誌の書き方、メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナマーを確認しておく。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	事前指導 (マナー講座) 6/12 (Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、印象のいいマナーを日常から意識をして練習する。	30
6	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/3 (Vコマ)	インターンシップ直前の留意点を確認しながらインターンシップ先の情報を収集して、目的を明確にする。企業の方針、理念を確認する。	企業への理解を深めるために、業界研究を深め、自分でできる事を明確にする。主体的なキャリアを作り上げていくのに必要な能力を養う。	30
7	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/17 (Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者と打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施 1班 9/1～9/5 2班 9/8～9/12	各企業において、夏季休業中 (9月上旬～9月中旬)に5日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会 9/18(Vコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30

授業名	コミュニケーション技術A	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎和田 由紀子			
開講期	前期			
授業の概要	介護や福祉の現場で必要とされるより良き人間関係形成のためのコミュニケーションの大切さや、福祉における基本的な個人の尊重の理念を理解し、専門職に求められる実践的技能の修得を目指します。社会福祉法人に勤務した経験をもとに、医療・福祉分野におけるリアルな人間の姿や心の動きを解説し、実践的なコミュニケーション技術を指導をします。 授業は、双方向型対話形式を活用しながら進めていきますので、自発的で活発な意見や質問を歓迎します。ロールプレイやグループディスカッションも行いますので、そこで感じたことや気づいたことなどを大いに語り合い、理解を深めてください。 最終授業で、全体に対するフィードバックを行います。			
授業の到達目標	福祉職は、利用者を理解して信頼関係を形成し、利用者家族や他職種との協働・連携をおこなって行きます。それらをのスムーズな遂行のために、3つの目標を掲げます。 ①高齢や障がいのため聴覚や視覚、言語能力が低下していたり、認知症などでうまくコミュニケーションを取れない方を対象にする介護現場で、介護者に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。 ②支援を必要とする人の理解と、援助的コミュニケーションの基本と技術を学び、支援者としてのコミュニケーション能力を身につける。 ③利用者だけではなく、家族とのコミュニケーション、職員同士のコミュニケーションの重要性と、その専門的考え方を学ぶ。 単位認定の最低基準：上記の内容について7割を理解していること。			
履修条件	生活科学科 社会福祉専攻1年生	成績の 評価方法・基準	期末試験または期末レポート（80％） 受講態度、発表内容、レポート（20％）	
テキスト	介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」			
参考書	「よくある場面から学ぶコミュニケーション技術」中央法規 一瞬でいい関係を築くコミュニケーション大百科 かんき出版 対人援助の現場で使える言葉〈以外〉で使える技術便利帳 翔泳社			
学生への要望	この授業では、理論や知識だけでなく、体験的な学習を積み重ねていきます。学生は、ひとりひとりの経験や感性、想像力、共感力を駆使して、グループワークやディスカッションに積極的に参加・発言してください。			
位置付け・水準	位置づけ・水準：DU2109			
ディプロマポリシーとの関係	知識・理解			
オフィスタイム	授業前後			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	介護老人福祉施設で、介護福祉士・社会福祉士として勤務、 独立後は、主に福祉関係者を対象とした各種研修会での講師、成年後見人の受任。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	授業の目標、授業計画、評価方法、国家試験について説明します。	この授業で学ぶことについて、概要をつかみ、興味を持った内容について調べたり文	30
2	福祉の現場におけるコミュニケーションとは その目的と意義	利用者の尊厳を守る支援者の在り方、支援が必要な人と支援者の関係、支援が必要な人との関係づくりの必要性について学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使用したテキストのページを復習する。	60
3	福祉の現場におけるコミュニケーションとは2	共感的理解と意思決定支援 バイステックの7原則について学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使用したテキストのページを復習す	60
4	コミュニケーションの基本技術1	傾聴、受容、共感、対人距離 について学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使用したテキストのページを復習す	60
5	コミュニケーションの基本技術2	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使用したテキストのページを復習す	60
6	接遇のマナー	言葉使い、敬語、接遇のマナーについて学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使用したテキストのページを復習す	60
7	コミュニケーション技術	集団における技術、コミュニケーション障がいについて学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使用したテキストのページを復習す	60
8	特性に応じたコミュニケーション1	身体障がい者の理解とコミュニケーション 視覚障がいの方、聴覚障がいの方とのコミュニケーションについて学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使用したテキストのページを復習する。	60
9	特性に応じたコミュニケーション2	発達障がい者の理解とコミュニケーション方法、精神障がいの理解とコミュニケーション方法について学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使用したテキストのページを復習する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	特性に応じたコミュニケーション3	認知症の理解とコミュニケーション1 認知症を理解し、利用者の状況に応じたコミュニケーションの方法を学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使ったテキストのページを復習する。	60
11	特性に応じたコミュニケーション4	認知症の理解とコミュニケーション2 具体的アプローチ方法として、バリデーション、ユマニチュードについて学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使ったテキストのページを復習する。	60
12	特性に応じたコミュニケーション5	高次脳機能障がい理解とコミュニケーションの在り方や支援の工夫について学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使ったテキストのページを復習する。	60
13	家族とのコミュニケーション	家族の気持ちの理解、家族関係のとらえ方と介護ストレスの理解、家族の意向の確認と意向表出の支援について学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使ったテキストのページを復習する。	60
14	チームにおけるコミュニケーション	連携・連携の必要性、報告・記録、個人情報の保護とチーム内での情報共有についてを学びます。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授業で使ったテキストのページを復習する。	60
15	まとめと補足	補足説明 まとめを行います。	授業で取り上げたキーワードを重点に、授	60

授業名	運動健康論（生活科学科）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎佐藤 浩明			
開講期				
授業の概要	GU1119 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。 ①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。 ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。 ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。 ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。 ⑤授業最後にレポート等は返却し口頭またはコメントで説明します。			
授業の到達目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得する と共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力を身に付ける。レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調　・人間形成 【食物栄養学科】食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
履修条件	家政学部 人間生活学科　生活総合コース 1年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科　福祉コース 1年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科　建築デザインコース 1年 2単位 選択 選択家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択 ※教職課程履修者は必修	成績の 評価方法・基準	平常点30点（取組姿勢）　試験・提出物70点（実技・レポート） ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。	
テキスト	特になし（必要に応じて資料等を配布します）			
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメソッド：高橋書店」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」			
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）			
位置付け・水準	GU1119			
ディプロマポリシーとの関係	【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調　・人間形成 【食物栄養学科】食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
オフィスタイム	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室 佐藤			
アクティブラーニング実施内容	無し			
実務家教員の経歴	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	運動着、水分の準備をしてくる事	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
2	縄跳び①／からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
3	縄跳び②／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
6	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
7	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
9	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
10	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0
11	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
13	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
14	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
15	実技のまとめ	≪まとめとして実技試験を行う≫ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
16	第16回 オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状 オリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツの持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
17	第17回 生活と健康について①	≪健康とは何か≫ 健康について考える導入として、「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ、様々な角度から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
18	第18回 生活と健康について②	《生活習慣病の原因・対策・予防と運動》 ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し、運動との関係について学びます。 ②運動・休養と健康について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
19	第19回 生活と健康について③	《大学生の健康》 大学生の生活に潜む危険要因について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
20	第20回 生活とスポーツについて①	《スポーツとは何か》 スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
21	第21回 生活とスポーツについて②	《生涯スポーツについて》 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにもどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
22	第22回 生活とスポーツについて③	《大学生とスポーツ》 大学生になり高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康に興味を持ち、運動やスポーツにどう関わることができるかについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
23	第23回 スポーツから学ぶ①	《フェアプレーについて》 スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常生活や、普段の行動にも通じるものがあります。 ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
24	第24回 スポーツから学ぶ②	《メンタルトレーニング》 常に結果が求められるスポーツ選手（アスリート）のメンタルトレーニング、ポジティブシンキング、行動基準について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
25	第25回 スポーツから学ぶ③	《目標設定》 スポーツ選手（アスリート）の行動基準から自分の目標設定の方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
26	第26回 健康増進のための身体運動について①	《体力とは》 ①体力の概念と体力要素（身体的要素 精神的要素）について学びます。 ②運動の原理原則について理解し、効果的な運動の方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
27	第27回 健康増進のための身体運動について②	《エクササイズの方法について 健康の保持増進やからだをつくるための方法（①有酸素運動 ②筋力トレーニング ③ストレッチ ④バランス等）や実施する際のポイントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
28	第28回 コンディショニングについて	《からだの調子を良くする・怪我の予防・対処方法》 ①コンディショニングを崩す原因を理解し予防方法について学びます。 ②怪我の予防、応急処置の基本、熱中症対策について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
29	第29回 健康的な生活について①	《ライフスタイルについて》 自分のライフスタイル（生活習慣・運動習慣）を客観的に理解し、健康的な生活を過ごすための方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
30	第30回 健康的な生活について②	《良い習慣について》 行動を邪魔する要因を理解し、運動習慣をつける方法について学びます。 ※『健康なからだをつくる』をテーマに自分のライフスタイルについて考えます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

授業名	建築設備	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 4年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 4年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 4年 2単位 選択	
担当教員名	◎斉藤 守平			
開講期	前期			
授業の概要	[授業概要] 建築士として建物の設計・監理をするには意匠デザインを考える以外にも様々な知識が求められる。 本授業では、その知識の一部[建築設備の基本知識] を習得する。 また、担当教員の現場体験談などを交えながら建築設備の役割と重要性について理解を深める。 課題に対するフィードバックの方法：各授業の冒頭でポイントの振り返りを行い、復習問題を配布。実務上重要な部分は演習課題を通し考察する。			
授業の到達目標	[授業の目的] 建築士が実務で求められる建築設備図面作成や、建築現場を監理する上で必須である「建築設備の基礎知識」を習得することを目的とする。 [到達目標] ・建築現場で使用される基本的な建築設備図が読み込める。 ・建築設備と地球環境の相互関係について明確に論述できる。 ・給排水に使用される代表的な材料・工法について説明ができる。 ・空調に使用される代表的な材料・工法について説明ができる。 ・電気設備に使用される代表的な材料・工法について説明ができる。 ・授業内容の6割以上を理解している。			
履修条件	生活科学科建築デザイン専攻 4 年生	成績の 評価方法・基準	出席状況・演習課題の取組状況や定期試験のレポート等により評価。	
テキスト	「初学者の建築講座 建築設備（第五版）」著：大塚雅之 市ヶ谷出版社			
参考書	随時配付			
学生への要望	演習課題は積極的に提出して下さい。			
位置付け・水準	DA2423			
ディプロマポリシーとの関係	1)一級建築士などの資格試験に出題のある問題を取り上げ、資格取得に有利な授業を展開する。 2)建築設備の用語・選定方法・施工手法を理解することで住居・建築に関する問題点を考察できるようになる。 3)建築設備の原理の理解を深めることで、地球温暖化防止に寄与でき、自然との共生を目指す建築を考察できるようになる。 4)担当教員の現場体験などの話から、現場や地域の人が求めているニーズを掘り下げ考察できるようになる。			
オフィスタイム	授業前後			
アクティブラーニング実施内容	各授業の冒頭でポイントの振り返りを行い、復習問題を配布。実務上重要な部分は演習課題を通し考察する。			
実務家教員の経歴	神奈川県川崎市の建設会社勤務、東京都品川区の建築設計事務所勤務後、帰郷し家業の工務店・設計事務所経営に携わる。現在一級建築士事務所兼工務店の代表及び管理建築士を務める。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業ガイダンス	担当教員の自己紹介。授業全体の大まかな流れ、建築士に求められる設備知識など。	テキストの大まかな読み込み。	30分～60分
2	建築設備概論	建築設備の役割、種類・構成 建築計画と設備計画の関わり 参考P1-13 演習課題 [コア検討課題]	授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解） 演習課題の検討	60分～90分
3	地球環境と建築設備 給排水衛生設備とは	演習課題 [コア検討課題] の解説 地球環境問題と省エネ、建物の長寿命化と設備の関係 給排水衛生設備の役割・構成 参考P14-23	教科書P20の確認問題 授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分
4	給水設備	水道施設と水道の種類、水道水の水質、給水方式、給水管の管径計算、給水配管材料等 参考P24-43	授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分
5	給湯設備・ガス設備	湯の性質、給湯量と給湯流量、太陽熱利用給湯設備 参考P44-58	授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	排水・通気設備	排水の目的、種類と方式、トラップ、排水管材料など 参考P59-71	授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分
7	排水処理設備 衛生器具設備	排水処理設備の目的、汚染度の評価方法、浄化槽、雨水利用・排水再利用設備 参考P72-86	授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分
8	消火設備	消火設備の基本事項、消火器、屋内消火栓設備、屋外消火栓設備、スプリンクラー設備など 参考P87-96	教科書P96の確認問題 授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分
9	空調設備とは 空調と室内環境 空気の状態	空調設備の目的と仕組み、室内環境の指標、空気線図の使い方など 参考P98-121 ※アルミ・ガラス・木材の熱伝導率を体感（教室内にて担当教員が持ち込むヒートガン使用）	授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分
10	空調和方式の種類・特徴と設備計画	1. 空調和方式の種類 2. 熱源方式の種類 3. 空調設備計画 参考P122-138	授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分
11	熱源・熱搬送設備と機器部材	1. 熱源装置 2. 熱搬送設備、室内ユニット 3. 吹出口・吸込口など 4. 空調機 参考P139-151	授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分
12	換気・排煙設備 自動制御設備 電気設備とは	3.7.1.換気設備の目的 3.7.2.必要換気量と換気回数 3.7.3.換気方法 3.7.4.排煙設備 3.8.1.自動制御の方法 3.8.2.自動制御機器 3.8.3.これからの管理システム 4.1.1.電気設備の役割 4.1.2.電気設備の構成 4.1.3.電気設備の関連法規 参考P152-164	教科書P160の確認問題 授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分
13	受変電・幹線設備 動力設備 自家発電・蓄電池設備 照明・コンセント設備	4.2.1.受変電設備 4.2.2.幹線設備 4.3.1.動力設備の概要 4.4.1.自家発電設備 4.4.2.蓄電池設備 4.4.3.無停電電源装置（UPS） 参考P165-176 演習課題〔照明・コンセント位置検討課題〕	授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解） 演習課題の検討	60分～90分
14	情報・通信設備 防災設備 搬送設備	演習課題〔照明・コンセント位置検討課題〕の解説 4.6.1.電話設備 4.6.2.LAN設備 4.6.3.テレビ共同受信設備 4.6.4.防犯設備 4.6.5.インターホン設備 4.7.1.自動火災報知設備 4.7.2.雷保護設備と航空障害灯設備 5.1.1.エレベータ 5.1.2.エスカレータ 参考P177-188	教科書P184の確認問題 授業内容の復習。（特に重要ポイントについての理解）	60分～90分

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	授業全体の確認問題と建築業界について及びレポート提出について質疑など	授業全体の重要ポイント理解度確認問題の実施（テキスト参照可）今後建築業界で活躍される皆様へ業界のリアルな実情と心構えについて	教科書P189の確認問題 授業内容の総復習。すべての配布資料の見直しなど レポートの作成。	90分～120分

授業名	建築法規Ⅰ	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐久間 保一			
開講期				
授業の概要	建築設計、施工において、建築法規を正しく理解することは、建築に携わる者の倫理上の第一歩です。本講義ではまず、めまぐるしく変わる建築法規の成り立ちを理解します。さらに単体規定、集団規定の基本的法規を学びます。 実務経験：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務め、その経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務める。			
授業の到達目標	建築設計、施工において、建築法規を正しく理解することは、建築に携わる者の倫理上の第一歩です。本講義ではまず、めまぐるしく変わる建築法規の成り立ちを理解します。さらに単体規定、集団規定の基本的法規を学びます。			
履修条件	建築デザイン専攻	成績の 評価方法・基準	定期試験	
テキスト	「図説やさしい建築法規」学芸出版社、「建築関係法令集」井上書院			
参考書	「図説やさしい建築法規」学芸出版社、「建築関係法令集」井上書院			
学生への要望	建築士試験問題を解くこと。実生活の中で法律を意識すること。			
位置付け・水準	DA2231			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム	水曜日Ⅴ時限 授業前後 教務部 非常勤講師控室			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	実務経験：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務め、その経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務める。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業ガイダンス、建築法規の成り立ち	これからの授業の進め方及び、建築法規を学ぶことの意義について、建築に携わる者の倫理面から講義します。次に基準法、政令、条例、告示等の法の成り立ち、及び法規上の接続詞や数量の読み方について解説します。	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	建築法令集の活用法	建築関連法令集に、建築基準法、建築士法、都市計画法、建設業法、等の各法規及び各項目のインデックスを貼ります。このことにより法令集の概要及び成り立ちを理解します。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	用語の定義1	建築で用いる用語（居室、新築、修繕、軒の高さ等）の定義について学びます。建築法規のみならず、実務においても基礎となる用語であることから、正しい理解が求められます。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	用語の定義2	延焼の恐れのある部分、建築物の高さの定義、及び算出方法を学びます。このことから人間の生命を守る建築を創造することの責務について考えます。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	敷地面積、建築面積、延面積の計算	敷地面積について、道路との関連について学びます。地下や軒の出がある場合の建築面積、延べ面積について、定義及び算出方法を学びます。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	一般構造 1	単体規定のあらましについて解説します。次に換気的重要性及び定義について学びます。天井の高さの定義及び算出方法について学習します。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	一般構造2	居室における採光の重要性について学びます。次に有効採光面積の定義、及び算出方法について居室の定義を復習しながら学習します。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	一般構造3	防火に関する用語（耐火構造、準耐火構造）の他、防火地域や準防火地域等のついて等について学びます。それぞれの相違をよく理解することが必要です。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	用途地域1	集団規定のあらましについて解説します。次に都市計画地域、市街化区域、市街化調整区域、用途地域等、さらに用途制限の考え方について説明します。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	用途地域2	引き続き用途地域による用途制限について学びます。法令集の用途制限に関する別表をよく理解することが求められます。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	建蔽率の定義及び計算	用途地域、建蔽率の定義、及び算出方法について学びます。建築設計の基礎となるものであることから確実に理解するよう講義を進めます。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	容積率の定義及び計算	容積率の定義及び算出方法について学びます。建築設計の基礎となるものであることから確実に理解するよう講義を進めます。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	高さ制限 1	建築物の高さを制限する道路斜線、隣地斜線、北側斜線について説明します。なかなか理解が難しい内容ですが都市計画との関連を説明しながら確実に理解するよう、講義を進めます。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	高さ制限2	引き続き道路斜線、隣地斜線北側斜線についての定義、及び計算方法について学びます。なかなか理解が難しい内容ですが都市計画との関連を説明しながら確実に理解するよう、講義を進めます。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	避難経路について	建築物における避難経路の確保のしかた及び二方向非難等の避難経路について解説します。このことから、人間の生命を守る建築物を創造することの責務について考えます。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	建築法規Ⅱ	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 3年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐久間 保一			
開講期				
授業の概要	建築法規Ⅰに引き続き、建築関連の法規を学び、設計・施工における法遵守の意義を学ぶ。建築基準法の構造強度、防火と内装制限、及び都市計画法、建築士法、建設業法等の重要ポイントを理解する。さらに建築士試験問題を解く実力を付ける。 実務経験：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務め、その経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務める。			
授業の到達目標	建築法規Ⅰに引き続き、建築関連の法規を学び、設計・施工における法遵守の意義を学ぶ。建築基準法の構造強度、防火と内装制限、及び都市計画法、建築士法、建設業法等の重要ポイントを理解する。さらに建築士試験問題を解く実力を付ける。			
履修条件	建築デザイン専攻	成績の 評価方法・基準	定期試験	
テキスト	「初めての建築法規」学芸出版社 「建築関係法令集」			
参考書	「初めての建築法規」学芸出版社 「建築関係法令集」			
学生への要望	建築士試験問題を解くこと			
位置付け・水準	DA2332			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム	水曜日Ⅴ時限 授業前後 教務部 非常勤講師控室			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	実務経験：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務め、その経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務める。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業ガイダンス 建築法規Ⅰの復習	授業の進め方の説明。建築法規Ⅰにおいて、理解が不十分であった項目を重点的に復習する。 最近の建築法令の動き。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
2	構造強度（木造）1	木造建築の構造強度に関する基準法、及び同施行令について理解する。 柱や梁で構成された木造在来工法についても復習する。 ＊建築物の高さについて復習する。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	構造強度（木造）2	施行令40～45条の地震や風圧に耐える木造住宅の意味を理解し、軸組み（壁量）計算方法を学ぶ。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	構造強度（木造）3	前授業に引き続き、施行令40～45条の地震力や風圧力に耐える木造住宅の意味を理解し軸組み（壁量）計算方法を学ぶ。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	構造強度（木造）4	前授業に引き続き、施行令40～45条の地震力や風圧力に耐える木造住宅の意味を理解し軸組み（壁量）計算方法を学び、告示による建築端部の壁量計算方法を学ぶ。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	構造強度（木造）5 組石造	壁量計算の小テストにより、理解したことを確認する。施行令54条の組石造についての関連法規を学ぶ。 併せて、組石造について理解する。	教科書を読む。小テスト対策をする。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	構造強度 補強コンクリートブロック造 鉄筋コンクリート造	施行令62条等の補強コンクリートブロック造についての関連法規を学ぶ。併せて、補強コンクリートブロック造について理解する。また、施行令72条等鉄筋コンクリートにおける関連法規を学ぶ。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	構造強度 鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造における、かぶり厚さ、柱の径等についてのポイントを学ぶ。併せて、鉄筋コンクリート造の構造について学ぶ。	教科書を読む。小テスト対策をする。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	構造強度 荷重と外力	固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風圧力、地震力等の荷重と外力が、法規によってどのように記載されているか、その意味を理解する（（施行令84条～）	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	防火と内装制限	屋根や外壁、防火壁等の防火に関わる関連法規及び、室内の内装制限を受ける建物について学び、安心安全な建築設計について考える（施行令112条他）	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	建築士法	建築士でなければ設計できない建築、建築士事務所の仕事について、建築士法に則りながら理解する。 建築士の責務の重要性を学ぶ。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	都市計画法	都市計画法における、都市計画区域、市街化区域、市街化調整区域、開発行為について学ぶ。また用途地域について復習し、建築基準法との関連を確認する。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	建設業法 ハートビル法 消防法、品格法等	建設業法、ハートビル法、消防法、品格法等の関連法規の概要を学び、建築がたくさんの法律によって規制されていることを理解する。福島県条例と地域の景観条例の説明。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	復習 1	建築法規に関して、これまでの授業において理解があいまいであった箇所を復習、確認する。	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	復習 2	前授業に引き続き、建築法規に関して、これまでの授業において理解があいまいであった箇所を復習、確認する。	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
---	----	------	------	------

授業名	社会福祉原論		配当年次 単位数	家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎島野 光正				
開講期	前期				
授業の概要	社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を学修する。 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について学ぶ。 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて学ぶ。 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。 毎回授業内容に準じたテーマについてレポート（フィードバックレポート）の提出を求めます。 【課題に対するフィードバック方法】フィードバックレポートについてコメントによるフィードバックや意見交換を行う。				
授業の到達目標	【達成目標】 社会福祉の歴史・思想・理論が理解できている 現代社会と福祉制度・福祉政策の動向と課題について理解できている 【単位認定の最低基準】 社会福祉の理念・福祉制度の概要の7割が理解できている。				
履修条件	生活科学科		成績の 評価方法・基準	期末試験 課題	70％ 30％
テキスト	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 「社会福祉の原理と政策」一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規				
参考書	適宜紹介します				
学生への要望	常に新聞等に目を通し、現代社会の出来事に関心を持ってください。				
位置付け・水準	DW2151				
ディプロマポリシーとの関係	知識・理解、論理的思考・問題解決力、倫理的・社会的責任				
オフィスタイム	火曜日 3・4時限目 創学館4階 N0.3研究室				
アクティブラーニング実施内容	社会福祉の歴史を学ぶ中で、日本で行われていた精神障がい者への私宅監置やハンセン病政策の実際（ニュース映像や当事者の声）を見ながら「個人」と「社会」のありようについて考える。				
実務家教員の経歴	社会福祉士として、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、スクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーなどのソーシャルワーク業務の経験を活かし、日本のソーシャルワークの教育及びソーシャルワーク実践が社会福祉学を基盤にしてきたことの基礎的な知識の習得につながる授業を行う。				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション 社会福祉の原理	・シラバスの説明 ・社会福祉の原理 ・現在の社会福祉の課題 ・社会福祉の原理がなぜ問われているのか	・分からない語句を調べる ・家族の生活と福祉のかかわりについて考える	60
2	社会福祉の歴史（1）	・社会福祉の歴史を学ぶ視点 ・欧米の社会福祉の歴史的展開	・分からない語句を調べる ・戦後のどのような人たちが生活に困窮し	60
3	社会福祉の歴史（2）	・日本の社会福祉の歴史的展開 萌芽期 生成期 発展期 成熟前期 成熟後期 ー戦後改革と高度経済成長の福祉政策 転換期 「日本型福祉社会論」	・分からない語句を調べる ・第二次世界大戦後の福祉政策について整理する ・日本国憲法と福祉の関連について調べる	60
4	社会福祉の思想・哲学・理論（1）	・社会福祉の思想・哲学 ・社会福祉の理論	・分からない語句を調べる ・「パラダイム」の意味について調べる	60
5	社会福祉の思想・哲学・理論（2）	・社会福祉の論点 ・社会福祉の対象とニーズ	・分からない語句を調べる ・テキストのActive Learningについて考え	60
6	社会問題と社会構造（1）	・現代における社会問題	・分からない単語を調べる ・「制度の狭間」について調べる	60
7	社会問題と社会構造（2）	・社会問題の構造的背景	・分からない単語を調べる	60
8	福祉政策の基本的な視点	・福祉政策とな何か ・福祉政策において重要な概念・理念	・分からない単語を調べる ・自立と依存についてテキストを読んで考	60
9	福祉政策におけるニーズと資源	・ニーズ（必要）	・分からない単語を調べる	60
10	福祉政策におけるニーズと資源	・資源（リソース）	・分からない単語を調べる	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	福祉政策の構成要素と過程	・福祉政策の構成要素 ・福祉政策の過程と評価	・分からない単語を調べる ・テキストActiveLearningを考える	60
12	関連政策の動向と課題	・福祉政策と包括的支援の現状 ・福祉政策と包括的支援の課題	・分からない単語を調べる ・社会福祉基礎構造改革と、その後の法律	60
13	福祉政策と関連施策	・保健医療政策 ・教育政策 ・住宅政策 ・労働政策 ・災害政策	・分からない単語を調べる ・普段生活の中で新聞やテレビのニュース等で目にする福祉課題とはどんなことだろう	60
14	福祉サービスの供給と利用の過程	・福祉供給部門 ・福祉供給過程	・分からない単語を調べる ・権利擁護とソーシャルワークの関係につ	60
15	福祉政策の国際比較 まとめ	・福祉政策の国際比較 ・これからの社会福祉 ・ソーシャルワーカーにとっての社会福祉の理論・歴史・政策	・分からない単語を調べる ・テキスト「終章」を読み込んでおく	60

授業名	社会福祉調査の基礎	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 3年 2単位 選択	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期				
授業の概要	社会福祉調査というもの有何を目的として、どのように行われるのかという基礎知識の習得に努めた上で、データや数字に対する忌避感を和らげるため、身近な例を挙げて平易な解説に努め、社会福祉調査への理解を深めることを目標としたい。 なお、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計データの見方、活用の仕方について採り上げていく。 【実務経歴】 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。 【位置づけ・水準】 DS2316			
授業の到達目標	【単位認定の最低基準】 社会福祉調査におけるデータの収集、分析・加工、報告について理解を深めることを目標とする。このためこれら内容の8割程度を理解していることを単位認定の最低基準とする。 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 論理的思考・問題解決力、倫理的・社会的責任			
履修条件	生活科学科 社会福祉専攻 3年生 生活科学科 建築デザイン専攻 3年生	成績の 評価方法・基準	①小テスト30点（15点×2回） ②課題（レポート）70点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	轟亮・杉野勇編「入門・社会調査法」法律文化社			
学生への要望	授業中はしっかりとノートを取り、課題に取り組むこと。			
位置付け・水準	DS2316			
ディプロマポリシーとの関係	論理的思考・問題解決力、倫理的・社会的責任			
オフィスタイム	月曜日 4コマ目 木曜日 4コマ目 経営管理学研究室			
アクティブラーニング実施内容	第14回にて、パソコンを用いた実習形式の授業を行う。			
実務家教員の経歴	内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス 社会福祉調査（社会調査）とは何か	授業の進め方、評価方法について。 社会福祉調査（社会調査）とは何か、何を目的として行われ、どのように分類されるか学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
2	社会調査の種類①	社会調査の分類、量的調査と質的調査について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
3	社会調査の種類②	社会調査における質的調査の特徴について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
4	社会調査のプロセス	社会調査の全体像の把握と、構想・計画・実査・データの入力と点検、報告、管理について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
5	社会調査のデザイン①	社会調査の調査内容とその検証について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
6	社会調査のデザイン②	仮説の検証とより良い調査研究について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
7	実査の方法①	データ収集法選択の基準について学修する。	これまでの学修内容を確認し、小テストに備えること。	60
8	実査の方法②	様々な調査方法のうち、適切なデータ収集法の選択について学修する。小テスト（1回目）	これまでの学修内容を確認し、小テストに備えること。	60
9	調査票の作成	調査票の作成、手順、構成、質問形式、質問を作成・配置する場合の留意点について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
10	サンプリング	調査対象の選び方について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授	30
11	調査の実施	郵送法実査、個別面接法実査等の運営・手順について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	データファイルの作成	データ入力とその手順について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
13	データの集計方法	情報の集約、代表値（平均）から相関係数について学修する。	配布したプリントとノートの内容を元に授業の内容について復習し、把握すること。	30
14	調査報告とデータの管理 （パソコンを用いての実習）	調査の報告と報告後のデータの管理について学修する。 このため実際にパソコンを用いてデータの加工、管理について実習形式で授業を行う。	実習に備えてこれまでの学修内容を確認すること。また授業内で終わらなかった課題については自宅学修で引き続き取り組むこと。	60
15	社会調査の倫理について 学修の総まとめ	社会調査協会倫理規定に基づいて社会調査の倫理について学修する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容を確認し、小テストに備えること。	60

授業名	消費生活論	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 3年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 3年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 3年 2単位 必修	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業の概要	大きく変化する社会情勢の中、消費者を取り巻く環境は変化し続けており、消費者問題の内容も時代とともに変貌している。現代における諸問題を把握し、日常生活の中の身近な問題として捉え、学生自らが安全・安心な生活を送ることができるようになることを目指す。また、消費生活に関する法律、政策、行政や企業の取り組みを理解し消費者教育を実践できるようになることを目指す。なお、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方・活用の仕方、法律と行政組織について採り上げていく。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	下記①～③の目標の8割程度を理解していることを単位認定の最低基準とする。 ①消費者問題の実情を知り、課題を見出し、その解決策の方向性を見出すことができる。 ②日常生活の中で実践することができる自立した消費者の育成のために学生自身の消費者力を高める。 ③政策、法律、行政や企業の取り組み等を理解し、消費者力検定にチャレンジできるだけの能力を養う。			
履修条件	生活科学科 社会福祉専攻 3年生 生活科学科 建築デザイン専攻 3年生	成績の 評価方法・基準	①小テスト30点（15点×2回） ②課題（消費者問題に関するレポート）70点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	一般財団法人日本消費者協会「消費者力検定ワークブック2021」			
学生への要望	現代消費生活における課題を捉えるために、次のことを要望する。 ①新聞をよく読み、消費生活に関する記事を収集する。 ②消費者力検定に挑戦し、幅広い知識の習得を目指す。			
位置付け・水準	DS2324			
ディプロマポリシーとの関係	論理的思考力・問題解決力、倫理観・社会的責任			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日 5コマ目 食品経営学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の目的および授業計画について説明（内容、評価方法について等）し、消費者を取り巻く社会経済情勢と消費者行動・意識について学修する。	配布したプリントの内容を読み返して、授業の内容を把握すること。	30
2	消費者問題の変遷	年代ごとにどのような消費者問題が発生したか概観し、様々な消費者問題の背景にある社会の情勢を読み取る。	配布したプリントの内容を読み返して、授業の内容を把握すること。	30
3	消費者行政の変遷①	消費者問題に対応してどのような政策が行われたか概観し、消費者問題に対処するための機関 ～消費者庁の誕生、国民生活センター、消費生活センターの役割～について学修する。	配布したプリントの内容を読み返して、授業の内容を把握すること。	30
4	消費者行政の変遷②	前回に続いて、消費者庁、国民生活センター、消費生活センターの役割について動画教材の視聴等も通じて学修する。	配布したプリントの内容を読み返して、授業の内容を把握すること。	30
5	消費者の権利と責任①	消費者基本法、消費者の権利と責任、消費者保護の概念について学修する。	配布したプリントの内容を読み返して、授業の内容を把握すること。	30
6	消費者の権利と責任②	前回に続いて、消費者基本法、消費者の権利と責任、消費者保護の概念について動画教材の視聴なども通じて学修する。	配布したプリントの内容を読み返して、授業の内容を把握すること。	30
7	自立した消費者を目指して①契約とは	契約の意味、未成年者契約、契約に関するトラブルについて学修する。	配布したプリントの内容を読み返して、授業の内容を把握すること。	30
8	自立した消費者を目指して②経済	消費者契約法・特定商取引法について学修する。	配布したプリントの内容を読み返して、授業の内容を把握すること。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	自立した消費者を目指して③食	食品の安全・安心、新しい食品表示制度について学修する。	配布したプリントの内容を読み返して、授業の内容を把握すること。	30
10	自立した消費者を目指して④生活用品	消費生活用製品安全法について学修する。 小テスト（1回目）	これまでの学修内容をプリントとノートを元に復習すること。	60
11	消費生活と環境～循環型社会のための法制度①	持続可能な社会の構築と法律、グリーンコンシューマーの概念、持続可能な社会を形成するためのライフスタイルについて学修する。	これまでの学修内容を元に、消費者問題についてインターネット、文献、報道資料などを利用して、レポート作成に備えること。	30
12	消費生活と環境～循環型社会のための法制度②	持続可能な社会の構築と法律、グリーンコンシューマーの概念、持続可能な社会を形成するためのライフスタイルについて学修する。（前回の続き）	これまでの学修内容を元に、消費者問題についてインターネット、文献、報道資料などを利用して、レポート作成に備えること。	30
13	消費者教育・啓発活動	一般消費者に向けてどのような消費者教育が行われているか学修する。	これまでの学修内容を元に、消費者問題についてインターネット、文献、報道資料などを利用して、レポート作成に備えること。	30
14	公平かつ自由な競争の促進	独占禁止法、不正競争防止法、その他各種制度について学修する。	消費者問題について、これまでの学修内容と自身で調べたことを元にレポートを作成	60
15	まとめ	消費者力検定とその内容について理解を深め、過去問等にチャレンジする。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をプリントとノートを元に復習すること。	60

授業名	生活学的経済論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業の概要	本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるものであるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。 なお、在北京日本国大使館経済部での勤務経験を活かし、授業の中で経済統計の見方、マクロ経済の理論と実際について採り上げていく。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	経済的事象を経済的視点で見る目を養うことを到達目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。			
履修条件	家政学部 生活科学科 1年生 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績の 評価方法・基準	①小テスト30点（15点×2回） ②レポート70点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	伊藤元重「はじめての経済学（上）（下）」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。			
位置付け・水準	GU1109			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日 5コマ目 食品経営学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	在北京日本国大使館経済部専門調査員として主に中国経済の分析に従事			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐる行われてきた政策論争（自由貿易vs保護貿易）について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。 近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
10	食料・食品と経済①	食料自給率、食と流通等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	食料・食品と経済②	食と環境、食品廃棄物問題等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。 併せてレポートを作成すること。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	地域経済～郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
13	地域経済～郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する（前回の続き）。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
14	行動経済学とその概要①	行動経済学とは何か、その概要について学修し、ナッジ（nudge）理論を元にその事例を紹介する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
15	行動経済学とその概要② まとめ	行動経済学の理論について学修する（前回の続き）。これまでの学修内容を確認する。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

授業名	生活学的社会論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業の概要	私達は社会の中で生きており、生活と社会は切り離して考えることはできない。本授業では、私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているか、すなわち現代社会の特性、人と社会との関係、社会問題とその背景について理解を深め、考察する力を養うこと、更に社会と切り離せない生活の多様性についても理解することを目的としている。なお、本講義では、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方、活用の仕方についても採り上げていく。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。			
履修条件	家政学部 生活科学科 1年生 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績の 評価方法・基準	①小テスト30点（15点×2回） ②レポート70点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	授業内で採り上げる。			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる社会の問題について関心を持つようにすること。			
位置付け・水準	GU1108			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日 5コマ目 食品経営学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明する。 『社会』とは何か、今の日本『社会』はどのような状態にあるか、その一例として少子高齢化社会について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	少子高齢化社会と日本と世界①	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、日本の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	少子高齢化社会と日本と世界②	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、世界各国の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	少子高齢化社会と日本と世界③	平均寿命、平均余命、健康寿命などの概念、それら指標の現状について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	社会と仕事・家族①	家族とその役割について学修する。 家庭において起こる問題―DVと児童虐待について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	社会と仕事・家族②	フリーターとニート（ひきこもりを含む）、日本的雇用慣行について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	社会と仕事・家族③	正規雇用と非正規雇用、働くことの意義について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	社会と自己と他者①	癒しと宗教、社会的自我と個人のアイデンティティについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	社会と自己と他者②	癒しと宗教、社会学から見た自殺問題について学修・考察する。小テスト（1回目予定）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	社会と国家①	社会学から見た国家（ルールと権力）、平等な社会と格差について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	社会と国家②	厚生労働省とその取り組み（１）年金制度、社会保障制度、介護保険制度について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	社会と国家③	厚生労働省とその取り組み（２）医療保険制度とその仕組みについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
13	社会と国家④	厚生労働省とその取り組み（３）「健康日本21」等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、	60
14	社会と国家⑤	「地域保健法」と保健所の役割について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、	60
15	まとめ	これまでの学修内容の確認と小テストの内容について復習する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

授業名	生活学的法律論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択
担当教員名	◎鈴木 康元		
開講期			
授業の概要	〔授業の目的・ねらい〕 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける 〔授業全体の内容の理解〕 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。		
授業の到達目標	〔授業の目的・ねらい〕 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける 〔授業全体の内容の理解〕 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること		
履修条件	家政学部 1 年	成績の 評価方法・基準	ペーパー試験と出席の程度を考慮する
テキスト	その都度指定する		
参考書	その都度指定する		
学生への要望	法律一般につき興味をもって欲しい		
位置付け・水準			
ディプロマポリシーとの関係			
オフィスタイム	金曜日Ⅲ～Ⅴ時限 授業前後 教務部非常勤講師控室		
アクティブラーニング実施内容			
実務家教員の経歴	実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	家族法とは	民法における家族法位置づけと家族の意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	婚姻（1）	婚姻の意味と婚約等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	婚姻（2）	婚姻の効力→婚姻をすると、夫婦はどのような義務を負うのか	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	離婚（1）	離婚の意味と実態等について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	離婚（2）	離婚の方法と実務から見た問題点について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	内縁	内縁の意味とその法的意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	親子（1）	親子の種別（実子・養子）と法的効果について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	親子（2）	親権の意味と内容について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	扶養	法律上の扶養義務者と現代的変遷について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	相続の基礎	相続の意味と現代的特色	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	相続人	誰が相続人になるのか、相続人に相続させたくない場合は	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	相続の効力（1）	遺産承継について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	相続の効力（2）	相続分と遺産分割について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	遺言	遺言の意義・方式等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	成年後見	成年後見制度について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	特別支援教育総論	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 2単位 選択必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 2単位 必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 2単位 選択必修/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 2単位 必修	
担当教員名	◎小林 徹 佐藤 久美 藤村 励子			
開講期	前期			
授業の概要	1. 特別支援教育を支える理念や歴史の変遷について理解する。 2. 特別支援教育の場（機関）と制度の現状をとらえる。 3. さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもの理解の視点と方法について理解する。 4. 障がい児等の個別支援計画の作成、評価について理解する。 5. 特別支援教育の実践について理解を深める。 課題、レポート、実技については、実施後に授業内でフィードバックを行う。			
授業の到達目標	1. 特別支援教育の理念や制度、その歴史や支援機関の現状をどの程度理解できたか。 2. 障がい児や特別な配慮を要する子どもの個別指導（支援）計画の作成、評価についてどの程度理解できたか。 3. さまざまな障がいと障がい児や特別な配慮を要する子どもを支援するための視点と方法について理解できたか。 単位認定の最低基準は、内容の7割が理解できていること。			
履修条件	生活科学科の学生を中心とする	成績の 評価方法・基準	平常点50点（小テスト、提出物、授業態度による減点） 期末試験50点	
テキスト	小林徹・栗山宣夫編著『ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』みらい,2020 文部科学省『特別支援学校 幼稚園教育要領 小学部・中学部学習指導要領』2017 文部科学省『特別支援学校 高等部学習指導要領』2019			
参考書	七木田敦編著『保育そこが知りたい！気になる子Q＆A』チャイルド本社,2008			
学生への要望	障がいや障がい児について関心を持ち、学習を深めてほしい。			
位置付け・水準	DS2217			
ディプロマポリシーとの関係	知識・理解、問題解決力、倫理観・社会的責任			
オフィスタイム	【小林】 毎週水曜 9：10～12：05、小林徹研究室。それ以外は個別相談（cobalt@koriyama-kgc.ac.jpにメールして日時を設定） 【佐藤】 毎週水曜 9：00～12：30、No.7研究室。それ以外は個別相談（kumi.sato@koriyama-kgc.ac.jpにメールして日時を設定） 【藤村】 毎週水曜 9：00～12：10、 No.7研究室。それ以外は個別相談（fujimura@koriyama-kgc.ac.jpにメールして日時を設定）			
アクティブラーニング実施内容	履修者が「個別の指導計画」を作成・発表した内容についてディスカッションを行う。			
実務家教員の経歴	小林徹は、東京都の公立中学校において特別支援学級の担任教諭として25年間勤務した。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	特別支援教育の考え方（小林徹・佐藤久美・藤村励子）	障がい児、特別な配慮を要する子ども、特別支援教育の基礎概念について学習する。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
2	特別支援教育の歴史（小林徹・佐藤久美・藤村励子）	特別支援教育と障がい児保育の歴史の変遷について学習する。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
3	特別支援教育の制度と仕組み（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	特別支援教育と障がい児福祉の制度とその仕組みについて学習する。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
4	発達障がいの理解と支援①（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	さまざまな発達理論の基礎概念と障がいとの関連について映像を通して学習する。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
5	発達障がいの理解と支援②（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	障がいの基礎概念とその発見、支援の流れについて映像を通して学習する。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
6	発達障がいへのアプローチ（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	映像を通して発達障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
7	障がい児の子育て（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	障がいのある子どもの子育ての考え方と療育の実践を映像を通して学習する。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	知的障がい（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	映像を通して知的障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
9	自閉症（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	映像を通して自閉症に関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
10	その他の障がい（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	映像を通してその他の障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
11	障がい児支援の工夫（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	障がい児支援に関わるさまざまな工夫について紹介し、理解を深める。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
12	他機関との連携（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	特別支援教育に関するさまざまな機関との連携について学習する。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
13	子ども理解と指導方法①（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	子どもとその特別な教育的ニーズをどのように見出し、理解するかを個別の指導計画の作成を通して学習する。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
14	子ども理解と指導方法②（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	子どもとその特別な教育的ニーズから、個別の指導計画を作成し、適切で具体的な保育方法を考える。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30
15	まとめ（小林 徹・佐藤久美・藤村励子）	学習内容を振り返り、教師として特別支援教育にどう取り組むかを考察する。	【事前】当日の内容をテキストで確認する。【事後】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。	30

授業名	日本国憲法	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎鈴木 康元			
開講期				
授業の概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			
授業の到達目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。			
履修条件	幼児教育学科 1 年生	成績の 評価方法・基準	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)	
テキスト	憲法【第二版】 弘文堂			
参考書	特に指定しない			
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。			
位置付け・水準	GU1110			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム	金曜日Ⅲ～Ⅴ時限授業前後 教務部非常勤講師控室			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特色、日本国憲法の歴史	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下 の平等の意義	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげ ながら教える	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	キャリアデザインⅡ（食物栄養学科）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 2年 1単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 1単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 2年 1単位 選択	
担当教員名	◎森 みい			
開講期				
授業の概要	【授業のねらい】 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。 インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。 【授業の概要】 インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（5日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、就職指導にあたっている経験を活かし授業を行います。			
授業の到達目標	【授業終了時の達成目標】 インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、課題解決力を養っていきます。また、新たな学習意欲の契機となるように、仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解や充実感を感じ、人々の生活向上や社会に貢献ができることを目標とします。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	就業体験60％・報告会20％・提出物20％「認」評価判定	
テキスト	なし			
参考書	なし			
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
位置付け・水準	GC1122			
ディプロマポリシーとの関係	学修成果から人材を育成し、社会へと送り出す			
オフィスタイム	12時30分以降(月～金)			
アクティブラーニング実施内容	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
実務家教員の経歴	就職部長、キャリアコンサルタント			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要 4/10(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出と、インターンシップに必要な書類についての確認をする。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究をしておく。 インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え 4/17(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップを具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
3	企業研究(講演) 5/15(Vコマ)	身近な経営者の講演を実施習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
4	事前指導 (ビジネス文書作成) (5/29 Vコマ)	日誌の書き方、メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナマーを確認しておく。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	事前指導 (マナー講座) 6/12 (Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、印象のいいマナーを日常から意識をして練習する。	30
6	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/3 (Vコマ)	インターンシップ直前の留意点を確認しながらインターンシップ先の情報を収集して、目的を明確にする。企業の方針、理念を確認する。	企業への理解を深めるために、業界研究を深め、自分でできる事を明確にする。主体的なキャリアを作り上げていくのに必要な能力を養う。	30
7	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/17 (Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者と打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施 1班 9/1～9/5 2班 9/8～9/12	各企業において、夏季休業中(9月上旬～9月中旬)に5日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会 9/18(Vコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30

授業名	運動健康論（食物栄養学科）	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 必修/家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 必修/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎佐藤 浩明			
開講期				
授業の概要	GU1119 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。 ①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。 ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。 ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。 ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。 ⑤授業最後にレポート等は返却し口頭またはコメントで説明します。			
授業の到達目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得する と共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力を身に付ける、また食と健康の職人的専門として人々の健康と生活も向上に寄与するという意識と責任を持っている。またレポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする。 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調　・人間形成 食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
履修条件	家政学部 人間生活学科　生活総合コース 1年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科　福祉コース 1年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科　建築デザインコース 1年 2単位 選択 選択 家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択 ※教職課程履修者は必修	成績の 評価方法・基準	平常点30点（取組姿勢）　試験・提出物70点（実技・レポート） ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。	
テキスト	特になし（必要に応じて資料等を配布します）			
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメソッド：高橋書店」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」			
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）			
位置付け・水準	GU1119			
ディプロマポリシーとの関係	【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調　・人間形成 食と健康の職人的専門として人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任をもっている スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
オフィスタイム	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室 佐藤			
アクティブラーニング実施内容	無し			
実務家教員の経歴	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明　②服装、準備物の確認（注意事項含む）　③グループ分け	運動着、水分の準備をしてくる事	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
2	縄跳び①／からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
3	縄跳び②／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
6	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
7	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
9	フライングディスク③／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
10	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0
11	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
13	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
14	バレーボール③／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
15	実技のまとめ	≪まとめとして実技試験を行う≫ ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ）②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動で体のケアをする。タオル、水分を準備してくる	30
16	第16回 オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状 オリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツの持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
17	第17回 生活と健康について①	≪健康とは何か≫ 健康について考える導入として、「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ、様々な角度から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
18	第18回 生活と健康について②	《生活習慣病の原因・対策・予防と運動》 ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し、運動との関係について学びます。 ②運動・休養と健康について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
19	第19回 生活と健康について③	《大学生の健康》 大学生の生活に潜む危険要因について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
20	第20回 生活とスポーツについて①	《スポーツとは何か》 スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
21	第21回 生活とスポーツについて②	《生涯スポーツについて》 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにもどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
22	第22回 生活とスポーツについて③	《大学生とスポーツ》 大学生になり高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康に興味を持ち、運動やスポーツにどう関わることができるかについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
23	第23回 スポーツから学ぶ①	《フェアプレーについて》 スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常の生活や、普段の行動にも通じるものがあります。 ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
24	第24回 スポーツから学ぶ②	《メンタルトレーニング》 常に結果が求められるスポーツ選手（アスリート）のメンタルトレーニング、ポジティブシンキング、行動基準について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
25	第25回 スポーツから学ぶ③	《目標設定》 スポーツ選手（アスリート）の行動基準から自分の目標設定の方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	0
26	第26回 健康増進のための身体運動について①	《体力とは》 ①体力の概念と体力要素（身体的要素 精神的要素）について学びます。 ②運動の原理原則について理解し、効果的な運動の方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
27	第27回 健康増進のための身体運動について②	《エクササイズの方法について 健康の保持増進やからだをつくるための方法（①有酸素運動 ②筋力トレーニング ③ストレッチ ④バランス等）や実施する際のポイントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
28	第28回 コンディショニングについて	《からだの調子を良くする・怪我の予防・対処方法》 ①コンディショニングを崩す原因を理解し予防方法について学びます。 ②怪我の予防、応急処置の基本、熱中症対策について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
29	第29回 健康的な生活について①	《ライフスタイルについて》 自分のライフスタイル（生活習慣・運動習慣）を客観的に理解し、健康的な生活を過ごすための方法について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
30	第30回 健康的な生活について②	《良い習慣について》 行動を邪魔する要因を理解し、運動習慣をつける方法について学びます。 ※『健康なからだをつくる』をテーマに自分のライフスタイルについて考えます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

授業名	運動生理学	配当年次 単位数	家政学部 食物栄養学科 4年 2単位 選択
担当教員名	◎諏訪 雅貴		
開講期	前期		
授業の概要	“運動”は健康増進の3原則の一つです。生理学、解剖学、生化学、基礎栄養学、応用栄養学などで得た知識を基礎とし、運動に伴う身体の機能や構造の変化（筋骨格系、循環、呼吸、神経、エネルギー代謝）を理解します。 さらに、健康づくりのための運動と食事の関わりである運動栄養学や、スポーツパフォーマンス向上と食事摂取の関わりであるスポーツ栄養学を学びます。 これらの知識と、管理栄養士国家試験との関連づけも行います。 実務経験：企業にて、運動指導、体力づくり活動を活動を行った経験をもとに、運動処方・運動療法について講義します。 実務経歴：企業の医務職運動トレーナーとして勤務 期末試験問題は解答を公開してフィードバックするので、復習に活用してください。		
授業の到達目標	生理学、解剖学、生化学、基礎栄養学の知識の上に、その応用としての運動生理学の知識を積み上げることで、運動が身体に及ぼす影響を理解する。また、栄養士・管理栄養士の立場から、運動やスポーツによる高いQOL(quality of life)の実現に貢献できる。60点以上で単位を認定する。		
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	期末試験（100点満点）で評価する。
テキスト	栄養科学イラストレイテッド 運動生理学 羊土社 および配布資料		
参考書	関連科目の教科書・参考書等		
学生への要望	生理学、解剖学、基礎栄養学、生化学、応用栄養学の知識がベースとなるので、これまでにすでに学習した関連科目とあわせて予習復習をしてください。また、授業前には教科書の範囲に目を通しておくこと。		
位置付け・水準	FN2422		
ディプロマポリシーとの関係	社会貢献、意識と責任感		
オフィスタイム	火曜日 4 - 5 限 場所 家政学館 3 階 No.2生理学研究室		
アクティブラーニング実施内容	特になし		
実務家教員の経歴	実務経験：企業にて、運動指導、体力づくり活動を活動を行った経験をもとに、運動処方・運動療法について講義します。 実務経歴：企業の医務職運動トレーナーとして勤務		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス 骨格筋の構造と筋収縮	運動生理学やスポーツ栄養学の位置付けを知る。P14-18 骨格筋の構造と骨格筋線維の種類、筋収縮の様式、筋力の決定要因、筋力トレーニングや栄養素の摂取による最大筋力の増加や筋肥大が生じるしくみ。P19-31	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
2	神経系の役割(1)	ニューロンの構造と種類、神経系の分類、運動神経による骨格筋の制御のしくみ。P32-41	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
3	神経系の役割(2) 運動と循環・呼吸(1)	運動時の運動単位と筋線維の動員パターン。P41-45 血液循環、心臓の働き、血圧、毛細血管の働き、およびこれらの運動時の役割について。P46-51	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
4	運動と循環・呼吸(2)	呼吸と肺の働き、肺と組織でのガス交換、およびこれらの運動時の役割について。運動時の酸素摂取量とエネルギー代謝、持久的トレーニングによる骨格筋と心臓の適応。P51-65	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
5	運動とエネルギー源	三大栄養素からのATPの再合成、運動時の糖質と脂質の消費、糖質消費と疲労、運動による糖尿病の改善、エネルギー供給系の理解と運動強度による使い分け。P66-85	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
6	エネルギー消費量	エネルギー消費の分類、身体活動とエネルギー消費、エネルギー消費量の様々な測定法と推定法について。P86-102	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	身体組成・体格	身体組成と脂肪組織の部位や種類、身体組成の測定法、肥満とやせ、スポーツ選手の体格や身体組成。P103-115	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
8	筋肉づくりとたんぱく質	たんぱく質の合成と分解、アミノ酸の分解、食事や運動とたんぱく質代謝の関係、筋肉づくりのためのたんぱく質摂取。P116-133	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
9	骨づくりと栄養素、身体活動	骨の構造と機能、骨代謝とカルシウム代謝、骨量と運動の関係、栄養素の摂取と骨量。P134-P147	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
10	体温調節と水分補給	熱産生と熱放散、体温調節機構、脱水・熱中症対策と水分補給。P148-157	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
11	加齢に伴う身体機能の変化	加齢に伴う筋骨格系の変化、全身持久力の変化、ロコモティブシンドロームについて。P158-172	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
12	運動と健康(1)	運動処方と運動強度、健常者と有疾患者のための運動、身体活動による疾患予防。P173-185	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
13	運動と健康(2)	身体活動による様々な疾患予防。P178-191	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
14	身体活動と健康	身体活動の言葉の意味、世代別の身体活動、身体活動と健康、身体活動に関する指針や基準。P192-203	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60
15	スポーツ選手の食事管理	スポーツ選手の時期別（トレーニング期、試合前、試合後、増量・減量）の食事、スポーツ貧血対策、スポーツ選手のビタミンとミネラル摂取、サプリメント、運動と食物アレルギー。P204-218	授業前に教科書に目を通しておくこと。授業後は、準備したプリントの問題を行うこと。次週、授業の中で答えあわせを行う。	60

授業名	栄養教育論Ⅰ	配当年次 単位数	家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 必修
担当教員名	◎岡部 聡子		
開講期			
授業の概要	栄養教育分野における各理論家が提唱する行動科学理論や、カウンセリングの基本的事項について概説する。前半は、国民健康調査結果を基に、現在の日本国民の食生活傾向について理解し、是正について意見を出し合う。後半は、自己の私生活を見直し、食生活の改善に向けて行動目標を立て、実践を通して栄養教育の在り方について考察する。 医療機関での勤務経験をもとに、栄養マネジメント～栄養カウンセリング(7～12回)までの授業を行う。 課題のフィードバックは課題の添削・返却時にコメントをする。また、共通する点については全体に向けてフィードバックを行う。		
授業の到達目標	①行動科学理論家の提唱する理論を理解し、行動変容技法についてはいくつかを実践する ②食事調査から栄養計算をする方法が理解でき、自己の食事を日本人の食事摂取基準に合わせ、PFCバランスについて理解する ③ペアを組み、協同で栄養指導のデモができるようになる 単位認定の最低基準は、上記到達目標の8割を理解していること。		
履修条件	食物栄養学科2年	成績の 評価方法・基準	筆記試験80％、提出物20％
テキスト	栄養教育論 春木 敏編 医歯薬出版株式会社		
参考書	カロリーガイドブック 食品成分表		
学生への要望	常に受け身の姿勢ではなく、主体的、積極的な姿勢で授業に望むこと。		
位置付け・水準	FN2260		
ディプロマポリシーとの関係	研鑽、食生活への応用		
オフィスタイム	水曜日1コマ、5コマ		
アクティブラーニング実施内容	4,5回、7～11回		
実務家教員の経歴	看護師・管理栄養士として医療機関に勤務		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	栄養教育の概念	栄養教育論の授業の構成と評価について理解する。健康政策と栄養教育について、栄養教育の概念・意義を理解し、栄養教育の目的に沿った内容を学ぶ	教科書の単元部分を黙読する。	20
2	行動科学理論と栄養教育①	行動科学理論の栄養教育への適用、行動療法に基づく健康支援の方法について学ぶ	行動科学の単元について教科書を黙読する。	20
3	行動科学理論と栄養教育②	行動科学の栄養教育への必要性和食行動形成に影響を及ぼす要因について学ぶ	行動科学の単元について教科書を黙読する。	20
4	国民栄養の変遷と栄養教育①	食生活の変遷と疾病構造の変化、国民栄養の現状、食の消費動向と栄養教育について学ぶ	国民健康栄養調査について全文を読み、大切と思うところを要約する。	30
5	国民栄養の変遷と栄養教育②	国民健康栄養調査について動向を知る	国民健康栄養調査について全文を読み、大切と思うところを要約する。	30
6	食環境づくりと栄養教育	食環境の概念と組織づくり・地域づくりへの展開	教科書の単元を黙読し、身近にある情報が食物・情報へのアクセスが検討する。	20
7	栄養教育マネジメント①	栄養教育マネジメントのフローチャートについて学ぶ	自己の問題点についてアセスメントする。 食事記録の実施。	20

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	栄養教育マネジメント②	栄養アセスメント、実態把握について学ぶ	自己の問題点についてアセスメントする。 食事記録からエネルギーの算出。	20
9	栄養教育マネジメント③	栄養価の計算方法について学ぶ	自己の問題点についてアセスメントする。 食事記録からエネルギーの算出。	20
10	栄養教育マネジメント④	肥満者特有の行動特性について学ぶ	教科書の単元を黙読し、内容の理解に努める。	20
11	栄養教育マネジメント⑤	栄養教育の評価における目的、デザイン、種類、方法について学ぶ	教科書の単元を黙読し、内容の理解に努める。	20
12	栄養カウンセリング	カウンセリングの理論と方法、栄養教育への適応、実践について学ぶ	カウンセリングの姿勢について、教科書を読み、理解することと、実践を1回おこな	30
13	食行動から捉える栄養教育①	ペアを作り、食事調査から問題点の抽出について話し合う	教科書の単元を黙読し、行動変容技法の活用を考える。	20
14	食行動から捉える栄養教育②	食事摂取行動の問題点、食環境と食行動、家族の変化と食行動、ダイエットについて理解を深める	教科書の単元を黙読し、行動変容技法の活用を考える。	20
15	栄養教育論のまとめ	行動変容パターン、食事指導でのポイントについて復習をおこなう。	テストに向けて、各単元の理解を教科書とノートを用いて復習する。	60

授業名	栄養教育論Ⅱ	配当年次 単位数	家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 必修	
担当教員名	◎岡部 聡子			
開講期	前期			
授業の概要	本授業の目的は、栄養教育のための実践基礎知識を学び、食事と栄養、食生活の重要性を理解する。 ライフステージに応じた課題や問題を理解する。 健康維持と増進、障害者の自立支援を目指した栄養食事指導ができる能力を養う。 医療機関での勤務経験をもとに、成人期～カウンセリングの基本(9～13回)までの授業を行う。 課題のフィードバックは課題の添削・返却コメントで対応し、共通する点について全体に向けてフィードバックを行う。			
授業の到達目標	①食事チェック教材の種類がわかり、活用法と注意点を把握できる ②各ライフステージにおける対象の特性と栄養上の問題点を理解できる ③カウンセリングの基本姿勢を理解できる 単位認定の最低基準は、上記到達目標の8割を理解していること。			
履修条件	食物栄養学科3年	成績の 評価方法・基準	筆記試験80％ 課題提出20％	
テキスト	栄養教育論 春木 敏編 医歯薬出版株式会社			
参考書	特になし			
学生への要望	受け身でなく、積極的な姿勢で授業に望むこと			
位置付け・水準	FN2361			
ディプロマポリシーとの関係	研鑽、食生活への応用、社会貢献、意識と責任感			
オフィスタイム	水曜1コマ、5コマ			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	看護師・管理栄養士として医療機関に勤務。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	栄養教育の意義と必要性	栄養教育の概念・意義を理解し、食行動から捉える問題点を考え、行動療法に基づく健康支援について理解する。	教科書の単元部分を読むこと。	20
2	栄養教育のための実践基礎知識(1)	日本人の食事摂取基準(2025年版)の基本的な活用方法と留意点、食品構成、献立作成について学ぶ。	食事摂取基準の基本事項について読むこと。	20
3	栄養教育のための実践基礎知識(2)	わかりやすい食事チェック教材(食事バランスガイド、新食生活指針、運動指針、休養指針)について理解する。	各項目について、記憶するよう反復読み返しをおこなう。予習復習を行う。	20
4	栄養教育のための実践基礎知識(3)	個人の健康づくりのための身体活動基準、休養指針、睡眠指針を理解する。	各項目について、記憶するよう反復読み返しをおこなう。予習復習を行う。	20
5	栄養指導の媒体と視点	栄養指導と学習形態、教材の種類、栄養教育について必要な指導のポイントを学ぶ。	各項目について、記憶するよう反復読み返しをおこなう。予習復習を行う。	20
6	ライフステージ別栄養指導(1)妊娠期・授乳期	妊娠期・授乳期を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラムの作成と評価について学ぶ。	単元を読んで授業に臨む。授業終了後に再度読み返すこと。	20
7	ライフステージ別栄養指導(2)幼児期・学童期	幼児期・児童期を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラムの作成と評価について学ぶ。	単元を読んで授業に臨む。授業終了後に再度読み返すこと。	20
8	ライフステージ別栄養指導(3)思春期	思春期を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラム(肥満・やせ)作成、実施と評価について学ぶ。	単元を読んで授業に臨む。授業終了後に再度読み返すこと。	20
9	ライフステージ別栄養指導(4)成人期	成人期を対象とする栄養と特性を理解し、生活習慣病予防と食事療法の基本方針、地域・職域における栄養教育のためのプログラムの作成、保健指導と評価について学ぶ。	単元を読んで授業に臨む。授業終了後に再度読み返すこと。	20
10	ライフステージ別栄養指導(5)高齢者	高齢者を対象とする栄養と特性を理解し、低栄養と食事療法の栄養教育プログラム作成、実施と評価について学ぶ。	単元を読んで授業に臨む。授業終了後に再度読み返すこと。	20

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	介護予防と栄養教育	介護保険制度と栄養改善サービス、食事計画、支援、栄養相談、助言等について学ぶ。	配布資料をよく読み、重要と伝えるところを覚えるように取り組むこと。	20
12	障害者と栄養教育	障害者を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラムの作成、実施と評価について学ぶ。	配布資料をよく読み、重要と伝えるところを覚えるように取り組むこと。	20
13	カウンセリングの基本と栄養教育への応用	個人を対象とした栄養教育におけるカウンセリングの意義と特性、マネジメントについて理解する。(ラボールの形成、目標の共有、課題の明確化、クライアント中心の考え方)	単元を読んで授業に臨む。授業終了後に再度読み返すこと。	20
14	食環境づくり、外食産業と栄養教育	食物のアクセス面での展開、食料自給率の動向、食の安全・安心への取り組み。外食産業の動向等について理解する。	単元を読んで授業に臨む。授業終了後に再度読み返すこと。	20
15	まとめ	各分野における栄養教育の重要性を理解し、さらに世界の栄養問題、慢性疾患予防、小児疾患等について理解する。また、ヘルスリテラシーとナッジ理論の栄養教育への応用について学ぶ。	配布資料をよく読み、重要と伝えるところを覚えるように取り組むこと。	20

授業名	生活学的経済論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業の概要	本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるものであるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。 なお、在北京日本国大使館経済部での勤務経験を活かし、授業の中で経済統計の見方、マクロ経済の理論と実際について採り上げていく。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	経済的事象を経済的視点で見る目を養うことを到達目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。			
履修条件	家政学部 生活科学科 1年生 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績の 評価方法・基準	①小テスト30点（15点×2回） ②レポート70点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	伊藤元重「はじめての経済学（上）（下）」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。			
位置付け・水準	GU1109			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日 5コマ目 食品経営学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	在北京日本国大使館経済部専門調査員として主に中国経済の分析に従事			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐる行われてきた政策論争（自由貿易vs保護貿易）について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。 近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
10	食料・食品と経済①	食料自給率、食と流通等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	食料・食品と経済②	食と環境、食品廃棄物問題等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。 併せてレポートを作成すること。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	地域経済～郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
13	地域経済～郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する（前回の続き）。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
14	行動経済学とその概要①	行動経済学とは何か、その概要について学修し、ナッジ（nudge）理論を元にその事例を紹介する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	60
15	行動経済学とその概要② まとめ	行動経済学の理論について学修する（前回の続き）。これまでの学修内容を確認する。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

授業名	生活学的社会論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期	前期			
授業の概要	私達は社会の中で生きており、生活と社会は切り離して考えることはできない。本授業では、私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているか、すなわち現代社会の特性、人と社会との関係、社会問題とその背景について理解を深め、考察する力を養うこと、更に社会と切り離せない生活の多様性についても理解することを目的としている。なお、本講義では、内閣府での勤務経験を活かし、授業の中で統計資料の見方、活用の仕方についても採り上げていく。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	私達が生活している社会が、今現在どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているかについて、理解を深め、考察する力を養うことを目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。			
履修条件	家政学部 生活科学科 1年生 家政学部 食物栄養学科 1年生	成績の 評価方法・基準	①小テスト30点（15点×2回） ②レポート70点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	授業内で採り上げる。			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる社会の問題について関心を持つようにすること。			
位置付け・水準	GU1108			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日 5コマ目 食品経営学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（海外担当）付任期付職員として従事			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明する。 『社会』とは何か、今の日本『社会』はどのような状態にあるか、その一例として少子高齢化社会について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	少子高齢化社会と日本と世界①	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、日本の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	少子高齢化社会と日本と世界②	少子高齢化社会を計る様々な指標について学修し、世界各国の人口構造と高齢化について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	少子高齢化社会と日本と世界③	平均寿命、平均余命、健康寿命などの概念、それら指標の現状について概観する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	社会と仕事・家族①	家族とその役割について学修する。 家庭において起こる問題―DVと児童虐待について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	社会と仕事・家族②	フリーターとニート（ひきこもりを含む）、日本的雇用慣行について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	社会と仕事・家族③	正規雇用と非正規雇用、働くことの意義について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	社会と自己と他者①	癒しと宗教、社会的自我と個人のアイデンティティについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	社会と自己と他者②	癒しと宗教、社会学から見た自殺問題について学修・考察する。小テスト（1回目予定）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	社会と国家①	社会学から見た国家（ルールと権力）、平等な社会と格差について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	社会と国家②	厚生労働省とその取り組み（１）年金制度、社会保障制度、介護保険制度について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	社会と国家③	厚生労働省とその取り組み（２）医療保険制度とその仕組みについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、レポートを作成すること。	60
13	社会と国家④	厚生労働省とその取り組み（３）「健康日本21」等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、	60
14	社会と国家⑤	「地域保健法」と保健所の役割について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、	60
15	まとめ	これまでの学修内容の確認と小テストの内容について復習する。小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

授業名	生活学的法律論	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択
担当教員名	◎鈴木 康元		
開講期			
授業の概要	〔授業の目的・ねらい〕 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける 〔授業全体の内容の理解〕 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。		
授業の到達目標	〔授業の目的・ねらい〕 民法のうち「家族法」という分野につき基本的な知識を身につける 〔授業全体の内容の理解〕 家族法の基本知識を教え、成年後見制度等についても理解してもらう 〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 婚姻、離婚、親子等について民法上の理解を身につけ日常生活に生かせること		
履修条件	家政学部 1 年	成績の 評価方法・基準	ペーパー試験と出席の程度を考慮する
テキスト	その都度指定する		
参考書	その都度指定する		
学生への要望	法律一般につき興味をもって欲しい		
位置付け・水準			
ディプロマポリシーとの関係			
オフィスタイム	金曜日Ⅲ～Ⅴ時限 授業前後 教務部非常勤講師控室		
アクティブラーニング実施内容			
実務家教員の経歴	実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	家族法とは	民法における家族法位置づけと家族の意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	婚姻（1）	婚姻の意味と婚約等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	婚姻（2）	婚姻の効力→婚姻をすると、夫婦はどのような義務を負うのか	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	離婚（1）	離婚の意味と実態等について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	離婚（2）	離婚の方法と実務から見た問題点について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	内縁	内縁の意味とその法的意味	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	親子（1）	親子の種別（実子・養子）と法的効果について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	親子（2）	親権の意味と内容について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	扶養	法律上の扶養義務者と現代的変遷について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	相続の基礎	相続の意味と現代的特色	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	相続人	誰が相続人になるのか、相続人に相続させたくない場合は	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	相続の効力（1）	遺産承継について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	相続の効力（2）	相続分と遺産分割について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	遺言	遺言の意義・方式等	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	成年後見	成年後見制度について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	日本国憲法	配当年次 単位数	家政学部 生活科学科建築デザイン専攻 1年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択/家政学部 生活科学科社会福祉専攻 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎鈴木 康元			
開講期				
授業の概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			
授業の到達目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。			
履修条件	幼児教育学科 1 年生	成績の 評価方法・基準	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)	
テキスト	憲法【第二版】 弘文堂			
参考書	特に指定しない			
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。			
位置付け・水準	GU1110			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム	金曜日Ⅲ～Ⅴ時限授業前後 教務部非常勤講師控室			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特色、日本国憲法の歴史	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下 の平等の意義	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげ ながら教える	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	病理学	配当年次 単位数	家政学部 食物栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎大西 弘太郎			
開講期				
授業の概要	病理学の総論では、病因、退行性・進行性病変、代謝異常、免疫異常、感染、老化、放射線障害、腫瘍、先天性異常などを学ぶ。各論では、各系統や器官の主要な疾患の病態を学ぶ。			
授業の到達目標	単位認定の最低基準：主要な疾患、特に食事や栄養に関連する病態を概説できること。			
履修条件	食物栄養学科 1年	成績の 評価方法・基準	小テスト (20%) 筆記試験 (80%)	
テキスト	シンプル病理学・第8版(笹野公伸、岡田保典、安井弥：南江堂)			
参考書	NEWエッセンシャル病理学・第6版(笹野公伸・澤井高志・長村義之：医歯薬出版株式会社)			
学生への要望	病気の原因と病態について日常的に興味を持つようにすること。 学生の理解度などによりシラバスは適宜変更されることがある。			
位置付け・水準	FN2126			
ディプロマポリシーとの関係	研鑽、食生活への応用。			
オフィスタイム	月曜日：13:00～16:00。 火曜日：13:00～16:00。 木曜日：13:00～16:00。			
アクティブラーニング実施内容	随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけではなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。			
実務家教員の経歴	実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。 実務経験：医師として医療機関に勤務している。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	疾患、病因	病因とは病気の原因や成立ちをいい、外因と内因とがある。外因には生物・物理・化学的因子、栄養学的因子など、内因には代謝・遺伝子・免疫の異常、年齢などがある。	疾患、病因などについて予習・復習をしましょう。	120
2	細胞障害と細胞増殖	細胞の正常な形態や機能、増殖、細胞死を基本知識として、細胞障害による変性、遺伝子障害による疾病の成因と遺伝子修復について学ぶ。	細胞障害、細胞死、細胞増殖などについて予習・復習をしましょう。	120
3	組織、細胞の修復と再生	組織と細胞の再生とその機序を学び、再生の過剰、化生、治癒の様式、異物処理、器質化などを理解する。	再生、化生、過形成、肥大などについて予習・復習をしましょう。	120
4	循環障害	局所循環障害のうっ血、虚血、血栓、出血、梗塞などを学び、心不全、ショック、浮腫などの全身性循環障害の病態生理を理解する。	循環障害について予習・復習をしましょう。	120
5	炎症	炎症の定義と徴候を学び、その原因や炎症細胞、組織変化、組織修復機構を理解する。	炎症について予習・復習をしましょう。	120
6	感染症	病気の原因となる病原体の種類を学び、代表的な感染症の特徴を知る。病原体の感染形態に対する生体防御反応を学び、感染防御対策を考える。	感染症について予習・復習をしましょう。	120
7	免疫機構の異常	生体防御機構の主役である免疫機構を学び、その異常である免疫疾患を理解する。	主な免疫不全、アレルギー、膠原病などについて予習・復習をしましょう。	120
8	腫瘍	腫瘍の概念と病理形態学的特徴を学び、腫瘍の発生と進展、良性と悪性の鑑別、病理診断、疫学などを学ぶ。	腫瘍について予習・復習をしましょう。	120
9	遺伝と先天異常	染色体・遺伝子の構造を学び、その異常による発症の原理を理解する。代表的な染色体異常症や遺伝性疾患について学ぶ。	主な染色体異常、遺伝性疾患などについて予習・復習をしましょう。	120
10	代謝異常	代謝異常が主たる病因ではその病態変化を学ぶ。主要な代謝異常症について説明できるようにする。	主な代謝異常について予習・復習をしましょう。	120
11	老化	生命の終末に向けて老化が進む。この老化の特徴とメカニズムを学び、細胞・組織・器官の変化を理解する。	老化について予習・復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	循環器・造血系・運動器の病理	心臓、血管、骨、筋、骨髄、関節などの主要な病気の病態を学ぶ。	循環器、造血系、運動器などの主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
13	消化器の病理	口腔、消化管、唾液腺、肝臓、胆道系、膵臓などの主要な病気の病態を学ぶ。	消化器の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
14	呼吸器・泌尿器・生殖器の病理	気道や肺、腎臓や膀胱、性腺や子宮などの主要な病気の病態を学ぶ。	呼吸器、泌尿器、生殖器の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
15	神経系・内分泌系・感覚器の病理	脳、脊髄、神経、下垂体、甲状腺、副腎、膵臓、眼、皮膚等の主要な病気の病態を学ぶ。	神経系、内分泌、感覚器などの主要な疾患について予習・復習をしましょう。	120

授業名	臨床医学Ⅰ	配当年次 単位数	家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 必修	
担当教員名	◎大西 弘太郎			
開講期				
授業の概要	主な疾患の成因・病態・治療ならびに予防について、その概要を解説する。			
授業の到達目標	単位認定の最低基準：主な疾患の成因・病態・治療ならびに予防について、基本的知識が習得されていること。			
履修条件	家政学部 食物栄養学科 2年 同 編入生 3年	成績の 評価方法・基準	小テスト (20%) 筆記試験 (80%)	
テキスト	疾病の成因・病態・診断・治療―人体の構造と機能および疾病の成り立ち。 竹中 優(編集)、第2版、医歯薬出版株式会社			
参考書	特になし			
学生への要望	臨床医学の範囲は膨大である。教員が強調したポイントはその場で習得すること。 理解の一助として動画を用いるが、その内容を逐一、記憶する必要はない。学生の理解度などによりスケジュールの変更もあり得る。理解し難いところは質問すること。			
位置付け・水準	位置づけ・水準 FN2224			
ディプロマポリシーとの関係	研鑽、食生活への応用。			
オフィスタイム	月曜日：13:00～16:00。 火曜日：13:00～16:00。 木曜日：13:00～16:00。			
アクティブラーニング実施内容	随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけではなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。			
実務家教員の経歴	医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。 実務経験：医師として医療機関に勤務している。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	糖尿病とは	糖尿病とは 糖尿病の症状と徴候 糖尿病発症の危険因子 *1型糖尿病と2型糖尿病 * 糖尿病診断基準	糖尿病の分類・症状・検査・診断などについて予習・復習をしましょう。	120
2	糖尿病の合併症・治療・予防	糖尿病急性合併症 糖尿病慢性合併症 *糖尿病細小血管障害 *糖尿病大血管障害 糖尿病の治療 糖尿病の予防	糖尿病の合併症・治療・予防などについて予習・復習をしましょう。	120
3	妊娠糖尿病 糖尿病合併妊娠	妊娠糖尿病の定義と診断基準 糖尿病合併妊娠の定義	妊娠糖尿病と糖尿病合併妊娠について予習・復習をしましょう。	120
4	脂質異常症、高尿酸血症、通風	脂質異常症 高尿酸血症 通風	脂質異常症、高尿酸血症について予習・復習をしましょう。	120
5	胃と食道の主な疾患	胃食道逆流症 急性胃炎、慢性胃炎 胃・十二指腸潰瘍 胃がん *ピロリ菌感染の臨床的意義 *胃切除後の合併症	食道と胃の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
6	小腸、大腸の主な疾患	急性腸炎、慢性腸炎 タンパク漏出性胃腸症 炎症性腸疾患(クローン病と潰瘍性大腸炎) 過敏性腸症候群 腸結核 大腸がん 腸閉塞	小腸、大腸の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	肝炎	肝炎の種類 *各種ウイルス肝炎の臨床特長 *感染様式と予防 慢性肝炎の自然経過 劇症肝炎	肝炎について予習・復習をしましょう。	120
8	肝硬変 1	肝硬変とは 背景疾患 *肝硬変の各種症状・身体所見	肝硬変について予習・復習をしましょう。	120
9	肝硬変 2、脂肪肝、肝細胞がん	肝硬変の治療と管理 脂肪肝 *NASHの臨床的意義 肝細胞がん	肝硬変、脂肪肝、肝細胞がんなどについて予習・復習をしましょう。	120
10	胆道系、膵臓の主な疾患	胆石症、胆のう炎 急性膵炎 慢性膵炎の臨床特長と経過 膵臓がん	胆道系、膵臓の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
11	循環器疾患総論	循環器総論 血栓防止機構 動脈血栓症 静脈血栓症 *エコノミークラス症候群	うっ血、充血、血栓、塞栓、梗塞などについて予習・復習をしましょう。	120
12	高血圧、動脈硬化	高血圧とは *高血圧はなぜ危険か 高血圧の診断基準 動脈硬化 動脈硬化の分類 動脈硬化の予防 粥状動脈硬化の臨床的意義	高血圧、動脈硬化などについて予習・復習をしましょう。	120
13	虚血性心疾患	狭心症とは 不安定狭心症 心筋梗塞 *急性冠症候群	虚血性心疾患について予習・復習をしましょう。	120
14	心不全	心不全とは 心不全と背景疾患 *右心不全と左心不全	心不全について予習・復習をしましょう。	120
15	不整脈	刺激伝達系の解剖と生理 不整脈をきたす機序 不整脈の分類 *心臓突然死	不整脈について予習・復習をしましょう。	120

授業名	臨床医学Ⅱ	配当年次 単位数	家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 必修	
担当教員名	◎大西 弘太郎			
開講期				
授業の概要	主な疾患の成因・病態・治療ならびに予防について、その概要を解説する。			
授業の到達目標	単位認定の最低基準：主な疾患の成因・病態・治療ならびに予防について、基礎的知識が習得されていること。			
履修条件	食物栄養学科 2年 同 編入生 3年	成績の 評価方法・基準	小テスト (20%) 筆記試験 (80%)	
テキスト	疾病の成因・病態・診断・治療一人体の構造と機能および疾病の成り立ち。 竹中 優(編集)、第2版、医歯薬出版株式会社			
参考書	特になし			
学生への要望	臨床医学の範囲は膨大である。教員が強調したポイントはその場で習得すること。 理解の一助として動画を用いるが、その内容を逐一、記憶する必要はない。学生の理解度などによりスケジュールの変更もあり得る。理解し難いところは質問すること。			
位置付け・水準	FN2225			
ディプロマポリシーとの関係	研鑽、食生活への応用			
オフィスタイム	月曜日：13:00～16:00。 火曜日：13:00～16:00。 木曜日：13:00～16:00。			
アクティブラーニング実施内容	随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけではなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。			
実務家教員の経歴	実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。 実務経験：医師として医療機関に勤務している。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	腎臓 その1	尿生成のメカニズムと腎臓の機能 糸球体濾過率(GFR)の臨床的意義 急性糸球体腎炎 ネフローゼ症候群	腎臓の構造・機能、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群などについて予習・復習をしましょう。	120
2	腎臓 その2	急性腎障害の定義 急性腎障害の分類と病因 急性腎障害の治療	急性腎障害について予習・復習をしましょう。	120
3	腎臓 その3、尿路、前立腺、透析	慢性腎障害の定義・病因・病態 糖尿病性腎障害の病因・病態・病期分類 慢性腎臓病の概念・病期分類 尿路系の主な疾患 前立腺の主な疾患 透析	慢性腎障害、糖尿病性腎障害、慢性腎臓病、前立腺疾患、透析などについて予習・復習をしましょう。	120
4	ホルモン その1	内分泌疾患の概要 内分泌疾患のフィードバック機構 視床下部一下垂体系 下垂体ホルモンの生産過剰と欠乏	内分泌疾患の概要、視床下部一下垂体系の内分泌疾患について予習・復習をしましょう。	120
5	ホルモン その2	甲状腺機能低下症・亢進症 甲状腺ホルモンの生理作用 バセドウ病 橋本病 副甲状腺機能低下症・亢進症	主な甲状腺疾患、副甲状腺疾患について予習・復習をしましょう。	120
6	ホルモン その3	原発性アルドステロン症 二次性高血圧の臨床的重要性 クッシング症候群 副腎皮質機能低下症	主な副腎疾患について予習・復習をしましょう。	120

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	精神病	摂食障害とは 神経性やせ症(神経性食欲不振症) 過食症 摂食障害の治療と管理	神経性やせ症(神経性食欲不振症)などについて予習・復習をしましょう。	120
8	認知症	認知症とは 認知症と物忘れとの異同 認知症の中核症状と周辺症状 アルツハイマー病 血管性認知症 パーキンソン病 パーキンソン症候群	認知症、パーキンソン病などについて予習・復習をしましょう。	120
9	呼吸器	慢性閉塞性肺疾患(COPD)とは *病理的特徴 *危険因子 *徴候と病態生理 *治療の概要 気管支喘息 気管支炎、肺炎 肺結核	主な呼吸器疾患について予習・復習をしましょう。	120
10	血液 その1	鉄欠乏性貧血 巨赤芽球性貧血 葉酸欠乏と催奇形性 再生不良性貧血 溶血性貧血 黄疸の分類	貧血、黄疸などについて予習・復習をしましょう。	120
11	血液 その2	白血病 悪性リンパ腫 *成人T細胞白血病の成因 *成人T細胞白血病の予防 凝固異常	血液系の悪性腫瘍、凝固異常などについて予習・復習をしましょう。	120
12	運動器	骨粗鬆症 変形性関節症 サルコペニア フレイルティ ロコモティブシンドローム	主な運動器疾患について予習・復習をしましょう。	120
13	感染症	新興感染症 再興感染症 人獣共通感染症 日和見感染症 院内感染症 性感染症	主な感染症について予習・復習をしましょう。	120
14	免疫・アレルギー その1	自然免疫と適応免疫 液性免疫と細胞性免疫 アレルギーとは アレルギーの4つのタイプ(クームス分類) 食物アレルギー アナフィラキシーとその対処	免疫学総論、アレルギーなどについて予習・復習をしましょう。	120
15	免疫・アレルギーその2	膠原病、膠原病類似疾患 自己免疫疾患 後天性免疫不全症候群(AIDS)	主な膠原病、自己免疫疾患、免疫不全症などについて予習・復習をしましょう。	120

授業名	キャリアデザインⅡ（健康栄養学科）	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択	
担当教員名	◎森 みい			
開講期				
授業の概要	【授業のねらい】 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。 インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。			
	【授業の概要】 インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（5日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、就職指導にあたっている経験を活かし授業を行います。			
授業の到達目標	【授業終了時の達成目標】 インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、課題解決力を養っていきます。また、新たな学習意欲の契機となるように、仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解や充実感を感じ、人々の生活向上や社会に貢献ができることを目標とします。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	就業体験60％・報告会20％・提出物20％「認」評価判定	
テキスト	なし			
参考書	なし			
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
位置付け・水準	GC1118			
ディプロマポリシーとの関係	学修成果から人材を育成し、社会へと送り出す			
オフィスタイム	12時30分以降(月～金)			
アクティブラーニング実施内容	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
実務家教員の経歴	就職部長、キャリアコンサルタント			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要 4/10(Ｖコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出と、インターンシップに必要な書類についての確認をする。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究をしておく。 インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え 4/17(Ｖコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップを具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
3	企業研究（講演） 5/15（Ｖコマ）	身近な経営者の講演を実施習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
4	事前指導 （ビジネス文書作成） (5/29 Ｖコマ)	日誌の書き方、メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナマールを確認しておく。	30
5	事前指導 （マナー講座） 6/12（Ｖコマ）	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、印象のいいマナーを日常から意識して練習する。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/3 (Vコマ)	インターンシップ直前の留意点を確認しながらインターンシップ先の情報を収集して、目的を明確にする。企業の方針、理念を確認する。	企業への理解を深めるために、業界研究を深め、自分でできる事を明確にする。主体的なキャリアを作り上げていくのに必要な能力を養う。	30
7	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/17 (Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者と打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施 1班 9/1～9/5 2班 9/8～9/12	各企業において、夏季休業中（9月上旬～9月中旬）に5日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会 9/18(Vコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30

授業名	スポーツ実技	配当年次 単位数	短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択	
担当教員名	◎佐藤 浩明			
開講期				
授業の概要	GC1115 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性や楽しさを理解し、生涯にわたって自分の健康や体力について配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技を通して学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。 ①運動の重要性を理解し、健康との関連について学びます。 ②運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。 ③運動を通して基礎体力の維持、向上する方法について学びます。 ④レポートは口頭またはコメントを書き返却をます。			
授業の到達目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得する と共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力（人間性）を身に付ける。また健康で豊かな生活を営むことができる人間の育成を教育の目的とする。 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調　・人間形成 レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする。			
履修条件	健康栄養学科 1年生	成績の 評価方法・基準	取組姿勢40点 実技試験60点 ※本科目は実技科目のため出席、積極的な取組みを重視します)	
テキスト	特になし（必要に応じて資料等配布します）			
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者養成テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメソッド：高橋書店」			
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）			
位置付け・水準				
ディプロマポリシーとの関係	【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調　・人間形成 スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
オフィスタイム	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室			
アクティブラーニング実施内容	無し			
実務家教員の経歴	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	運動着、水分を準備してくる事	30
2	縄跳び①／からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】 【到達目標】 ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	縄跳び②／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
5	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
7	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
8	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
10	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
11	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
12	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
14	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
15	実技のまとめ	《まとめとして実技試験を行う》 ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

授業名	健康スポーツ論	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択	
担当教員名	◎佐藤 浩明			
開講期				
授業の概要	GC1114 健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、スポーツの意義、特性を理解し、生涯にわたって自ら健康について考え行動できる力を習得する。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。 ①運動と健康の関連を理解し、エクササイズの方法や身体についての基礎知識を学びます。 ②スポーツの意義を理解し、自分の健康や行動のありかたについて学びます。 ③レポート、等は口頭またはコメントで書き返却します。			
授業の到達目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得する と共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力（人間性）を身に付ける。また健康で豊かな生活を営むことができる人間の育成を教育の目的とする。 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調 人間形成 レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする。			
履修条件	幼児教育学科 1年生 健康栄養学科 1年生 ※教職課程履修者は必修	成績の 評価方法・基準	レポート60点 平常点 40点（取組姿勢・提出物）	
テキスト	特になし（必要に応じて資料、課題を配布します）			
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」 「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」			
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。			
位置付け・水準	GC1114			
ディプロマポリシーとの関係	【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調 人間形成 スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
オフィスタイム	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室			
アクティブラーニング実施内容	無し			
実務家教員の経歴	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状やオリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツが持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
2	生活と健康について①	《健康とは何か》 健康について考える導入として「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ様々な角度から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
3	生活と健康について②	《生活習慣病の原因・対策・予防と運動》 ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し運動との関係について学びます。 ②運動・休養と健康の関係について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
4	生活と健康について③	《大学生の健康》 大学生の生活に潜む健康を害する危険について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
5	生活とスポーツについて①	《スポーツとは何か》 スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	生活とスポーツについて②	《生涯スポーツについて》 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
7	生活とスポーツについて③	《大学生とスポーツ》 大学生になり、高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康について興味を持ち、運動やスポーツについてどう関わるかについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
8	スポーツから学ぶ①	《フェアプレーについて》 スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常の生活や普段の行動にも通じるものがあります。ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

授業名	自然科学（物理）	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐々木 達矢			
開講期				
授業の概要	本講義では物理学における基本的な概念を把握し説明できるようになることを目指す。そのために物理学において最も基本的な分野である力学を学ぶ。 学んだ力学をもとに生物の物理学および音の物理学を学び、他分野における物理学の役割を理解する。 フィードバックとしてリフレクションペーパー（理解度確認ペーパー）の返却・課題内容の説明等を行う。			
授業の到達目標	本講義では物理学における基礎概念の理解および物理学の役割の理解のために、(1)物理学の考え方を理解し基本的な物理法則を説明できること、(2)エネルギーなどの諸概念を理解し現象と結び付けられること、を目標とする。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること			
履修条件	とくに定めない。	成績の 評価方法・基準	課題(理解度の確認)2回・リフレクションペーパーの提出による。配点割合は課題が各 40%、リフレクションペーパーの提出を 20% とする。なお課題は得点分布などを加味し、平均点などの調整を行うことがある。	
テキスト	適宜プリントを配布する。			
参考書	とくに定めない。			
学生への要望	日常の現象に対して、なぜその現象が起こったのか自ら考えてみること。			
位置付け・水準	GC1107			
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」			
オフィスタイム	月3限、火3限、木曜1・2限（芸術館2階 地域創成学科研究室No3）			
アクティブラーニング実施内容	特になし。			
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	本授業の目標を示し、内容を概説する。また評価方法や教科書などについても述べる。また本授業で要求する基礎能力について説明する。本時では、本講義で必要となる基礎定数・文字式の扱いについて学習する。	本時の復習として、文字式の基本的な扱いを確認すること。	20
2	指数・単位・次元	指数を用いた表現方法について学習する。一般に物理量は単位を有することを知り、具体的な単位に m, cm, kg, g, sec などがあること、また速さなどの単位は、これらの単位の組み合わせとなっていることを理解する。この一般化として、日常の単位は長さ・質量・時間の三つの量の組み合わせで作られることを理解し、次元の概念を学ぶ。	本時の復習として、指数法則・負の整数乗・分数乗について確認をすること。また次元解析とはどのような解析方法であるか具体例で確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60
3	力と運動：ニュートンの3法則	運動の法則について学ぶ。速度と運動状態の關係に着目し、速度の変化には力が関わっていること、質量とは速度変化のしにくさであることを学ぶ。また物体間に働く力の關係として作用と反作用の關係を学び、日常現象から天体現象まで、同一の法則に支配されていることを認識する。	本時の復習として、ニュートンの三法則の内容を確認し、整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	90
4	保存則	保存則に着目すると現象の理解が容易となる。保存則と關係するエネルギー・運動量・角運動量を導入し、相互作用の前後でこれらの物理量が保存されることを学ぶ。さらにエネルギー問題・交通事故と速度の關係・自転車の運転などを保存則の観点から理解する。	本時の復習として、エネルギー等の物理量の定義とその意味、保存則の種類を確認すること。また日常の現象と保存則の關係を整理すること。	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	保存則とエネルギー伝達	空間の次元とエネルギーの伝わり方について実験を通して学習する。音は波であって、音の大きさは波の振幅と関係することを学ぶ。音の広がり方に着目し、エネルギー保存の観点から音の弱くなり方について理解する。また音との類推から放射線の強度についても放射線源からの距離により放射線強度が弱まることを理解する。(平面に分布している場合はどこでも同じになることについても触れる)	本時の予習として、エネルギー保存則の内容を確認しておくこと。本時の復習として、エネルギー保存則と空間の関係を整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
6	圧力	圧力の意味を理解し、日常での扱われ方について学ぶ。力は運動を定める基本的な要素であるが、日常では多数の粒子が関与するため力で扱うと不便なことがある。実際の現象では平均化された力である圧力を用いる方が適切な場合がある。ここでは圧力の計算方法を理解し、大気圧の大きさ、大気圧の生み出す現象(風)、圧力差の利用(サイフォン)などにより圧力と現象との関係を説明できるように学ぶ。より理解を深めるために、授業では体重による圧力に関する簡易実験を行い、圧力と力の違いの理解をはかる。	本時の復習として、圧力の定義を確認すること。また圧力の単位の間関係を整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
7	生物の物理学：生物の大きさ	あらゆる現象は物理法則に支配されており生物も例外ではない。これまでに学習した空間の次元やエネルギーの観点から、暑さの感じ方の違いや巨大な生物の存在の有無を理解できることを学ぶ。具体的に人間などの大きさや体重などを参考にし、空想上の生物が存在するかについて次元解析を用いて考察する。	本時の予習として、次元解析の内容を確認しておくこと。本時の復習として、自分自身の身体において高さ(身長)・横幅・前後の厚みを2倍にした場合の体重を計算してみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
8	生物の物理学：ダイエットの物理学	ダイエットをエネルギーの視点から考えなおすことで、ダイエットにどのような物理的制約があるのか理解する。ダイエットで用いられるエネルギーの単位であるカロリーと物理的に定義されたジュールの関係を理解し、エネルギー保存則を加味した場合にダイエットすることの物理的な意味を考える。また運動している物体の有するエネルギーなどと食品などのエネルギーを比較することで、運動によるエネルギー消費の程度を検討する。	本時の予習として、エネルギー保存則の内容を確認しておくこと。本時の復習として、再度、運動や食品のエネルギーの値を比較してみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20
9	課題 1	学習してきた内容の理解度をチェックする。力や圧力といった概念やエネルギー保存則などを理解できているか確認する。また次元解析などを用いた質量や密度などの簡単な評価をすることができるか確認をする。これらの事項の理解度に応じ追加の説明をする。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120
10	地球の諸性質	地球に関する大きさ・質量と構造を学ぶ。また地球の大きさを二地点間の距離から推定する方法を理解し、実際の数値データから算出してみることにする。	本時の予習として、地球の半径・周の長さを調べてみることに。本時の復習として、円周の計算方法を確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
11	音の物理学：波の性質 1	音とは空気の疎密波であることから、波の物理的性質について学ぶ。波の有するは振幅(波高)・波速・波長およびこれらと関係付けられる周波数(振動数)を理解する。また波の特徴的な性質である、縦波と横波・回折・干渉(重ね合わせの原理を含む)・反射・屈折について理解し、なぜ直接見えない音源の音が聞き取ることができるのか説明できるように学ぶことにする。	本時の復習として、波の物理的特徴を全て整理すること。また波の性質も列挙すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	音の物理学：波の性質 2	波の性質である「重ね合わせの原理」とは何か復習し、数学上はあらゆる波が正弦波の重ね合わせとして表現できる(フーリエ展開)ことを学ぶ。また固定端と自由端での波の挙動について理解する。波の重ね合わせの結果として定在波と呼ばれる波が生じることを学び、定在波の映像や音による定在波の実験を通じ、定在波について理解を深める。	本時の復習として、日常現象における定在波(定常波)の例を調べてみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
13	音の物理学：声と音	人間の音に対する認識である、音量(音の大きさ)・音程(音の高低)・音色と物理的な性質との対応を学ぶ。音の大きさは波のエネルギーと関係していること、音の高低は周波数と関係していることを理解する。また音色は音の物理的な特性とは関係がなく、波の形状によって定まることを学ぶ。具体的に理解するため、受講生の声を録音し、受講生の声の波形やスペクトルを観察する。	本時の復習として、音量・音程・音色と波の諸量との対応をまとめること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
14	共振・共鳴(力学)	共振・共鳴は、効率的にエネルギー伝達が起こる現象である。このため振動現象の中でも大きな事故を引き起こしうる。共振・共鳴とはどのような現象かを理解し、破壊的な現象が起きうることを理解する(タコマ橋の崩壊・地震と長周期振動)。	本時の復習として、講義内で示した以外の共振現象を調べてみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
15	課題2	音に関する諸事項や共振・共鳴について理解できているか確認する。波の物理的性質・音色と音の性質と関係などを理解できているか確認する。また共振・共鳴とは何かといったことや、共振・共鳴に関係する現象を把握しているか確認する。これらの事項の理解度に応じ追加の説明をする。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120

授業名	社会福祉概論	配当年次 単位数	短期大学部 健康栄養学科 2年 2単位 必修	
担当教員名	◎近内 直美			
開講期	Ⅳ期			
授業の概要	・栄養士は、乳児から高齢者等の多様な年齢の方へのサービスの提供及び疾病がある方への対応や健康な生活を維持するための予防的な視点等が必要となる。そこで、社会や環境と健康との関係を理解するとともに、保健・医療・介護システム概要について習得する。 ・現代社会の現状と課題を知り、その解決のために、他職種連携を学び栄養士が対象となる人々に提供できるサービスや支援方法を具体的にイメージが持てるようにする。 ・授業ではグループワークやディスカッション等を通して学生自身の考えの発表を行い、課題の解決方法を学ぶ。その後コメントによるフィードバックを行う。			
授業の到達目標	【達成課題】 （１）社会福祉の歴史を学び、現代社会における社会的課題を知り、解決方法を考える。 （２）地域福祉の向上について福祉の担い手との連携の意義や方法を学ぶ。 （３）社会福祉の各種法制度、サービスについて理解する。 【単位認定の最低基準】授業内容の７割を理解している。			
履修条件	健康栄養学科 2年生	成績の 評価方法・基準	課題 50％ 単元テスト 50％	
テキスト	社会福祉概論 七訂版 中央法規出版			
参考書	随時提示する			
学生への要望	事前にテキストで予習を行い、わからない言葉を調べておきましょう。			
位置付け・水準	HN2402			
ディプロマポリシーとの関係	食と健康の理解、専門性で社会貢献			
オフィスタイム	火・金曜日のⅣ限目、創学館 4階 No6研究室			
アクティブラーニング実施内容	グループワークや学生自身の考えなどの発表を通して双方向性の授業を行う。			
実務家教員の経歴	・地域包括支援センター（センター長）、居宅介護支援事業所（所長）、社会福祉法人（事業部長）			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス及び社会福祉の理念	・授業の進め方、評価方法について。 ・社会福祉の必要性について	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
2	現代社会と社会福祉 1	・家族・地域社会の変化 ・社会福祉とは ・日本国憲法と社会福祉	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
3	現代社会と社会福祉 2 社会福祉のあゆみ	・社会福祉の理念 ・イギリス及び日本における社会福祉のあゆみ	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
4	社会福祉の方としくみ	・社会福祉の法 ・社会福祉の行政と民間組織 ・社会福祉の財政	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
5	社会福祉サービスの概観 1	・児童福祉 ・障害者福祉	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
6	社会福祉サービスの概観 2	・高齢者福祉	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
7	社会福祉サービスの概観 3	・母子・父子・寡婦福祉 ・生活保護	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
8	地域福祉の概観	・地域福祉とは ・地域福祉の推進組織と担い手 ・地域福祉計画尾地域福祉推進の財源 ・地域福祉の実際	・テキストから不明な単語の意味を調べる ・「地域共生社会」について調べる	60
9	社会福祉従事者と専門職倫理	・社会福祉の担い手 ・社会福祉専門職の資格制度 ・社会福祉専門職の専門性と専門職倫理	テキストから不明な単語の意味を調べる	60
10	ソーシャルワーク実践	・ソーシャルワークとは何か ・ソーシャルワーク実践の展開	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
11	保健・医療等との連携による支援	・連携による支援の意義と目的 ・専門職連携の方法と展開	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
12	社会保障制度の概観 1	・社会保障の理念と範囲 ・社会保険	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
13	社会保障制度の概観 2	・その他の関連制度	テキストから不明な単語の意味を調べる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	近年の社会福祉施策の動向	・新型コロナウイルスの感染拡大 ・深刻・拡大する貧困問題 ・人材確保の問題 ・司法と福祉	テキストから不明な単語の意味を調べる	30
15	・授業の振り返り	・「栄養士実力認定試験」を活用し、これまでの授業の振り返りとまとめを行う。 ・課題等のフィードバックを行う	テキストから不明な単語の意味を調べる	60

授業名	情報処理Ⅰ	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎山口 猛			
開講期				
授業の概要	パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習ではオペレーティング・システム(OS)の基本操作・メールやウェブの利用方法・文書作成・表計算について学習する。 フィードバックとして、未提出物がある場合や自学自習欄の提出物の内容が不十分である場合などは追加課題の実施等を行う。			
授業の到達目標	本演習における達成目標は次の通りとする。 1. オペレーティング・システム(OS)の基本的な操作ができること。 2. ウェブとメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。 3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること			
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	達成目標の到達度合いは提出物・課題により評価する。内容毎に課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は提出物を15%、課題1を15%、課題2を35%、課題3を35%とする。	
テキスト	イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラル Office 365・Office 2021対応、noa出版(2022)			
参考書	なし。			
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。			
位置付け・水準	GC1116			
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」			
オフィスタイム	月曜1限・月曜3限 芸術館2階No.3地域創成学科研究室			
アクティブラーニング実施内容	授業全体を通してパソコン操作を含むアクティブラーニングを実施			
実務家教員の経歴	システムエンジニアとして株式会社エフコムに勤務 システム開発・情報処理の経験をもとに、文書作成・表計算についての授業を行う。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。	復習として次のことを行うこと。 ・Webメールから携帯電話へメールを送信する(正しく着信することを確認する)。 ・携帯電話からWebメールのアドレスへメールを送信する。メールが転送されることを確認する。	45
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえ、インターネットを利用するためのセキュリティについて触れる。	復習として、次の点についてまとめること。 ・URLの構造 ・インターネットを利用する際に注意すべきポイント	45
3	Email	Email のアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。 メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、TO, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。 また Email を利用するためのセキュリティについて学ぶ。 ローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmail を用いて Web 上のメールの用法も理解する。	復習として、Emailアドレスの構造とTO, CC, BCC の違いをまとめること。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	課題1	インターネット（ブラウザ・メールなど）の用法について、正しく利用できるか確認をする。 また次回以降の教材の準備を行う。 教材のダウンロード http://www.noa-prolab.co.jp/download/	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	30
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味の理解とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。	復習として、日本語変換の方法を再確認し、教科書の練習6を行ってみること。	20
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めとした図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト1・確認テスト2を実施すること。 提出用課題を実施し、指定の期日までに提出すること。	80
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となる Excel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト3, 確認テスト4を実施すること。	40
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
9	表の作成	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、オートフィルや書式の設定などについて学ぶ。	復習として、授業内でオートフィルの機能を用いて作成した連続データを、再度作成してみることに。	30
10	計算とアドレス	数式を用いた計算方法を学ぶ。特に表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。	予習として教科書のp.132からp.141までを読んでおくこと。このほか提出用課題を実施し、指定の期日までに提出すること。	80
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。	予習として教科書のp.132からp.152までを読んでおくこと。	30
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP2 確認テスト5, 確認テスト6を実施すること。	30
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP3 確認テスト1, 確認テスト2を実施すること。	30
14	課題3	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ	予習として、パワーポイントに関する章を読んでおくこと。	30

授業名	食品衛生学	配当年次 単位数	短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 必修
担当教員名	◎澤渡 優喜		
開講期			
授業の概要	〔授業の目的・ねらい〕 栄養士又はフードスペシャリストとして、安全な食品とはどのようなものか？どのように食の安全性が担保されているのかを理解してもらうことを本授業の目的としています。 〔授業全体の内容の概要〕 食品衛生と法規、食品の変質、食中毒、経口感染症・寄生虫、食品中の汚染・有害物質、食品添加物、食品の衛生管理と食品の安全性問題および食品の容器包装について解説します。 〔課題に対するフィードバックの方法〕 授業の項目ごとに確認問題を配布します。確認問題を実施後、模範解答を配布しますので、自己採点后に提出してもらいます。実施状況の確認、評価後に確認問題は返却します。必要に応じてコメントでフィードバックします。		
授業の到達目標	〔達成目標（授業終了時の達成課題）〕 栄養士又はフードスペシャリストとして、普段食っている食品の安全性がどのように担保されているのかを理解しており、また、自ら調理をする場合、食中毒を防ぐためにはどのような点に注意すべきかを理解していることを本授業の達成目標とします。 〔単位認定の最低基準〕 授業内容の7割程度を理解していること。		
履修条件	短期大学部 健康栄養学科 1年	成績の 評価方法・基準	確認問題；40点、期末試験；60点とし、60点以上の得点で単位を認定します。
テキスト	＜はじめて学ぶ＞健康・栄養系教科書シリーズ⑪ 食品衛生学 食の安全性を理解するために（（化学同人）本体2,000円＋税）		
参考書	わかりやすい食物と健康4－食品の安全性（第3版）（三共出版㈱ 本体2500円＋税）		
学生への要望	食の安全は私たちにとってとても身近な事柄です。 ニュースなどで報道される食の安全に関する問題に興味を持ち、積極的に授業に参加して下さい。		
位置付け・水準	HN2223		
ディプロマポリシーとの関係	食と健康の理解、専門性で社会貢献		
オフィスタイム	時間： 未定、 場所： 家政学館3階 食品衛生学研究室		
アクティブラーニング実施内容	－		
実務家教員の経歴	食品企業で乳酸菌を利用した商品の研究開発を行っていました。食品企業での経験をもとに、安全な食品について講義をします。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	食品衛生と法規	食品衛生とは何か？について述べた後に食品衛生行政について概説します。食品衛生に関わる体制や法律などを理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食品衛生、食品安全性確保に関する法規（食品安全基本法、食品衛生法、食品表示法など）と行政制度を概説できる。	p1～14をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
2	食品と微生物	私たちの肉眼では見えないほど小さな生物を微生物と呼びます。この微生物は私たちの周囲に存在し有用な微生物もいれば有害な微生物もあります。また、有用でも有害でもない微生物もあります。多くの場合、私たちが食べる食品にも微生物が存在します。本講義では食品に関係する微生物の特徴について解説します。 各微生物の特徴や微生物の増殖条件などを理解して下さい。	事前に配布するプリントを読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	食品の変質	食品の変質には微生物学的な変質（腐敗や酸敗など）と化学的な変質があります。本講義では食品の変質、鮮度判定および変質の防止方法について解説します。変質の種類、判定方法および防止方法を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食品の劣化原因とその防止方法について説明できる。	p17～28をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
4	食中毒の概要	食中毒の定義、分類および発生状況について解説します。食中毒の種類や発生状況の特徴を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食中毒の定義、発生状況について説明できる。	p29～38をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
5	微生物性食中毒①	サルモネラやノロウイルスなどの微生物が原因となる食中毒について、原因微生物の特徴、主な原因食品、症状および予防策などについて解説します。原因微生物の種類、原因食品、症状および予防策を理解して下さい。	p38～47をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
6	微生物性食中毒②	同上。 〔学修目標〕 ・病原微生物による食中毒の原因や主な汚染源、症状、予防法について説明できる。	p47～58をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
7	化学性食中毒と自然毒食中毒	化学物質の混入や食品の変質で発生する化学物質が原因となる化学性食中毒およびフグ毒や毒キノコなどの自然毒食中毒について解説します。 食中毒の原因物質名や食中毒の発生原因を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・自然毒および化学性の食中毒の原因や主な汚染源、症状、予防法について説明できる。	p58～71をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
8	食中毒の予防と消毒・殺菌・滅菌 経口感染症・人畜共通感染症	食中毒予防の基本的な考え方および微生物の消毒・殺菌・滅菌方法について解説します。食中毒予防法と消毒・殺菌・滅菌の実際の手段を理解して下さい。 主な経口感染症と人畜共通感染症について解説します。原因微生物の種類、感染源および症状を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食品による感染症（人畜共通感染症を含む）とその予防法について説明できる。	p71～74をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。 p77～80、p87～88をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
9	寄生虫症	食品の種類によっては、寄生虫に注意をしないといけない。魚介類、畜肉類、野菜・果実類・水などから感染の恐れのある寄生虫について解説します。特に、寄生虫の種類と原因食品を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食品による寄生虫症とその予防法について説明できる。	p80～87をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	食品中の汚染・有害物質	食品に関連する有害物質として、カビ毒、化学物質、内分泌攪乱物質、有害金属、放射性物質、加熱調理で生成する有害成分および食物アレルギーについて解説します。各有害物質の名前と特徴を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食物アレルギーの原因食品について説明できる。 ・食品汚染物質（カビ毒、有害元素、放射性物質、農薬など）について説明できる。	p91～105をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
11	食品添加物（1）（総論）	食品添加物の役割、安全性、使用基準および表示について解説します。食品添加物の使用基準の決定方法の理解は必須ですが、表示のルールも複雑なので正しく理解をするようにして下さい。 〔学修目標〕 ・食品添加物の安全性について説明できる。	p107～111、p119～124をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
12	食品添加物（2）（各論）	食品添加物（1）に続き、各食品添加物の機能や特徴などについて解説します。食品添加物の使用目的を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食品添加物の種類と用途について説明できる。	p111～118、p124～125をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
13	食品衛生管理	食中毒を発生させないためには、どのようなことに注意をして調理や食品加工をすべきか？本講義では、食品取扱施設や家庭などでの一般的な衛生管理の考え方について解説します。更に、HACCPについても解説します。食中毒を防止するための考え方を理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食品衛生管理（一般的衛生管理プログラム、HACCPなど）について説明できる。	p127～135をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
14	食品の安全性問題	遺伝子組換え食品、放射線と食品、農薬と食品およびリスク分析と食品の安全性に関する国際化について解説します。それぞれの安全性問題について理解して下さい。 〔学修目標〕 ・食品のハザード（危害要因）とリスクについて説明できる。 ・食品衛生、食品の安全性確保に関するリスク分析（リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーション）の考え方を説明できる。	p137～154をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
15	その他	その他として、食品に使用する包装資材の種類と用途、食品による窒息事故リスクについて説明します。 〔学修目標〕 ・食品による窒息とその予防について説明できる。	事前に配布するプリントをよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60

授業名	食品学Ⅱ	配当年次 単位数	短期大学部 健康栄養学科 2年 2単位 必修
担当教員名	◎澤渡 優喜		
開講期			
授業の概要	〔授業の目的・ねらい〕 調理や食品加工をするためには食品の特性を知る必要があります。本講義では食品の特性やその加工品について解説します。 〔授業全体の内容の概要〕 植物性食品および動物性食品についてそれらの特性や代表的な加工品について解説します。更に、食品の保存方法と規格基準についても解説します。 〔課題に対するフィードバックの方法〕 授業の項目ごとに確認問題を配布します。確認問題を実施後、模範解答を配布しますので、自己採点后に提出してもらいます。実施状況の確認、評価後に確認問題は返却します。必要に応じてコメントでフィードバックします。		
授業の到達目標	〔達成目標（授業終了時の達成課題）〕 代表的な食品の特性や加工食品の加工方法について専門的な知識が身についており、調理に応用したり他者に説明をしたりできるようになっていることを本授業の達成目標とします。 〔単位認定の最低基準〕 授業内容の7割程度を理解していること。		
履修条件	短期大学部 健康栄養学科 2年	成績の 評価方法・基準	確認問題40点、定期試験60点とし、計60点以上で単位を認定します。
テキスト	<初めて学ぶ>健康・栄養系教科書シリーズ④ 食べ物と健康Ⅱ 第2版 知っておきたい食品素材と加工の基礎（髙化学同人）（本体2,100円＋税）		
参考書	なし。		
学生への要望	食品学Ⅰで学んだ食品成分名を復習しておいて下さい。食品学Ⅱでも食品成分名は頻繁に出てきます。食品学Ⅱでは私たちが普段食べている食品の勉強をします。この食品はどのように製造されているのかなど、食品に興味を持って受講して下さい。		
位置付け・水準	HN2322		
ディプロマポリシーとの関係	食と健康の理解、専門性で社会貢献		
オフィスタイム	時間： 未定、 場所： 家政学館3階 食品衛生学研究室		
アクティブラーニング実施内容	－		
実務家教員の経歴	食品企業で乳酸菌を利用した商品の研究開発を行っていました。特に食品の加工については、食品企業での経験をもとに講義します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	穀類とその加工品	米、小麦、大麦、トウモロコシ、ソバおよびその他の穀類について解説します。穀類の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・穀類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・穀類の加工に伴う食品成分の物性および化学的变化を説明できる。	p1～14をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
2	イモ類および種実類とそれらの加工品	ジャガイモ、サツマイモ、サトイモ、ヤマイモおよびその他のイモ類、クリ、ギンナン、アーモンド、落花生、ゴマおよびその他の種実類について解説します。イモ類と種実類の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・イモ類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・イモ類の加工に伴う食品成分の物性および化学的变化を説明できる。 ・種実類の特徴と主要な加工品を説明できる。	p15～23をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	豆類とその加工品	大豆、小豆、インゲンマメ、エンドウおよびその他の豆類について解説します。豆類の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・豆類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・豆類の加工に伴う食品成分の物性および化学的、栄養学的変化を説明できる。	p24～34をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
4	野菜類とその加工品	葉菜類、茎菜類、根菜類、果菜類、花菜類、未熟豆および山菜類について解説します。野菜類の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・野菜類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・野菜類の加工に伴う食品成分の物性および化学的、栄養学的変化を説明できる。	p35～48をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
5	果実類とその加工品	仁果類、核果類、準仁果類、しょう果類、堅果類およびその他の果実類について解説します。果実類の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・果実類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・果実類の加工に伴う食品成分の物性および化学的变化を説明できる。	p49～57をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
6	キノコ類とその加工品	シイタケ、エノキタケ、シメジ、マッシュルーム、ナメコ、マイタケ、エリンギ、マツタケ、キクラゲ、トリュフおよびその他のキノコ類について解説します。キノコ類の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・キノコ類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・キノコ類の加工に伴う食品成分の栄養学的変化を説明できる。	p58～61をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
7	藻類とその加工品	緑藻類、褐藻類および紅藻類について解説します。藻類の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・藻類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・藻類の加工に伴う食品成分の物性変化を説明できる。	p62～65をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
8	魚介類とその加工品	魚類、甲殻類および軟体動物、魚介類の成分、筋肉構造、死後硬直、鮮度判定および魚介類の加工品について解説します。魚介類の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・魚類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・魚類の加工に伴う食品成分の物性および化学的变化を説明できる。	p66～86をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	肉類とその加工品	食肉の種類、成分、筋肉構造、死後硬直および加工品について解説します。食肉の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・肉類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・肉類の加工に伴う食品成分の物性および化学的变化を説明できる。	p87～98をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
10	卵類とその加工品	卵の種類、構造、成分および加工品について解説します。卵類の種類、特性および加工品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・卵類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・卵類の加工に伴う食品成分の物性および化学的变化を説明できる。	p99～109をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
11	乳類とその加工品	乳の成分および加工品について解説します。乳の特性および乳製品について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・乳類の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・乳類の加工に伴う食品成分の物性および化学的变化を説明できる。	p110～121をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
12	食用油脂、調味料	植物油脂、動物油脂、食用加工油脂、食塩、甘味料、発酵調味料、うま味調味料および風味調味料について解説します。 食用油脂と調味料の種類、特性および加工方法について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・食用油脂の特徴と主要な加工品およびその加工原理を説明できる。 ・食用油脂の加工に伴う食品成分の物性および化学的变化を説明できる。 ・主要な調味料の特徴と加工原理を説明できる。	p123～138をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
13	香辛料、嗜好品	香辛料および嗜好品について解説します。香辛料と嗜好品の種類および特徴について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・主要な香辛料の特徴を説明できる。 ・主要な嗜好品の特徴と加工原理を説明できる。 ・主要な嗜好品の加工に伴う食品成分の化学的变化を説明できる。	p138～150をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60
14	食品の保存	食品の保存性に関わる、水分活性、pH、温度および殺菌について解説します。食品の保存性を高める方法について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・食品の劣化原因とその防止方法について説明できる。	p151～153をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	食品の規格	食品の規格・表示、保健機能食品、特定用途食品および機能性表示食品について解説します。食品の規格・表示について理解をして下さい。 〔学修の目標〕 ・ 特別用途食品について説明できる。 ・ 保健機能食品（特定保健用食品、機能性表示食品、栄養機能食品）について説明できる。	p153～168をよく読んで授業に参加して下さい。授業終了後、確認問題を使って復習をして下さい。	60

授業名	数理・データサイエンス基礎(健康栄養)	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐々木 達矢			
開講期				
授業の概要	この講義では、数理・データサイエンス・Artificial Intelligence (AI) の社会に与える影響・データを扱う上での注意事項・データを扱うための表現・データから情報を抽出する方法を学ぶことを目的とする。従来より様々なデータを処理し、情報を抽出することは重要な作業とされていた。今日では、コンピュータの発達やインターネット等の情報網の発達により大量のデータが得られるようになったことやAIに代表される情報処理技術の進展により、いかにデータから情報を抽出するかということがこれまで以上に重要となった。これらの情報抽出は統計学を含む数的な扱いに基礎をおいており、昨今の数理データサイエンスを学ぶうえで数理的な扱いを含むデータ処理を理解しておくことが必須である。以上を踏まえ、本講義では、数理・データサイエンス・AIに基づく社会の変化、大量のデータを扱う場合の留意点、データを扱うための基礎的な数理表現、データから情報を抽出する基本的な方法を学ぶ。 フィードバックとして、リフレクションペーパー（理解度確認ペーパー）の返却や中間課題の説明等を行う。			
授業の到達目標	社会におけるデータ活用の基本的な知識を習得し、データを扱い情報を抽出する基本的な方法を理解する。具体的な目標は、 1. 社会におけるデータやAI活用およびその留意事項等について説明できること 2. データを扱うために必要な数な扱い（冪・関数・行列・集合）ができるようになること 3. データの記述とデータからの情報抽出（検定・回帰）ができるようになること である。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること			
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	リフレクションペーパー・中間演習の結果・レポート課題による。成績評価への割合は、リフレクションペーパーの提出を20%、中間演習とレポート課題の割合をそれぞれ40%とする。	
テキスト	テキストを PDF として Web 上で配信する。			
参考書	前野 昌弘, 三國 彰, "統計解析", 日本実業出版社 (2000); 涌井 良幸, 涌井 貞美, "多変量解析", 日本実業出版社 (2001)			
学生への要望	事前に資料に目を通しておき、理解できない部分を確認しておくこと。			
位置付け・水準	GC1110			
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」			
オフィスタイム	月 3 限、火 3 限、木曜 1・2 限（芸術館 2 階 地域創成学科研究室No3）			
アクティブラーニング実施内容	特になし。			
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の構成と数理・データサイエンス・AIによる社会の変化と動向	本講義で行う目的・内容・単位数・成績評価方法など説明を行う。近年は大量のデータを取得し取り扱えるようになったことにより、データサイエンス・AIと呼ばれる分野が盛んになった。本時では、数理・データサイエンス・AIによって社会にどのような変化が生じているか、また今後はどのような方向に向かうと考えられるか概説する。	復習として、これまでの社会変化がどのようなものであったか整理してみること。	30
2	利活用されているデータ・利用領域・利用技術・利活用の現場	社会では様々な種類のデータが活用されている。本時ではデータやAIの活用領域、利用するための技術、利活用例などについて学ぶことにする。また、生成AIの実際についても触れる。	政府統計ポータルにアクセスし、少なくとも三つのデータもしくはグラフを確認すること。	30
3	データサイエンスと情報の保護	データサイエンスやAIの知識や技術を利用すると、様々な大量のデータを結合し、特徴を抽出することが可能となる。このことは利便性を生む反面、個人の行動・趣味などの秘匿すべき情報も分析できることを意味する。本時では、データを扱う上での留意事項を学ぶこととする。	Ethical, Legal and Social Implications (ELSI) について調べてみること。 Society4.0とSociety5.0の違いを比較し整理してみること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	巾の演算	積の概念を発展させたものに冪がある。概念的には積と商で理解できるが、冪の演算に習熟すると様々な場面で計算が簡略化される。本時では冪とその演算規則について学ぶ。	復習として冪に関する演算規則を確認すること。また冪を用いた数値の表現について確認すること。	30
5	一次関数	一次関数は連続量を扱う数学では基本的な関数である。微分とも関連し応用範囲は広い。本時では一次関数とグラフの関係や回帰式などについて触れる。	復習として、一次関数の各係数の意味、グラフとの関係を再確認しておくこと。	45
6	ベクトルと行列	複数の数値はひとまとめにしてベクトルとすると扱いやすくなる。本時では、データを扱う際に必要となるベクトルとベクトルに作用する行列について学ぶ。	2行2列の行列を作成し、行列の積が非可換であることを確認すること。また逆行列が存在しない行列を具体的に構成してみること。	45
7	集合	数学の基礎の一つに集合がある。本時では部分集合や集合の積・和・差などの概念を導入する。また集合演算の基礎であるド・モルガンの法則やその応用方法を学ぶ。	復習として、集合の基本概念（空集合など）および集合間の演算について確認すること。	60
8	課題	これまで学修した内容に対する課題を提示する。本課題を通じ、これまでの学修内容を確実なものにする。また本時では本課題の説明も行う。	復習として、提示した課題を再度行ってみること。このことにより、理解が不足している部分を確認すること。	120
9	データとその記述	データには様々な種類がある。ここでは統計を適用する上で認識しておくべきデータの種類、基本的な統計量を学ぶ。実際に受講生自身で基本統計量を算出することとする。	復習として、データの種類毎に実例を探し、みる。また平均や分散などの特徴を再確認すること。	90
10	相関	二つの事柄に関係があるとき相関があるという。この相関を統計学的に見出す手法について学ぶ。また実際に受講生がデータから相関を算出することとする。	復習として、相関係数の定義を確認すること。また相関関数の値をみることで、あらゆる相関が判断できるわけではないことを確認すること。	45
11	検定の基礎	ある仮説が正しいか否かを統計的に調べる方法を検定という。本時では検定の基本的な考え方を学ぶ。検定を行うための前提条件である正規性や検定を行う過程で用いられる帰無仮説・優位水準・p値などの概念を学ぶ。また検定における過誤についても学ぶ。	検定で用いられる、正規性・帰無仮説・優位水準・p値などの用語を整理すること。	60
12	パラメトリック検定	検定する対象により様々な検定方法があるが、本時ではパラメトリックな平均値の検定を学び、受講生自身により平均値の検定を試みる。またパラメトリックな検定が利用できない場合に用いるノンパラメトリック検定について、その概略を学ぶ。	復習として、複数のデータで平均値の検定を行ってみること。	90
13	適合度の検定と独立性の検定	検定には、測定値が理論値と合致するか否かを判断するための適合度の検定や、二つの要素に関連性があるか否かを判断するための独立性の検定がある。本時ではこれらの検定の考え方を学ぶ。また簡単な例を通して、これらの検定を受講生自らが検定結果を確認することとする。	復習として、講義内で示した例において、数値を変えて適合度の検定や独立性の検定を行ってみること。	60
14	回帰分析による実データの分析	ある変数(目的変数)と他の変数(説明変数)からなる回帰式と呼ばれる式により分析することを回帰分析という。本時では回帰の基本的な考え方および線形回帰と非線形回帰の違いを学ぶ。その後、国・地方公共団体・産業界等によって収集された実データを分析する。分析するための処理を行い、その後、線形回帰によりデータを分析をする。一連の過程を受講生自身が行うことにより、回帰分析および実際の分析過程を学ぶこととする。	復習として、回帰の基本的な考え方を確認すること。また実際に回帰直線を求め、回帰直線の決定の仕方により、目的変数と説明変数の間に非対称が生じうることを確認すること。	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	まとめ	本科目の総まとめをする。どのような統計手法がどのような目的で使われたのか整理する。また総まとめとなるレポート課題を提示する。	授業内容に則し、課題を実施しレポートとしてまとめること。	300

授業名	日本国憲法	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎鈴木 康元			
開講期				
授業の概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			
授業の到達目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。			
履修条件	健康栄養学科 1 年生、幼児教育学科 1 年生	成績の 評価方法・基準	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)	
テキスト	憲法【第二版】 弘文堂			
参考書	特に指定しない			
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。			
位置付け・水準	GC1104			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム	金曜日Ⅲ～Ⅴ時限 授業前後 教務部 非常勤講師控室			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下 の平等の意義	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげ ながら教える	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	キャリアデザインⅡ（幼児教育学科）	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択	
担当教員名	◎森 みい			
開講期				
授業の概要	【授業のねらい】 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。 【授業の概要】 インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（5日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。 担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し就職指導にあたっております。企業と学生の状況を把握しながら、就職支援には長く携わり、希望に添った将来のキャリアを築く支援をしています。			
授業の到達目標	【授業終了時の達成目標】 インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、今後の学生生活の中に活かしていくことで、新たな学習意欲の契機となることをことを目標とします。仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解、責任の重さや成し遂げる充実感や社会への貢献を感じ取る事を目的とします。論理的思考力を身につけ、いつも明るく笑顔で目標を高く持ち、努力を惜しまない人物を育成します。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	就業体験60％・報告会20％・提出物20％ 「認」評価判定	
テキスト	なし			
参考書	なし			
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
位置付け・水準	GC1118			
ディプロマポリシーとの関係	学修成果から人材を育成し、社会へと送り出す			
オフィスタイム	12時30分以降(月～金)			
アクティブラーニング実施内容	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
実務家教員の経歴	就職部長、キャリアコンサルタント			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要 4/10(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出と、インターンシップに必要な書類についての確認をする。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究をしておく。 インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え 4/17(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップを具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
3	企業研究(講演) 5/15(Vコマ)	身近な経営者の講演を実施習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	事前指導 (ビジネス文書作成) (5/29Vコマ)	日誌の書き方、メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナマールを確認しておく。	30
5	事前指導 (マナー講座) 6/12 (Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、印象のいいマナーを日常から意識して練習する。	30
6	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/3 (Vコマ)	インターンシップ直前の留意点を確認しながらインターンシップ先の情報を収集して、目的を明確にする。企業の方針、理念を確認する。	企業への理解を深めるために、業界研究を深め、自分でできる事を明確にする。主体的なキャリアを作り上げていくのに必要な能力を養う。	30
7	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/17 (Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者と打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施 1班 9/1～9/5 2班 9/8～9/12	各企業において、夏季休業中(9月上旬～9月中旬)に5日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会 9/18(Vコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30

授業名	教育原理	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎山上 裕子			
開講期				
授業の概要	教育とはどのような行為をいうのか。人が成長していくために、教育は何ができるのか。本科目は、教え、学ぶ行為を考えていくための基礎を学ぶ科目である。授業では、近代学校教育制度の始まりとその時代背景、さまざまな教育実践、思想を時代の経過をたどりつつ講義する。また、安全な場である教育現場において、事故が発生している実態やその対策についてリスクの考え方を取りあげる。講義は、実物投影機や教材を使用した活動を適宜取り入れる。また、読書レポートを課し、教育を深く考える機会を設ける。 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。			
授業の到達目標	①近代学校教育制度の成立について、その社会的背景を捉えて、7割以上理解できたか。 ②代表的な教育思想と実践について、7割以上理解できたか。 ③保育事故を踏まえ、安全教育の重要性について7割以上理解できたか。			
履修条件	原則として、幼稚園教諭二種免許、保育士資格取得希望者。	成績の 評価方法・基準	授業内試験（４０％）、レポート（３０％）、授業参加度（３０％）	
テキスト	西村望編『教育原理』みらい社、２０１８年。			
参考書	「幼稚園教育要領」（平成２９年３月告示 文部科学省） 「保育所保育指針」（平成２９年３月告示 厚生労働省） 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成２９年３月告示 内閣府）			
学生への要望	講義用ノートを用意し、疑問点をメモすること。 欠席、遅刻をしないよう注意すること。			
位置付け・水準	CE2102			
ディプロマポリシーとの関係	「保育の本質理解」「問題解決力」			
オフィスタイム	火、金 １４：４０～１６：１０ ８３３研究室			
アクティブラーニング実施内容	ワーク・シートを使用した討議			
実務家教員の経歴	盲学校、小学校教員経験			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	講義内容について説明を受け、到達目標や評価方法を確認する。真の知識とは何か。生涯学習社会において求められる乳幼児期の学びを考える。	シラバスを読み、保育原理の授業で学んだことを振り返る。	30
2	教育の目的と意義	人類の歴史とともにある教育的行為の諸要素を知り、「日本国憲法」や「教育基本法」などをとおして教育の目的について考える。また、人間観や子ども観、教える内容、社会的状況との関連にあることを学ぶ。	教科書の26～37頁を通読する。保育に関すると思う書籍を探す。	60
3	近代学校教育制度の始まり	今日の学校教育制度は、近代と呼ばれる時代に誕生した。イギリス産業革命期において、児童労働が問題となり、子どもを保護するために政府によって制定された「工場法」により初等教育の法制化が始まったことを学ぶ。また、工場経営者オウエンによる性格形成学院の実践から環境をとおした教育という考え方を学ぶ。	西洋史の年表を手に取り、学ぶ事項の時代を確認する。保育に関すると思う書籍を探す。	60
4	一斉授業と個別指導	大量の児童を教えるために効率のよい一斉授業が考案された。モニトリアル・システムについて、その長所と短所を考え、グループで意見をまとめる。一方で、自ら思考することをとおして知識を獲得する教育の考えがあったことを学ぶ。	西洋史の年表を手に取り、学ぶ事項の時代を確認する。保育に関すると思う書籍を探す。	60
5	教科書の登場	英語圏で使用された教科書「ホーン・ブック」やコメニウスの『世界図絵』を知り、教科書の役割を考える。また、コメニウスはなぜ『世界図絵』を作成したのか、その理由を探り、母国語で学ぶことの意味、家庭教育の意義を学ぶ。	西洋史の年表を手に取り、学ぶ事項の時代を確認する。保育に関すると思う書籍を探す。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	子どもの発見者	子どもから始まる新教育の源流である、ルソーの思想について学ぶ。生まれた時は善であるが、社会によって子どもがゆがめられていくという考えを知り、実際に『エミール』の一節を読んでもみる。	教科書の該当箇所を読む。配布資料を読む。	60
7	子どもからの教育	現在の理性を働かせて現在の自己を乗り越えていく啓蒙思想を学び、ルソーの消極的教育の思想を理解する。読書をととした深い学びの方法を知る。	教科書の該当箇所を読む。読書レポートを進める。	60
8	貧困下にある子どもの救済と直観教育	貧困下におかれた子どもを救済するために、すべてを教育に捧げたペスタロッチの思想を学ぶ。家庭の居間の雰囲気や道徳教育や直観教育などの実践を、実際に体験することとおして理解する。	教科書の該当箇所を読む。読書レポートを進める。	60
9	教育機関としての幼稚園	単に子どもを預かるだけでなく、発達を促す場として幼稚園を創設したフレーベルについて、恩物の体験をととして学ぶ。	教科書の該当箇所を読む。読書レポートを進める。	120
10	教材の開発	知的障害者の教育のために考案された教具を使用した、モンテッソーリ・メソッドについて学ぶ。教具の目的、教具を使用することによる自己活動の効果を学ぶとともに、実際に教具を経験して理解を深める。現在も、行われている実践であることを学ぶ。	教科書の該当箇所を読む。これまで学んできたことを整理する。	60
11	経験主義教育	アメリカプラグマティストのデューイの教育思想を学ぶ。経験をととした学び、生の素材を使用した実践など、幼児期を含むラボラトリー・スクールの実践をととして、総合的な学びの内容を考える。	これまで経験してきた問題解決学習について思い出す。	30
12	問題解決学習	問題解決学習として現在盛んに取り組まれている論理を学ぶ。これまで自身が経験してきた総合的学習の時間を振り返り、問題解決学習について理解を深める。	これまで経験してきた問題解決学習からデューイの理論を確認する。	60
13	保育事故の現状	一向に減少しない保育事故の実態を、内閣府で公開しているデータベースを読むこととおして知る。教育機関の安全管理の重要性について学ぶ。	実習時に、ヒヤリとしたことを思い出し、何に気をつければよいのかを確認する。	60
14	安全教育	リスクという言葉の意味を知り、チャレンジ精神を損なうことのない安全教育について学ぶ。子ども自身でリスク・マネジメントができ、そのために問題解決学習が取り入れられていることを知る。現在、行われている実践を知る。	学んできたことを整理し、説明できるように準備する。	90
15	まとめ	これまで学んできたことの理解度を、ノートに整理したことをもとに、授業内試験を受ける。解説を聞き理解を確かめる。	ノートを整理する。	60

授業名	健康スポーツ論	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択	
担当教員名	◎佐藤 浩明			
開講期				
授業の概要	GC1114 健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、スポーツの意義、特性を理解し、生涯にわたって自ら健康について考え行動できる力を習得する。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。 ①運動と健康の関連を理解し、エクササイズの方法や身体についての基礎知識を学びます。 ②スポーツの意義を理解し、自分の健康や行動のありかたについて学びます。 ③レポート、等は口頭またはコメントで書き返却します。			
授業の到達目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得する と共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力（人間性）を身に付ける。また健康で豊かな生活を営むことができる人間の育成を教育の目的とする。 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調 人間形成 レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする。			
履修条件	幼児教育学科 1年生 健康栄養学科 1年生 ※教職課程履修者は必修	成績の 評価方法・基準	レポート60点 平常点 40点（取組姿勢・提出物）	
テキスト	特になし（必要に応じて資料、課題を配布します）			
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」			
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。			
位置付け・水準	GC1114			
ディプロマポリシーとの関係	【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調 人間形成 スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
オフィスタイム	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室			
アクティブラーニング実施内容	無し			
実務家教員の経歴	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状やオリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツが持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
2	生活と健康について①	《健康とは何か》 健康について考える導入として「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ様々な角度から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
3	生活と健康について②	《生活習慣病の原因・対策・予防と運動》 ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し運動との関係について学びます。 ②運動・休養と健康の関係について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
4	生活と健康について③	《大学生の健康》 大学生の生活に潜む健康を害する危険について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
5	生活とスポーツについて①	《スポーツとは何か》 スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	生活とスポーツについて②	《生涯スポーツについて》 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
7	生活とスポーツについて③	《大学生とスポーツ》 大学生になり、高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康について興味を持ち、運動やスポーツについてどう関わるかについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
8	スポーツから学ぶ①	《フェアプレーについて》 スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常の生活や普段の行動にも通じるものがあります。ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

授業名	子ども家庭福祉	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 2年 2単位 必修
担当教員名	◎山脇 功次		
開講期			
授業の概要	「子ども家庭福祉」という考え方、理念、歴史の変遷、法律、制度や実施体系等の基本的な知識を理解し保育との関連性及び子どもの権利について学ぶ。また子ども虐待等における事例研究・分析を通して実際の具体的な支援方法及び子ども家庭福祉の現状や動向を学び、今後の課題や展望についても考える。 *授業実施方法については、各授業にてグループ・ディスカッション等を通して学びの深化を図る。授業内でグループワークを実施し、終了後コメントによるフィードバックを行う。		
授業の到達目標	(1) 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 (2) 子ども家庭福祉と保育との関連性及び児童の人権について理解する。 (3) 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 (4) 子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 (5) 子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。 (6) 単位認定の最低基準は、内容の7割が理解できていること。		
履修条件	幼児教育学科	成績の 評価方法・基準	授業内で実施するテスト50点、授業内で指定する課題提出50点
テキスト	保育所保育指針及び解説書、幼稚園教育要領及び解説書 その他随時紹介する。		
参考書	山縣文治編「よくわかる子ども家庭福祉」ミネルヴァ書房		
学生への要望	配付プリント等を整理し、適宜メモを取り、予習しましょう。		
位置付け・水準	CE2204		
ディプロマポリシーとの関係	教育・保育の本質理解、問題解決力		
オフィスタイム	水曜日 4 限、木曜日 4 限 場所：822号室（山脇研究室）		
アクティブラーニング実施内容	発見学習／問題解決学習、グループディスカッション／ディベート／グループ・ワーク		
実務家教員の経歴	行政機関委託事業の障がい者基幹相談支援センターおよび障がい者就業・生活支援センター（センター長）、就労移行支援事業（主任）および就業定着支援事業（主任）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	子ども家庭福祉の理念と概念	子ども家庭福祉の理念と概念について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
2	子ども家庭福祉の歴史的変遷	子ども家庭福祉の歴史的変遷について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
3	子どもの人権擁護	子どもの人権擁護について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自	80
4	子ども家庭福祉の制度と実施体系	子ども家庭福祉の制度と実施体系について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
5	母子保健と子どもの健全育成	母子保健と子どもの健全育成について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
6	多様な保育ニーズへの対応	多様な保育ニーズへの対応について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
7	子ども虐待・DV(ドメスティックバイオレンス)とその防止	子ども虐待・DV(ドメスティックバイオレンス)とその防止について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
8	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
9	障害のある子どもへの対応	障害のある子どもへの対応について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
10	少年非行等への対応	少年非行等への対応について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自	80
11	少子化と地域子育て支援	少子化と地域子育て支援について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
12	子育て世代の親たちの就労環境と子育て困難	子育て世代の親たちの就労環境と子育て困難について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
13	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
14	子ども家庭福祉の施設と専門性	子ども家庭福祉の施設と専門性について説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80
15	地域における連携・協働とネットワーク	地域における連携・協働とネットワークについて説明する。	講義の内容から関心のあることについて自主的に学びを深める。	80

授業名	自然科学（物理）	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐々木 達矢			
開講期				
授業の概要	本講義では物理学における基本的な概念を把握し説明できるようになることを目指す。そのために物理学において最も基本的な分野である力学を学ぶ。 学んだ力学をもとに生物の物理学および音の物理学を学び、他分野における物理学の役割を理解する。 フィードバックとしてリフレクションペーパー（理解度確認ペーパー）の返却・課題内容の説明等を行う。			
授業の到達目標	本講義では物理学における基礎概念の理解および物理学の役割の理解のために、(1)物理学の考え方を理解し基本的な物理法則を説明できること、(2)エネルギーなどの諸概念を理解し現象と結び付けられること、を目標とする。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること			
履修条件	とくに定めない。	成績の 評価方法・基準	課題(理解度の確認)2回・リフレクションペーパーの提出による。配点割合は課題が各 40%、リフレクションペーパーの提出を 20% とする。なお課題は得点分布などを加味し、平均点などの調整を行うことがある。	
テキスト	適宜プリントを配布する。			
参考書	とくに定めない。			
学生への要望	日常の現象に対して、なぜその現象が起こったのか自ら考えてみること。			
位置付け・水準	GC1107			
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」			
オフィスタイム	月3限、火3限、木曜1・2限（芸術館2階 地域創成学科研究室No3）			
アクティブラーニング実施内容	特になし。			
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	本授業の目標を示し、内容を概説する。また評価方法や教科書などについても述べる。また本授業で要求する基礎能力について説明する。本時では、本講義で必要となる基礎定数・文字式の扱いについて学習する。	本時の復習として、文字式の基本的な扱いを確認すること。	20
2	指数・単位・次元	指数を用いた表現方法について学習する。一般に物理量は単位を有することを知り、具体的な単位に m, cm, kg, g, sec などがあること、また速さなどの単位は、これらの単位の組み合わせとなっていることを理解する。この一般化として、日常の単位は長さ・質量・時間の三つの量の組み合わせで作られることを理解し、次元の概念を学ぶ。	本時の復習として、指数法則・負の整数乗・分数乗について確認をすること。また次元解析とはどのような解析方法であるか具体例で確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60
3	力と運動：ニュートンの3法則	運動の法則について学ぶ。速度と運動状態の關係に着目し、速度の変化には力が関わっていること、質量とは速度変化のしにくさであることを学ぶ。また物体間に働く力の關係として作用と反作用の關係を学び、日常現象から天体現象まで、同一の法則に支配されていることを認識する。	本時の復習として、ニュートンの三法則の内容を確認し、整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	90
4	保存則	保存則に着目すると現象の理解が容易となる。保存則と關係するエネルギー・運動量・角運動量を導入し、相互作用の前後でこれらの物理量が保存されることを学ぶ。さらにエネルギー問題・交通事故と速度の關係・自転車の運轉などを保存則の観点から理解する。	本時の復習として、エネルギー等の物理量の定義とその意味、保存則の種類を確認すること。また日常の現象と保存則の關係を整理すること。	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	保存則とエネルギー伝達	空間の次元とエネルギーの伝わり方について実験を通して学習する。音は波であって、音の大きさは波の振幅と関係することを学ぶ。音の広がり方に着目し、エネルギー保存の観点から音の弱くなり方について理解する。また音との類推から放射線の強度についても放射線源からの距離により放射線強度が弱まることを理解する。(平面に分布している場合はどこでも同じになることについても触れる)	本時の予習として、エネルギー保存則の内容を確認しておくこと。本時の復習として、エネルギー保存則と空間の関係を整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
6	圧力	圧力の意味を理解し、日常での扱われ方について学ぶ。力は運動を定める基本的な要素であるが、日常では多数の粒子が関与するため力で扱うと不便なことがある。実際の現象では平均化された力である圧力を用いる方が適切な場合がある。ここでは圧力の計算方法を理解し、大気圧の大きさ、大気圧の生み出す現象(風)、圧力差の利用(サイフォン)などにより圧力と現象との関係を説明できるように学ぶ。より理解を深めるために、授業では体重による圧力に関する簡易実験を行い、圧力と力の違いの理解をはかる。	本時の復習として、圧力の定義を確認すること。また圧力の単位の間関係を整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
7	生物の物理学：生物の大きさ	あらゆる現象は物理法則に支配されており生物も例外ではない。これまでに学習した空間の次元やエネルギーの観点から、暑さの感じ方の違いや巨大な生物の存在の有無を理解できることを学ぶ。具体的に人間などの大きさや体重などを参考にし、空想上の生物が存在するかについて次元解析を用いて考察する。	本時の予習として、次元解析の内容を確認しておくこと。本時の復習として、自分自身の身体において高さ(身長)・横幅・前後の厚みを2倍にした場合の体重を計算してみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
8	生物の物理学：ダイエットの物理学	ダイエットをエネルギーの視点から考えなおすことで、ダイエットにどのような物理的制約があるのかを理解する。ダイエットで用いられるエネルギーの単位であるカロリーと物理的に定義されたジュールの関係を理解し、エネルギー保存則を加味した場合にダイエットすることの物理的な意味を考える。また運動している物体の有するエネルギーなどと食品などのエネルギーを比較することで、運動によるエネルギー消費の程度を検討する。	本時の予習として、エネルギー保存則の内容を確認しておくこと。本時の復習として、再度、運動や食品のエネルギーの値を比較してみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20
9	課題 1	学習してきた内容の理解度をチェックする。力や圧力といった概念やエネルギー保存則などを理解できているか確認する。また次元解析などを用いた質量や密度などの簡単な評価をすることができるか確認をする。これらの事項の理解度に応じ追加の説明をする。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120
10	地球の諸性質	地球に関する大きさ・質量と構造を学ぶ。また地球の大きさを二地点間の距離から推定する方法を理解し、実際の数値データから算出してみることにする。	本時の予習として、地球の半径・周の長さを調べてみることに。本時の復習として、円周の計算方法を確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
11	音の物理学：波の性質 1	音とは空気の疎密波であることから、波の物理的性質について学ぶ。波の有するは振幅(波高)・波速・波長およびこれらと関係付けられる周波数(振動数)を理解する。また波の特徴的な性質である、縦波と横波・回折・干渉(重ね合わせの原理を含む)・反射・屈折について理解し、なぜ直接見えない音源の音が聞き取ることができるのか説明できるように学ぶことにする。	本時の復習として、波の物理的特徴を全て整理すること。また波の性質も列挙すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	音の物理学：波の性質 2	波の性質である「重ね合わせの原理」とは何か復習し、数学上はあらゆる波が正弦波の重ね合わせとして表現できる(フーリエ展開)ことを学ぶ。また固定端と自由端での波の挙動について理解する。波の重ね合わせの結果として定在波と呼ばれる波が生じることを学び、定在波の映像や音による定在波の実験を通じ、定在波について理解を深める。	本時の復習として、日常現象における定在波(定常波)の例を調べてみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
13	音の物理学：声と音	人間の音に対する認識である、音量(音の大きさ)・音程(音の高低)・音色と物理的な性質との対応を学ぶ。音の大きさは波のエネルギーと関係していること、音の高低は周波数と関係していることを理解する。また音色は音の物理的な特性とは関係がなく、波の形状によって定まることを学ぶ。具体的に理解するため、受講生の声を録音し、受講生の声の波形やスペクトルを観察する。	本時の復習として、音量・音程・音色と波の諸量との対応をまとめること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
14	共振・共鳴(力学)	共振・共鳴は、効率的にエネルギー伝達が起こる現象である。このため振動現象の中でも大きな事故を引き起こしうる。共振・共鳴とはどのような現象かを理解し、破壊的な現象が起きうることを理解する(タコマ橋の崩壊・地震と長周期振動)。	本時の復習として、講義内で示した以外の共振現象を調べてみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
15	課題2	音に関する諸事項や共振・共鳴について理解できているか確認する。波の物理的性質・音色と音の性質と関係などを理解できているか確認する。また共振・共鳴とは何かといったことや、共振・共鳴に関係する現象を把握しているか確認する。これらの事項の理解度に応じ追加の説明をする。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120

授業名	社会福祉	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 必修
担当教員名	◎山脇 功次		
開講期			
授業の概要	本科目では、「社会福祉」を以下のテーマに基づいて学習を進める。 （１）社会福祉の意義と歴史の変遷を学ぶ。 （２）ソーシャルワークの基本的知識と援助技術を学ぶ。 （３）社会福祉の法や制度について学ぶ。 ＊授業実施方法については、各授業にてグループ・ディスカッション等を通して学びの深化を図る。授業内でグループワークを実施し、終了後コメントによるフィードバックを行う。		
授業の到達目標	（１）社会福祉のなか保育士の役割を理解し実行できる。 （２）社会福祉の「価値」を説明することができる。 （３）社会福祉の相談援助を実践することができる。 （４）単位認定の最低基準は、内容の7割が理解できていること。		
履修条件	幼児教育学科	成績の 評価方法・基準	授業内で実施するテスト50点、授業内で指定する課題提出50点
テキスト	保育所保育指針及び解説書、幼稚園教育要領及び解説書 その他随時紹介する。		
参考書	山縣文治・岡田忠克 編「よくわかる社会福祉」ミネルヴァ書房		
学生への要望	配付プリント等を整理し、適宜メモを取り、予習しましょう。		
位置付け・水準	CE2104		
ディプロマポリシーとの関係	教育・保育の本質理解, 問題解決力,		
オフィスタイム	木曜日 4 限、金曜日4限 場所：822号室（山脇研究室）		
アクティブラーニング実施内容	発見学習／問題解決学習、グループディスカッション／ディベート／グループワーク		
実務家教員の経歴	行政機関委託事業の障がい者基幹相談支援センターおよび障がい者就業・生活支援センター（センター長）、就労移行支援事業（主任）および就業定着支援事業（主任）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション 社会福祉	社会福祉とは何かについて説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
2	社会福祉の基礎概念	社会福祉という考え方について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
3	社会福祉の歴史と展開	日本と諸外国の歴史について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
4	社会福祉の仕組みと運営	社会福祉の法律と行政について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
5	社会保障・公的扶助	社会保障制度について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
6	社会福祉の機関と施設①（児童養護施設等）	厚生労働省、児童相談所、社会福祉施設等について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
7	社会福祉の機関と施設②（障害児入所施設等）	厚生労働省、児童相談所、社会福祉施設等について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
8	福島県内の障がい福祉施設について①	会津および県中を中心に、福島県内の障がい福祉施設の職員より事業所の説明と実習の内容について学ぶ。	当日の講演内容をもとに課題をまとめる。	80
9	福島県内の障がい福祉施設について②	会津地域を中心に、福島県内の障がい福祉施設の職員より事業所の説明と実習の内容について学ぶ。	当日の講演内容をもとに課題をまとめる。	80
10	福島県県内の障がい福祉施設について③	県中を中心に、福島県内の障がい福祉施設の職員より事業所の説明と実習の内容について学ぶ。	当日の講演内容をもとに課題をまとめる。	80
11	障がい者福祉 ①	障がいの概念と理念について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
12	障がい者福祉 ②	障がいの概念と理念について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
13	障がい者福祉 ③	障がいの概念と理念について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
14	地域福祉	地域で支える社会福祉について説明する。	教科書を予習・復習すること。	80
15	社会福祉（後半部分）のまとめ②	社会福祉のふりかえりとまとめを行います。	教科書を予習・復習すること。	80

授業名	数理・データサイエンス基礎(幼児教育)	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐々木 達矢			
開講期				
授業の概要	この講義では、数理・データサイエンス・Artificial Intelligence (AI) の社会に与える影響・データを扱う上での注意事項・データを扱うための表現・データから情報を抽出する方法を学ぶことを目的とする。従来より様々なデータを処理し、情報を抽出することは重要な作業とされていた。今日では、コンピュータの発達やインターネット等の情報網の発達により大量のデータが得られるようになったことやAIに代表される情報処理技術の進展により、いかにデータから情報を抽出するかということがこれまで以上に重要となった。これらの情報抽出は統計学を含む数的な扱いに基礎をおいており、昨今の数理データサイエンスを学ぶうえで数理的な扱いを含むデータ処理を理解しておくことが必須である。以上を踏まえ、本講義では、数理・データサイエンス・AIに基づく社会の変化、大量のデータを扱う場合の留意点、データを扱うための基礎的な数理表現、データから情報を抽出する基本的な方法を学ぶ。 フィードバックとして、リフレクションペーパー（理解度確認ペーパー）の返却や中間課題の説明等を行う。			
授業の到達目標	社会におけるデータ活用の基本的な知識を習得し、データを扱い情報を抽出する基本的な方法を理解する。具体的な目標は、 1. 社会におけるデータやAI利活用およびその留意事項等について説明できること 2. データを扱うために必要な数な扱い（冪・関数・行列・集合）ができるようになること 3. データの記述とデータからの情報抽出（検定・回帰）ができるようになること である。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること			
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	リフレクションペーパー・中間演習の結果・レポート課題による。成績評価への割合は、リフレクションペーパーの提出を20%、中間演習とレポート課題の割合をそれぞれ40%とする。	
テキスト	テキストを PDF として Web 上で配信する。			
参考書	前野 昌弘, 三國 彰, "統計解析", 日本実業出版社 (2000); 涌井 良幸, 涌井 貞美, "多変量解析", 日本実業出版社 (2001)			
学生への要望	事前に資料に目を通しておき、理解できない部分を確認しておくこと。			
位置付け・水準	GC1110			
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」			
オフィスタイム	月 3 限、火 3 限、木曜 1・2 限（芸術館 2 階 地域創成学科研究室No3）			
アクティブラーニング実施内容	特になし。			
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の構成と数理・データサイエンス・AIによる社会の変化と動向	本講義で行う目的・内容・単位数・成績評価方法など説明を行う。近年は大量のデータを取得し取り扱えるようになったことにより、データサイエンス・AIと呼ばれる分野が盛んになった。本時では、数理・データサイエンス・AIによって社会にどのような変化が生じているか、また今後はどのような方向に向かうと考えられるか概説する。	復習として、これまでの社会変化がどのようなものであったか整理してみること。	30
2	利活用されているデータ・利用領域・利用技術・利活用の現場	社会では様々な種類のデータが活用されている。本時ではデータやAIの活用領域、利用するための技術、利活用例などについて学ぶことにする。また、生成AIの実際についても触れる。	政府統計ポータルにアクセスし、少なくとも三つのデータもしくはグラフを確認すること。	30
3	データサイエンスと情報の保護	データサイエンスやAIの知識や技術を利用すると、様々な大量のデータを結合し、特徴を抽出することが可能となる。このことは利便性を生む反面、個人の行動・趣味などの秘匿すべき情報も分析できることを意味する。本時では、データを扱う上での留意事項を学ぶこととする。	Ethical, Legal and Social Implications (ELSI) について調べてみること。 Society4.0とSociety5.0の違いを比較し整理してみること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	巾の演算	積の概念を発展させたものに冪がある。概念的には積と商で理解できるが、冪の演算に習熟すると様々な場面で計算が簡略化される。本時では冪とその演算規則について学ぶ。	復習として冪に関する演算規則を確認すること。また冪を用いた数値の表現について確認すること。	30
5	一次関数	一次関数は連続量を扱う数学では基本的な関数である。微分とも関連し応用範囲は広い。本時では一次関数とグラフの関係や回帰式などについて触れる。	復習として、一次関数の各係数の意味、グラフとの関係を再確認しておくこと。	45
6	ベクトルと行列	複数の数値はひとまとめにしてベクトルとすると扱いやすくなる。本時では、データを扱う際に必要となるベクトルとベクトルに作用する行列について学ぶ。	2行2列の行列を作成し、行列の積が非可換であることを確認すること。また逆行列が存在しない行列を具体的に構成してみること。	45
7	集合	数学の基礎の一つに集合がある。本時では部分集合や集合の積・和・差などの概念を導入する。また集合演算の基礎であるド・モルガンの法則やその応用方法を学ぶ。	復習として、集合の基本概念（空集合など）および集合間の演算について確認すること。	60
8	課題	これまで学修した内容に対する課題を提示する。本課題を通じ、これまでの学修内容を確認なものにする。また本時では本課題の説明も行う。	復習として、提示した課題を再度行ってみること。このことにより、理解が不足している部分を確認すること。	120
9	データとその記述	データには様々な種類がある。ここでは統計を適用する上で認識しておくべきデータの種類、基本的な統計量を学ぶ。実際に受講生自身で基本統計量を算出することとする。	復習として、データの種類毎に実例を探し、みる。また平均や分散などの特徴を再確認すること。	90
10	相関	二つの事柄に関係があるとき相関があるという。この相関を統計学的に見出す手法について学ぶ。また実際に受講生がデータから相関を算出することとする。	復習として、相関係数の定義を確認すること。また相関関数の値をみることで、あらゆる相関が判断できるわけではないことを確認すること。	45
11	検定の基礎	ある仮説が正しいか否かを統計的に調べる方法を検定という。本時では検定の基本的な考え方を学ぶ。検定を行うための前提条件である正規性や検定を行う過程で用いられる帰無仮説・優位水準・p値などの概念を学ぶ。また検定における過誤についても学ぶ。	検定で用いられる、正規性・帰無仮説・優位水準・p値などの用語を整理すること。	60
12	パラメトリック検定	検定する対象により様々な検定方法があるが、本時ではパラメトリックな平均値の検定を学び、受講生自身により平均値の検定を試みる。またパラメトリックな検定が利用できない場合に用いるノンパラメトリック検定について、その概略を学ぶ。	復習として、複数のデータで平均値の検定を行ってみること。	90
13	適合度の検定と独立性の検定	検定には、測定値が理論値と合致するか否かを判断するための適合度の検定や、二つの要素に関連性があるか否かを判断するための独立性の検定がある。本時ではこれらの検定の考え方を学ぶ。また簡単な例を通して、これらの検定を受講生自らが検定結果を確認することとする。	復習として、講義内で示した例において、数値を変えて適合度の検定や独立性の検定を行ってみること。	60
14	回帰分析による実データの分析	ある変数(目的変数)と他の変数(説明変数)からなる回帰式と呼ばれる式により分析することを回帰分析という。本時では回帰の基本的な考え方および線形回帰と非線形回帰の違いを学ぶ。その後、国・地方公共団体・産業界等によって収集された実データを分析する。分析するための処理を行い、その後、線形回帰によりデータを分析をする。一連の過程を受講生自身が行うことにより、回帰分析および実際の分析過程を学ぶこととする。	復習として、回帰の基本的な考え方を確認すること。また実際に回帰直線を求め、回帰直線の決定の仕方により、目的変数と説明変数の間に非対称が生じうることを確認すること。	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	まとめ	本科目の総まとめをする。どのような統計手法がどのような目的で使われたのか整理する。また総まとめとなるレポート課題を提示する。	授業内容に則し、課題を実施しレポートとしてまとめること。	300

授業名	日本国憲法	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎鈴木 康元			
開講期				
授業の概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			
授業の到達目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。			
履修条件	健康栄養学科 1 年生、幼児教育学科 1 年生	成績の 評価方法・基準	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)	
テキスト	憲法【第二版】 弘文堂			
参考書	特に指定しない			
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。			
位置付け・水準	GC1104			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム	金曜日Ⅲ～Ⅴ時限 授業前後 教務部 非常勤講師控室			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下 の平等の意義	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげ ながら教える	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	保育原理	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎山上 裕子 山脇 功次			
開講期				
授業の概要	本科目は、保育を学ぶための入門にあたる。生涯にわたる人格形成の基礎を培う保育は、どのような基本を踏まえて活動を行うのか。保育の思想や歴史を踏まえ、保育の必要性、国の施策にみる保育の基本、保育の目標や方法などについて取りあげる。授業では、随時、グループ・ワークによる学びを取り入れる。最終授業で全体に対するフィードバックを行う。			
授業の到達目標	①保育の意義を、7割以上理解できたか。 ②「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の法的位置づけや保育の基本を、7割以上理解できたか。 ③保育の思想と歴史について、7割以上理解できたか。			
履修条件	原則として、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格取得希望者	成績の 評価方法・基準	授業参加度（30点）、レポート（30点）	授業内試験（40点）
テキスト	西村望編『教育原理』みらい社			
参考書	「幼稚園教育要領」（平成29年3月告示 文部科学省） 「保育所保育指針」（平成29年3月告示 厚生労働省） 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 内閣府）			
学生への要望	授業用のノートを用意し、疑問に思ったこと、感じたことなどメモをすること。 欠席、遅刻はしないようにすること。			
位置付け・水準	CE2101			
ディプロマポリシーとの関係	「保育の本質理解」「問題解決力」			
オフィスタイム	山上：火、金 14：40～16：10 833研究室 山脇：木、金 15：30～16：10 822研究室			
アクティブラーニング実施内容	グループ・ワーク			
実務家教員の経歴	山上：盲学校・小学校教員経験			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション (担当：山上)	講義内容について説明を受け、到達目標や評価方法を確認する。保育のイメージをする。	シラバスを確認し、自身の乳幼児期のことを、家族から聴いたり思い出したりする。	30
2	保育の必要性 (担当：山上)	未熟な状態で生まれるヒトであることをふまえ、文化的環境の中で、人間として成長していくことを、野生児の事例から学ぶ。	ヒト以外の動物の生誕について調べる。	60
3	保育の意義① (担当：山上)	ヒトから人間への成長となるための保育の意義について考える。小レポートにまとめる。	前回の授業内容を振り返る。本時の授業から保育の意義を整理する。	60
4	保育の意義② (担当：山上)	保育の意義を実際に実現する施設である保育所の役割を学ぶ。	資料を読む。	60
5	日本における保育施設および学校と地域連携の取り組み (担当：山脇)	「保育所保育指針」および「幼稚園教育要領」をもとに、地域連携の取り組みについて学ぶ。	「保育所保育指針」および「幼稚園教育要領」を見直す。	60
6	日本における保育施設および学校と地域の協働について事例検	日本における地域連携の事例について学ぶ。	配付した資料を見直す。	60
7	高所得国における地域連携の取り組み	アメリカおよびヨーロッパ諸国における保育施設と地域との連携について学ぶ。	配付した資料を見直す。	60
8	低所得国における地域連携の取り組み	アフリカおよび東南アジア等における保育施設と地域との連携について学ぶ。	配付した資料を見直す。	60
9	西洋と日本の子ども観 (担当：山上)	中世から近代にかけての西洋の子ども観の変遷をたどるとともに、日本では子どもを善とみる見方があったことを知る。	世界史の年表で時代を確認する。また、授業で取りあげられた事項の時代の様相を確認する。	60
10	日本の保育思想と歴史 (担当：山上)	江戸時代から明治期にかけて各地に設立された、保育所や子守学校について学ぶ。	日本史の年表で時代を確認する。また、授業で取りあげられた事項の時代の様相を確認する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	日本で初めての幼稚園 (担当：山上)	東京女子師範学校附属幼稚園のはじまりについて学ぶ。	明治時代の社会変動について確認する。	60
12	倉橋惣三の保育論 (担当：山上)	東京女子師範学校附属幼稚園の改革をし、今日の日本の保育を切り開いた倉橋について、彼の保育への情熱や誘導保育論などを学ぶ。	倉橋惣三について調べる。	60
13	倉橋惣三の保育思想 (担当：山上)	『育ての心』や『幼稚園雑草』を読み、感想を出し合い、保育のあるべき姿を考えまとめる。	配布資料を通読する。これまで学んだことの整理をする。	90
14	外国の保育の現状と課題 (担当：山上)	アメリカでの就学前の政策について知り、ヘッドスタート政策以降、過剰な教育への見直しが進められていることを学ぶ。	アメリカ社会について、イメージがもてるように情報を獲得する。これまで学んだことの整理をする。	90
15	まとめ (担当：山上)	これまで学んできたことの理解度を、授業内試験をとおして確認し、解説を受ける。	試験に備えて準備を進め、理解が不足しているものは解説を受けて補う。	60

授業名	キャリアデザインⅡ（地域創成学	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 1単位 選択
担当教員名	◎森 みい		
開講期			
授業の概要	【授業のねらい】 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。 インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。 【授業の概要】 インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（5日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、長く就職指導にあたっている経験を活かし授業を行います。		
	授業の到達目標	【授業終了時の達成目標】 インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、今後の学生生活の中に活かしていくことで、新たな学習意欲の契機となることを目標とします。仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解、責任の重さや成し遂げる充実感や社会への貢献、多様な課題を自らの手で発見し、それらを分析し解決する力を身につける事を目標とを目標としています。	
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	就業体験50％・報告会10％・提出物10％「認」評価判定
テキスト	なし		
参考書	なし		
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。		
位置付け・水準	CD1906		
ディプロマポリシーとの関係			
オフィスタイム	12時30分以降(月～金)		
アクティブラーニング実施内容	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。		
実務家教員の経歴	就職部長、キャリアコンサルタント		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要 4/10(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出と、インターンシップに必要な書類についての確認をする。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究をしておく。 インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え 4/17(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップを具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
3	企業研究（講演） 5/15（Vコマ）	身近な経営者の講演を実施習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
4	事前指導 （ビジネス文書作成） 5/29 Vコマ	日誌の書き方、メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナマールを確認しておく。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	事前指導 (マナー講座) 6/12 (Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、印象のいいマナーを日常から意識をして練習する。	30
6	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/3 (Vコマ)	インターンシップ直前の留意点を確認しながらインターンシップ先の情報を収集して、目的を明確にする。企業の方針、理念を確認する。	企業への理解を深めるために、業界研究を深め、自分でできる事を明確にする。主体的なキャリアを作り上げていくのに必要な能力を養う。	30
7	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/17 (Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者と打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施 1班 9/1～9/5 2班 9/8～9/12	各企業において、夏季休業中(9月上旬～9月中旬)に5日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会 9/18(Vコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30

授業名	デザイン論	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択
担当教員名	◎小松 太志		
開講期			
授業の概要	近代デザインの歴史を概観し、デザインが社会とどのような関わりを持って発展してきたのかについて理解を深める。併せて、制作プロセスや造形、経済などの視点からデザインについて学び、広い視野をもってデザインを考える力を培う。 ・実務経験に関連する内容：広告制作会社に勤務した経験を活かして、コミュニケーション手法としてのデザインについて実例とともに説明する。実務経歴：デザイナーとして広告制作会社（株式会社ミサイル・カンパニー）に勤務。 ・課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：各回でミニッツペーパーを配布する。興味・関心や疑問点、理解度について確認を行いフィードバックする。 ・位置づけ・水準 CD2165		
授業の到達目標	本授業の達成目標は以下の通りとする。 ①近代デザイン史の概要を理解している。 ②コンセプトと造形を関連付けてデザインを考えることができる。 ③社会との関わりの中でデザインの果たす役割について理解している。 ・単位認定の最低基準：授業内容の7割を理解していること。 ・ディプロマ・ポリシーとの関係：知識理解、創造的思考力		
履修条件	地域創成学科1年	成績の 評価方法・基準	下記の基準で評価する。 ①授業への態度・意欲（20%）②授業内容の理解度（30%）③レポート（50%）
テキスト	適宜、配布する。		
参考書	適宜、提示する。		
学生への要望	・授業支援システムを活用して、授業資料の配布や課題提出をおこなうため、操作に慣れること。 ・欠席などで授業理解に遅れが生じた場合は、次の授業に支障をきたさないように自習すること。		
位置付け・水準	CD2165		
ディプロマポリシーとの関係	知識理解、創造的思考力		
オフィスタイム			
アクティブラーニング実施内容			
実務家教員の経歴	実務経験に関連する内容：広告制作会社に勤務した経験を活かして、コミュニケーション手法としてのデザインについて実例とともに説明する。実務経歴：デザイナーとして広告制作会社（株式会社ミサイル・カンパニー）に勤務。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	本授業の内容、目標、受講資格、評価について説明する。	シラバスの内容を確認する。	60
2	デザインの歴史①	アール・ヌーヴォーに代表される19世紀末から20世紀初頭のデザイン運動について講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
3	デザインの歴史②	20世紀初頭のドイツ工作連盟からバウハウスまでの歴史について講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
4	デザインの歴史③	20世紀初頭のドイツ工作連盟からバウハウスまでの歴史について講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
5	デザインの歴史④	第2次世界大戦後から現代までのデザイン運動について講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
6	視覚と認知	視覚と認知の仕組みについて講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
7	色彩について①	色と光、色彩知覚の仕組み、色彩と心理について講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
8	色彩について②	色の分類、配色について講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
9	タイポグラフィについて①	書体の歴史と分類について講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
10	タイポグラフィについて②	タイポグラフィについて、視認性と可読性、レイアウトとの関係から講義を行う。簡易な文字組の練習を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
11	タイポグラフィについて③	タイポグラフィの視覚的な効果について、作品事例とともに講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
12	レイアウトについて①	レイアウトについて視覚的なバランスと統一感、ユーザビリティ、視線誘導の観点から事例とともに講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	レイアウトについて②	レイアウトについて視覚的な階層構造、ブランディングの観点から事例とともに講義を行なう。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
14	デザインのプロセス①	デザインのプロセスについて、アイデア創出とコンセプトの策定について講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60
15	デザインのプロセス②	マーケティングの観点からデザインのプロセスについて講義を行う。	配布資料を確認して、授業内容をまとめる。	60

授業名	児童サービス論		配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択
担当教員名	◎柳沼 志津子			
開講期	Ⅰ期			
授業の概要	①児童サービスは、図書館が行う利用者へのサービスの中でも人生の最初に出会い、人格形成やその後の人生に大きな影響を与えることから最も大切なサービスであるといえます。 ②当講義は、公共図書館で行われる「児童サービス」の意義・歴史をふまえ実際の活動について演習を交えながら、その重要性について学びます。 ③「児童サービス」について理解を深めるための課題を通して、より具体的にサービスの内容を理解します。			
授業の到達目標	【目標】公共図書館における児童サービスの意義・運営・活動などについて学ぶとともに、その重要性を理解する。 【課題】①レポート「あなたにとっての図書館（読書）の思い出」②演習の中での実習（読み聞かせ、ブックトーク、アニメーション、紹介文等への取り組み。その都度指示）③レポート「私が考える児童図書館員」			
履修条件	地域創成学科学生	成績の 評価方法・基準	課題演習 6 0 %（課題・実習への取り組み等） 参加態度 2 0 %（聴講態度・積極性・質問等） 総合評価 2 0 %	
テキスト	特に使用しません。都度、資料を配布します。			
参考書	『児童サービス論 新訂版 JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ 6』堀川照代：編著 日本図書館協会 2020年、『児童図書館サービス論』赤星隆子・荒井督子 編著 理想社 2010年、『児童サービス論 現代図書館情報学シリーズ…6』植松貞夫・鈴木佳苗 編著 樹村房 2012年、『児童サービス論 地域とつながる公共図書館の役割 講座図書館情報学7』伊香左和子・塚原博 編著 ミネルヴァ書房 2023年、『子どもと本』松岡享子 岩波書店 2015年、『えほんのせかいこどものせかい』松岡享子 日本エディタースクール出版部 1987年、『がんばれ！児童図書館員』杉山きく子 本作り空 Sola 2014年 、『あの本この本どんな本 子どもの本の紹介文の書き方』川上博幸 児童図書館研究会近畿支部 2016年 他			
学生への要望	課題の提出は必須、演習には積極的な態度で参加してください。			
位置付け・水準	CD2111			
ディプロマポリシーとの関係	知識、理解			
オフィスタイム	月曜Ⅰ時限終了後			
アクティブラーニング実施内容	なし			
実務家教員の経歴	私立図書館館長			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス、自己紹介、概要説	「児童サービス論」の進め方について	講義を聞き、内容を理解する。課題①「あ	6 0 分
2	児童サービスの意義・歴史	公共図書館における児童サービスの意義と児童サービスの歩みについて学ぶ。	資料を再読し、理解を深める。	6 0 分
3	子どもの読書の意義と子どもの読書の発達	子どもの読書はいかに大切か、その意義と子どもがどのように読書を身につけていくか発達段階を追って学ぶ。	資料を再読し、理解を深める。	1 2 0 分
4	児童資料の種類と特色	子どもの本の種類とその特色について学ぶ。	資料を再読し、理解を深める。	1 2 0 分
5	児童資料の選書と管理	児童資料の選書と管理、蔵書構成等について	資料を再読し、理解を深める。	1 2 0 分
6	児童サービスの諸活動 児童サービスの運営	児童資料の提供、レファレンスサービス、フロアワーク、行事、展示、P R 活動 児童サービスの運営、管理、評価、施設等について	資料を再読し、課題②実際の図書館でどのような行事を行っているか調べてレポートを作成・提出（第 1 1 回目提出）	1 8 0 分
7	子どもと本をつなぐ技術・児童サービスの実際① 絵本の読み聞かせとストーリー	絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングについて実演を交えながらその意義や大切さについて学ぶ。	資料を再読し、課題③自分が読み聞かせをしたい絵本・お話を選び、練習・発表をする。（発表は第 1 1 ・ 1 2 ・ 1 3 ・ 1 4 回	1 8 0 分
8	子どもと本をつなぐ技術・児童サービスの実際②	ブックトークについて実演を交えながらその意義について学ぶ。	資料を再読し、実演した課題④ブックトークの感想・意見を記入・提出する。（第 9	1 8 0 分
9	子どもと本をつなぐ技術・児童サービスの実際③	読書へのアニメーションについて実演を交えながらその意義について学ぶ。	資料を再読し、実演した課題⑤アニメーションの感想・意見を記入・提出する。（第 1	7 0 分
10	子どもと本をつなぐ技術・児童サービスの実際④ 本の案内・紹介文の書き方【演	子どもや保護者へ適切な本を案内する手段として紹介文の書き方を学び、その必要性を学ぶ。	資料を再読し、課題⑥紹介したい本の紹介文を書く。（第 1 2 回に提出）	1 8 0 分
11	乳幼児サービス	乳幼児サービスの意義と実際の活動について学ぶ。	資料を再読し、理解を深める。	6 0 分

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	ヤングアダルトサービスと支援 の必要な子どもへのサービス	ヤングアダルトサービスと支援が必要な子どもへのサービスの意義と実際の活動について学ぶ。	資料を再読し、理解を深める。 課題⑦「私が考える児童図書館員」（８００～１２００字）作成・提出（第１４回に	１２０分
13	公共図書館と学校図書館 （アウトリーチサービス）	学校図書館の現状と公共図書館と学校図書館の連携、その他関連団体への図書館サービス（アウトリーチサービス）について学ぶ。	資料を再読し、理解を深める。	１２０分
14	子どもの読書活動の推進と公共 図書館	自治体の子どもの読書活動の推進と地域の諸機関・団体との連携・協力	資料を再読し、理解を深める。	６０分
15	児童図書館員のキャリア・スキルアップ 児童図書館の現状と	児童図書館員のスキルアップ、児童図書館の現状と課題について学ぶ。	資料を再読し、理解を深める。	６０分

授業名	情報概論	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択
担当教員名	◎佐々木 達矢		
開講期			
授業の概要	コンピュータや情報通信技術の基本原理を学び、実際のハードウェア構成、ソフトウェアの種類や機能を理解すると共にコンピュータをネットワークで接続したインターネットの日常生活やビジネスでの活用とそれを支える基本技術について学ぶ。さらに、ネット社会が抱える問題とその解決法について考える。また、今後、学習していく情報関連の授業が理解できるようにする。 フィードバック方法：最終授業で授業内容を振り返り、試験のポイントを解説する。e-learningの実施状況については随時フィードバックを行う。		
授業の到達目標	1. 情報処理の基本である情報の単位が説明でき、2進16進の計算ができること。 2. パソコンの動作の仕組みが説明できること。 3. ネットワークの仕組みを理解すること。 4. 情報セキュリティと情報モラルについて基本的な事項を理解すること。 ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連及び単位認定の最低基準 超スマート社会の様々な課題を論理的に捉え問題を解決していく力を身につけるために、ICTの専門的知識の基礎を修得する。 単位認定の最低基準：7割を理解している必要がある。		
履修条件	なし	成績の 評価方法・基準	e-learningの学習成果：30%、mocaを使ったオンライン試験：70%
テキスト	「これだけは知っておこう！情報リテラシー」NOA出版 IPA 情報処理推進機構/情報セキュリティ https://www.ipa.go.jp/security/index.html		
参考書	パソコン検定3級試験対策本、ITパスポート試験対策本全般		
学生への要望	馴染みの無い言葉が沢山出てくるが、教科書をよく読み分らない言葉はインターネットで調べる等して学習する習慣をつけてください。		
位置付け・水準	CD2131		
ディプロマポリシーとの関係	「知識理解」「課題解決力」		
オフィスタイム	月3限、火3限、木曜1・2限（芸術館2階 地域創成学科研究室No3）		
アクティブラーニング実施内容	特になし。		
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	講義内容を説明する。コンピュータ上で扱う情報について表現方法や演算の方法について学ぶ。 用語：2進法、16進法、文字コード	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
2	コンピュータの基礎	コンピュータの歴史やコンピュータの種類、パソコンの形や取扱いの注意について学ぶ。 用語：ノイマン型コンピュータ、PS/AT互換機、ハードウェア、ソフトウェア	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
3	ハードウェア 1	パソコン本体の内部がどのような部品で構成されているか確認し、それぞれの役割や性能について学習する。 用語：CPU、メインメモリー、RAM/ROM	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
4	ハードウェア 2	外部記憶装置および代表的な出力装置の動作原理や種類、性能の見方について学ぶ。 用語：ハードディスク、リムーバブルディスク、CRT、液晶、ラスタデータとベクタデータ	e-Learningの該当箇所を実施する。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	ハードウェア 3	入力装置の種類とその動作原理について学ぶ。また、周辺装置を接続するインターフェースについて学ぶ。 用語：キーボード、マウス、スキャナー、シリアル転送、パラレル転送、IEEE1394、USB	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
6	基本ソフトウェア	OSの役割と種類を学習し、現在の主流となっているWindowsの特徴について学ぶ。 用語：ディスク管理、レジストリ、ファイルシステム、拡張子	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
7	アプリケーションソフトウェア	オフィス処理関係ソフトの種類と機能を学習するほかにデータベースソフトやプログラミングについて学ぶ。 用語：テキストエディタ、DTPソフト、テーブル、レコード、フィールド、SQL、プログラミング	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
8	情報通信ネットワークの仕組み	コンピュータネットワークの代表的な形態について学び、それぞれの違いについて確認する。 用語：LAN、WAN、OSI、クライアント、サーバー	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
9	LANの構成	LANの規格、データ転送方式、LANのハードウェア、セキュリティについて学ぶ。 用語：イーサネット、無線LAN、ハブ、ルータ、ファイアウォール、暗号化	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
10	インターネットの仕組み	インターネットとは何かについて、歴史、しくみ、代表的サービスであるWWWの観点から学ぶ。 用語：ARPAnet、IPアドレス、ドメイン名、ISP	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
11	インターネット上のサービス	メールがどの様にして届くか学び正しく利用できる知識を得るとともにインターネット上の色々なサービスについて学ぶ。また、インターネットへの接続方法について説明できるようにする。用語：POP、SMTP、メーリングリスト、ADSL、FTTH	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
12	情報セキュリティ	セキュリティに関する正しい知識を持ち、適切な対策を講じることができるように学習する。 用語：コンピュータウイルス、ウイルス感染の予防、スパイウェア	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
13	不正アクセスと詐欺の防止	不正アクセスとは何か及びそれを禁止している法律について学ぶとともに不正アクセスを防ぐ技術対策を理解し実施できるようにする。また 最も利用機会の多いブラウザのセキュリティ機能を有効に使用するため、設定方法を学び利用形態に合わせた設定ができるようにする。 用語：不正アクセス禁止法、セキュリティホール、ファイアウォール、Cookie、ソーシャルエンジニアリング、フィッシング詐欺	e-Learningの該当箇所を実施する。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	情報モラル及びフィードバック	情報社会の問題点と法律、自分を守るための方法について学ぶ。 試験のポイント及びe-Learning実施状況フィードバック 用語：知的財産権、個人情報、インターネット利用上のマナー	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
15	最終テスト	授業中に、mocaを用いてオンラインの試験を実施する。 試験後に、問題の解説、フィードバックなどを行う。	これまでの授業とe-Learningの内容を復習し、疑問点等あれば整理しておく。	60

授業名	情報処理Ⅰ	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐々木 達矢			
開講期				
授業の概要	パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習ではオペレーティング・システム(OS)の基本操作・メールやウェブの利用方法・文書作成・表計算について学習する。 フィードバックとして、未提出物がある場合や提出物の内容が不十分である場合などは追加課題の実施等を行う。			
授業の到達目標	本演習における達成目標は次の通りとする。 1. オペレーティング・システム(OS)の基本的な操作ができること。 2. ウェブとメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。 3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。 単位認定の最低基準：7割を理解している必要がある。			
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	達成目標の到達度合いは提出物・課題により評価する。内容毎に課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は提出物を15%、課題1を15%、課題2を35%、課題3を35%とする。	
テキスト	イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラル Office 365・Office 2021対応、noa出版(2022)			
参考書	なし。			
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。			
位置付け・水準	CD1130			
ディプロマポリシーとの関係	「知識理解」			
オフィスタイム	月3限、火3限、木曜1・2限（芸術館2階 地域創成学科研究室No3）			
アクティブラーニング実施内容	特になし。			
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。	復習として次のことを行うこと。 ・Webメールから携帯電話へメールを送信する(正しく着信することを確認する)。 ・携帯電話からWebメールのアドレスへメールを送信する。メールが転送されることを確認する。	45
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえ、インターネットを利用するためのセキュリティについて触れる。	復習として、次の点についてまとめること。 ・URLの構造 ・インターネットを利用する際に注意すべきポイント	45
3	Email	Email のアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。 メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、TO, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。 また Email を利用するためのセキュリティについて学ぶ。 ローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmail を用いて Web 上のメールの用法も理解する。	復習として、Emailアドレスの構造とTO, CC, BCC の違いをまとめること。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	課題1	インターネット（ブラウザ・メールなど）の用法について、正しく利用できるか確認をする。 また次回以降の教材の準備を行う。 教材のダウンロード http://www.noa-prolab.co.jp/download/	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	30
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト1を実施すること。	20
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めとした図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト2を実施すること。	20
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となる Excel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Word STEP2 確認テスト3, 確認テスト4を実施すること。	40
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
9	表の作成	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、オートフィルや書式の設定などについて学ぶ。	復習として、授業内でオートフィルの機能を用いて作成した連続データを、再度作成してみること。	30
10	計算とアドレス	数式を用いた計算方法を学ぶ。特に表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。	予習として教科書のp.130からp.141までを読んでおくこと。	30
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。	予習として教科書のp.142からp.152までを読んでおくこと。	30
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP2 確認テスト5, 確認テスト6を実施すること。	30
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP3 確認テスト1, 確認テスト2を実施すること。	30
14	課題3	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ	予習として、パワーポイントに関する章を読んでおくこと。	30

授業名	情報倫理	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 2年 2単位 選択
担当教員名	◎佐々木 達矢		
開講期			
授業の概要	倫理は安定した社会を築くための基盤であり、その現代社会は情報化が進展している。本講義では情報を扱う場合にどのような倫理観が必要となるのか、またどのようにすれば安全の確保ができるのかについて学び、実社会に出た時にネット上で人に迷惑をかけない、また犯罪に巻き込まれないような知識を身につける。 フィードバック方法：授業で提出されたレポートやe-learningの実施状況についてフィードバックを行う。		
授業の到達目標	1.ネット社会の基本的仕組みを知り、色々なリスクの回避やリスクへの対応を出来る様にする。 2.ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連及び単位認定の最低基準 ①超スマート社会における多様な課題を自らの力で発見し、それらを分析し解決する能力を身につけている。 ②ICTの専門的知識を活用し、論理的に課題を捉え問題を解決していく力を身につけている。 単位認定の最低基準：7割を理解している必要がある。		
履修条件	地域創成 2 年	成績の 評価方法・基準	レポート 1 回：30%、mocaを使ったオンライン試験：70%
テキスト	教科書は指定しない。 e-learningシステムmocaで資料配布。		
参考書	「これだけは知っておこう！情報リテラシー」NOA出版；IPA 情報処理推進機構/情報セキュリティ https://www.ipa.go.jp/security/index.html		
学生への要望	日頃からハイテク犯罪や倫理の問題を意識して、ニュース等を見聞し、関心を持つこと。		
位置付け・水準	CD2132		
ディプロマポリシーとの関係	「知識理解」「課題解決力」		
オフィスタイム	月 3 限、火 3 限、木曜 1・2 限（芸術館 2 階 地域創成学科研究室No3）		
アクティブラーニング実施内容	特になし。		
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerでのリスク管理統括や経営企画担当者の実務経歴を活かして、実践的な授業を行います。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	本講義の目的や進め方、評価方法について述べる。また、「情報倫理」とは何かについて概要を理解する。 e-Learningの活用について説明する。	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
2	ネットワーク社会	ネットワーク社会に参加するにあたって、最も基本的な心構えや注意事項を学ぶ。これにより、被害にあわない、他に迷惑をかけないためのポイントを理解する。<キーワード> 情報、倫理、サイバー犯罪	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
3	ネットワークとインターネット	ネットワークやインターネットの基本的な仕組みとインターネットで提供されているさまざまなサービスについて学ぶ。 <キーワード> ネットワーク、インターネット、ネットワーク社会、ネット上のエチケット、インターネットの代表的サービス	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
4	ユーザ認証とアカウント	アカウントの大切さや、より安全なパスワードの設定方法などを学ぶ。これにより、実際にパスワード設定する場面でクリックされにくい文字列で設定できるようにする。<キーワード>アカウント、パスワード、ユーザID、クッキー	e-Learningの該当箇所を実施する。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	情報受発信と情報検索 ①	メールを使った悪質ないたずらや犯罪も増加傾向にある。自らがメールのマナーを身につけるとともに、自己防衛のための知識を学ぶ。 ＜キーワード＞メールの事件、チェインメール、メーリングリスト、電子掲示板、チャット	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
6	情報受発信と情報検索 ②	悪質なサイトや有害な情報が混在しており、それに対応したWebページを見る側の知識や心構えを学ぶ。 また、携帯電話での心構えや知識も学ぶ。 ＜キーワード＞検索エンジン、WEBページの作成、ブログ、WIKI	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
7	ネットワークセキュリティ	ネットワーク利用者の一人ひとりが身に着ける必要があるネットワークセキュリティについての正確な知識を学ぶ。 ＜キーワード＞ネットワークセキュリティ、コンピュータウイルス、不正アクセス、DOS攻撃、踏み台、ボットネット	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
8	情報の流出とサイバー犯罪 レポート 1	個人情報も含めた機密情報の流出は、流出時点で被害は甚大である。サイバー犯罪の防止のビデオを上映し、具体的にサーバー犯罪の危険性、防止策について学ぶ。 ＜キーワード＞コンピュータウイルスと情報流出、スパイウェア、ファイル交換、記憶装置の紛失 レポート課題：最近のサイバー犯罪について	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
9	ネットワーク社会と生活	インターネットの普及で、様々な機関がインターネットを通じてサービスを開始した。そのため社会生活も大きく変化している。社会の変化とネットサービスについて学ぶ。 ＜キーワード＞ISP;電子商取引、BtoB,B to C,GtoC、トレーディング、バンキング、オークション	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
10	「超スマート社会」とは	ネットワーク技術と情報技術を駆使した「超スマート社会」（Society 5.0）の実現が提唱されている。どのような社会を目指しているのかと実現する必要となるキーテクノロジーは何かについて学ぶ。 ＜キーワード＞サイバーセキュリティ技術、IOTシステム構築技術、ビッグデータ解析技術、AI技術	授業内で紹介した動画を見る。 (mebaeのリンク先)	50
11	「超スマート社会」の技術	「超スマート社会」を実現するために開発されている最新の技術について学習する。 ＜キーワード＞5G、AI、ロボット、AR、VR	授業内で紹介した動画を見る。 (mebaeのリンク先)	50

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	ネットワーク社会の問題とトラブル	ネットワークを利用することは非常に便利な面があるが、一方では、不備、脆弱面も多々ある。犯罪や被害事例を学び、自分を守る術を身につける。ネットワークの犯罪は、本人が全く認識しないまま巻き込まれることがあるが、知識の有無でかなりリスクが異なる事を理解する。 <キーワード>情報の信頼性、ネットワーク犯罪の傾向、オークション詐欺、不正請求、サーバーテロ	e-Learningの該当箇所を実施	30
13	ネットワーク社会を取り巻く法律 ① (全般、個人情報保護法)	個人生活の観点からネットワーク社会を取り巻く法律を全般的に学ぶ。生活の中で密接に関連して来る個人情報保護法について詳しく学ぶ(個人情報保護法、児童買春防止法、訪問販売法)。授業の中では、政府が作成したビデオを活用する。	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
14	ネットワーク社会を取り巻く法律 ② (著作権法、その他)	ビジネス社会や日常生活において密接に関係する著作権法について、最近の法律改正事項も含め学習する。 また、法律の改正とネットワーク社会の発展の関係について学び、仕事の中で生かせる知識を得る(不正アクセス禁止法、電子署名法、プロバイダ法)。	e-Learningの該当箇所を実施する。	30
15	全体のまとめとフィードバック	提出されたレポート及びe-learningの実施状況についてフィードバックを行う。	これまでの授業とe-Learningの内容を振り返り、疑問点等あれば整理しておく	30

授業名	数理・データサイエンス基礎(地域創成)	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択
担当教員名	◎佐々木 達矢		
開講期			
授業の概要	この講義では、数理・データサイエンス・Artificial Intelligence (AI) の社会に与える影響・データを扱う上での注意事項・データを扱うための表現・データから情報を抽出する方法を学ぶことを目的とする。従来より様々なデータを処理し、情報を抽出することは重要な作業とされていた。今日では、コンピュータの発達やインターネット等の情報網の発達により大量のデータが得られるようになったことやAIに代表される情報処理技術の進展により、いかにデータから情報を抽出するかということがこれまで以上に重要となった。これらの情報抽出は統計学を含む数的な扱いに基礎をおいており、昨今の数理データサイエンスを学ぶうえで数理的な扱いを含むデータ処理を理解しておくことが必須である。以上を踏まえ、本講義では、数理・データサイエンス・AIに基づく社会の変化、大量のデータを扱う場合の留意点、データを扱うための基礎的な数理表現、データから情報を抽出する基本的な方法を学ぶ。 フィードバックとして、リフレクションペーパー（理解度確認ペーパー）の返却や中間課題の説明等を行う。		
授業の到達目標	社会におけるデータ活用の基本的な知識を習得し、データを扱い情報を抽出する基本的な方法を理解する。具体的な目標は、 1. 社会におけるデータやAI利活用およびその留意事項等について説明できること 2. データを扱うために必要な数な扱い（冪・関数・行列・集合）ができるようになること 3. データの記述とデータからの情報抽出（検定・回帰）ができるようになること である。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること		
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	リフレクションペーパー・中間演習の結果・レポート課題による。成績評価への割合は、リフレクションペーパーの提出を20%、中間演習とレポート課題の割合をそれぞれ40%とする。
テキスト	テキストを PDF として Web 上で配信する。		
参考書	前野 昌弘, 三國 彰, "統計解析", 日本実業出版社 (2000); 涌井 良幸, 涌井 貞美, "多変量解析", 日本実業出版社 (2001)		
学生への要望	事前に資料に目を通しておき、理解できない部分を確認しておくこと。		
位置付け・水準	CD1108		
ディプロマポリシーとの関係	「知識理解」「課題解決力」		
オフィスタイム	月 3 限、火 3 限、木曜 1・2 限（芸術館 2 階 地域創成学科研究室No3）		
アクティブラーニング実施内容	特になし。		
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の構成と数理・データサイエンス・AIによる社会の変化と動向	本講義で行う目的・内容・単位数・成績評価方法など説明を行う。近年は大量のデータを取得し取り扱えるようになったことにより、データサイエンス・AIと呼ばれる分野が盛んになった。本時では、数理・データサイエンス・AIによって社会にどのような変化が生じているか、また今後はどのような方向に向かうと考えられるか概説する。	復習として、これまでの社会変化がどのようなものであったか整理してみること。	30
2	利活用されているデータ・利用領域・利用技術・利活用の現場	社会では様々な種類のデータが活用されている。本時ではデータやAIの活用領域、利用するための技術、利活用例などについて学ぶことにする。また、生成AIの実際についても触れる。	政府統計ポータルにアクセスし、少なくとも三つのデータもしくはグラフを確認すること。	30
3	データサイエンスと情報の保護	データサイエンスやAIの知識や技術を利用すると、様々な大量のデータを結合し、特徴を抽出することが可能となる。このことは利便性を生む反面、個人の行動・趣味などの秘匿すべき情報も分析できることを意味する。本時では、データを扱う上での留意事項を学ぶこととする。	Ethical, Legal and Social Implications (ELSI) について調べてみること。 Society4.0とSociety5.0の違いを比較し整理してみること。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	巾の演算	積の概念を発展させたものに冪がある。概念的には積と商で理解できるが、冪の演算に習熟すると様々な場面で計算が簡略化される。本時では冪とその演算規則について学ぶ。	復習として冪に関する演算規則を確認すること。また冪を用いた数値の表現について確認すること。	30
5	一次関数	一次関数は連続量を扱う数学では基本的な関数である。微分とも関連し応用範囲は広い。本時では一次関数とグラフの関係や回帰式などについて触れる。	復習として、一次関数の各係数の意味、グラフとの関係を再確認しておくこと。	45
6	ベクトルと行列	複数の数値はひとまとめにしてベクトルとすると扱いやすくなる。本時では、データを扱う際に必要となるベクトルとベクトルに作用する行列について学ぶ。	2行2列の行列を作成し、行列の積が非可換であることを確認すること。また逆行列が存在しない行列を具体的に構成してみること。	45
7	集合	数学の基礎の一つに集合がある。本時では部分集合や集合の積・和・差などの概念を導入する。また集合演算の基礎であるド・モルガンの法則やその応用方法を学ぶ。	復習として、集合の基本概念（空集合など）および集合間の演算について確認すること。	60
8	課題	これまで学修した内容に対する課題を提示する。本課題を通じ、これまでの学修内容を確認なものにする。また本時では本課題の説明も行う。	復習として、提示した課題を再度行ってみること。このことにより、理解が不足している部分を確認すること。	120
9	データとその記述	データには様々な種類がある。ここでは統計を適用する上で認識しておくべきデータの種類、基本的な統計量を学ぶ。実際に受講生自身で基本統計量を算出することとする。	復習として、データの種類毎に実例を探し、みる。また平均や分散などの特徴を再確認すること。	90
10	相関	二つの事柄に関係があるとき相関があるという。この相関を統計学的に見出す手法について学ぶ。また実際に受講生がデータから相関を算出することとする。	復習として、相関係数の定義を確認すること。また相関関数の値をみることで、あらゆる相関が判断できるわけではないことを確認すること。	45
11	検定の基礎	ある仮説が正しいか否かを統計的に調べる方法を検定という。本時では検定の基本的な考え方を学ぶ。検定を行うための前提条件である正規性や検定を行う過程で用いられる帰無仮説・優位水準・p値などの概念を学ぶ。また検定における過誤についても学ぶ。	検定で用いられる、正規性・帰無仮説・優位水準・p値などの用語を整理すること。	60
12	パラメトリック検定	検定する対象により様々な検定方法があるが、本時ではパラメトリックな平均値の検定を学び、受講生自身により平均値の検定を試みる。またパラメトリックな検定が利用できない場合に用いるノンパラメトリック検定について、その概略を学ぶ。	復習として、複数のデータで平均値の検定を行ってみること。	90
13	適合度の検定と独立性の検定	検定には、測定値が理論値と合致するか否かを判断するための適合度の検定や、二つの要素に関連性があるか否かを判断するための独立性の検定がある。本時ではこれらの検定の考え方を学ぶ。また簡単な例を通して、これらの検定を受講生自らが検定結果を確認することとする。	復習として、講義内で示した例において、数値を変えて適合度の検定や独立性の検定を行ってみること。	60
14	回帰分析による実データの分析	ある変数(目的変数)と他の変数(説明変数)からなる回帰式と呼ばれる式により分析することを回帰分析という。本時では回帰の基本的な考え方および線形回帰と非線形回帰の違いを学ぶ。その後、国・地方公共団体・産業界等によって収集された実データを分析する。分析するための処理を行い、その後、線形回帰によりデータを分析をする。一連の過程を受講生自身が行うことにより、回帰分析および実際の分析過程を学ぶこととする。	復習として、回帰の基本的な考え方を確認すること。また実際に回帰直線を求め、回帰直線の決定の仕方により、目的変数と説明変数の間に非対称が生じうることを確認すること。	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	まとめ	本科目の総まとめをする。どのような統計手法がどのような目的で使われたのか整理する。また総まとめとなるレポート課題を提示する。	授業内容に則し、課題を実施しレポートとしてまとめること。	300

授業名	生涯学習概論	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎瀬谷 真理子			
開講期	I 期			
授業の概要	「生涯学習」の現代的意義と「社会教育」の概念と意義について、基本的な内容の理解をしていきます。その理解を踏まえて、多角的な視点から「生涯学習」を分析し、社会教育施設としての図書館、博物館（美術館含む）、公民館等の役割について考察するとともに学習支援者としての役割について考察していきます。授業全体を通して、主体的で対話的な深い学びの実践を目指します。毎回、授業の内容から課題をとらえ実施する課題レポートは、評価を加えて次回授業冒頭に返却し、フィードバックします。また、「学び」について様々な角度から考えていくため、現代的課題をとらえながら我が国の現状と課題について考え、未来に向けた学びの視点を育んでいきます。さらに最終回の授業において、授業全体をフィードバックします。 なお、福島県教育行政において実務経験である社会教育課勤務を活かした社会教育主事の視点での実践的な指導を行うとともに学校教育現場の実務経験をふまえながら学校教育との関連性を持たせ、社会教育施設の役割や生涯学習の意義を捉える観点を重視します。			
授業の到達目標	1.現代的課題を踏まえ「生涯学習」の意義と必然性を理解する。 2.「社会教育」と「生涯学習」の関連性を理解する。 3.「生涯学習」の観点から社会教育施設の意義を理解する。 4.「知の拠点」としての社会教育施設の役割を理解する。 5.家庭教育について現状と課題を把握し、地域における家庭教育支援のあり方を考える。 6.主体的で対話的な学びを通じて、生涯学習を推進するための学習支援者としての実践力を育む。 単位認定の最低基準は、上記1～6の総合的評価が達成度 7 割以上であること。			
履修条件	科目を選択履修した者、司書、学芸員補資格取得希望者	成績の 評価方法・基準	自宅学習の課題として出される課題レポート（40％）、最終回のまとめの授業で実施される理解度確認テスト（60％）の内容で総合評価し、60%以上が合格となる。	
テキスト	二訂「生涯学習概論」執筆・編集代表 馬場祐次朗 授業ごとに配布されるプリント、内容をまとめたノートと一緒にファイリングすること。			
参考書	・山本順一、前平泰志、渡邊洋子監修『生涯学習概論－知識基盤社会で学ぶ・学びを支える』ミネルヴァ書房、2014年 ・浅井経子編著『生涯学習概論－生涯学習社会への道－増補改訂版』理想社			
学生への要望	「生涯学習」とは、何か。「学ぶ」とは何か。未来に向けて何が課題となっているのか。社会教育の果たす役割と社会教育施設（図書館、博物館、美術館、公民館等）の意義を踏まえ、確かな知識を獲得しながら、自己の思考を展開していく主体的な姿勢を持って授業に臨んでください。			
位置付け・水準	CD1104			
ディプロマポリシーとの関係	知識・理解、創造的思考力、主体的行動力			
オフィスタイム	家政学館 4 F被服学実習室 月曜日 1 限			
アクティブラーニング実施内容	課題について、自分自身の考えをレポートにまとめた内容を発表する。			
実務家教員の経歴	福島県立高等学校校長、教育庁社会教育課課長、社会教育主事資格取得。専門教科「家庭」、一級衣料管理士資格取得。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	前半は、授業を受けるにあたっての一般的な注意事項や授業計画・評価方法等について説明する。生涯学習について導入を行う。 「学び」について、次の授業までにレポートにまとめる。	ノート整理 課題レポート	90
2	「生涯学習」の現代的意義	前時の教育モデルに関する受講生の認識を基盤にしなが ら、「生涯学習」とは何か、「学ぶ」とは？について理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
3	「生涯学習振興施策」の動向	「生涯学習論」について、リカレント教育について、学びについて理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
4	「社会教育」の概念と意義	「社会教育」の概念と意義について理解を深め「社会教育」の特質について注目し、日本における歴史的展開とその意義を理解する。	ノート整理 課題レポート	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	「社会教育」の特質	「社会教育」の特質について理解し、デンマークにおけるワーク・ライフ・バランスについて着目し子育て支援策についても理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
6	「社会教育」の対象	「社会教育」の対象として学習者の特性を理解し、「社会教育」の内容、方法、形態について学ぶ。	ノート整理 課題レポート	90
7	日本における社会教育の歴史的展開	日本における社会教育の歴史的展開とその意義について理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
8	社会教育の基本法令・施策	社会教育の基本法令から学校教育との連携やその補完機能としての期待を担った社会教育の役割を理解する。	ノート整理 課題レポート	90
9	社会教育に関する団体と指導者	社会教育に関する団体について理解を深め、行政との関係と団体への学びの支援、社会教育に関する指導者について学ぶ。	ノート整理 課題レポート	90
10	社会教育施設の意義と役割	社会教育施設の法的根拠や「知の拠点」として果たす役割について、各社会教育施設の特徴を把握しながら理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
11	社会教育施設における事業と生涯学習	地域における「知の拠点」としての役割を果たすとともに、人々の「生涯学習」を支援するための事業について、図書館、公民館における事業について理解する。	ノート整理 課題レポート	90
12	生涯学習社会と家庭教育	現代社会における子育ての現状と課題を把握しながら、地域における家庭教育支援に向けた生涯学習施策について考える。スウェーデンにおけるワーク・ライフ・バランスについて着目し子育て支援策についても理解を深め、我が国との比較により、今後の支援策の在り方を考える。	ノート整理 課題レポート	90
13	生涯学習社会と学校教育	学校教育との連携において社会教育の果たす役割を認識しながら、「学校」「家庭」「地域」の一体となった教育を推進していくために必要な施策について考える。	ノート整理 課題レポート	90
14	現代的課題と生涯学習の役割	知識を創る学習を奨励する意味での「知識基盤社会」の持つ可能性と課題とを明らかにする。	ノート整理 課題レポート	90
15	授業のまとめ	「生涯学習概論」についての総括として、授業のまとめを行う。	確認テスト レポート	90

授業名	博物館経営論	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 2年 2単位 選択	
担当教員名	◎藤原 紀敏			
開講期	後期			
授業の概要	【授業全体の内容の概要】 ①博物館の管理・運営の根拠となる法令、財政、組織の概要と博物館経営の実際について事例をあげながら解説する。 ②最終授業で全体のフィードバックを行います。			
授業の到達目標	【授業の目的・ねらい】 ①学芸員として身につけておかなければならない、博物館のさまざまな形態と活動における管理・運営について理解を深め、博物館経営に関する基本的な能力を養うことを目標とする。 【授業修了時の達成課題（到達目標）】 ①博物館を利用者側としてだけでなく、管理・運営する側として、何が必要なのかについて理解を深める。 ②単位設定の最低基準は内容の7割を理解していることとする。			
履修条件	地域創成学科 2 年	成績の 評価方法・基準	レポート40点、期末試験60点	
テキスト	プリント配布			
参考書	講義の中でその都度紹介します。			
学生への要望	出席を重視します。実施されている展示や事業の意図を考えるためにできるだけ多くの博物館を訪れてください。			
位置付け・水準	CD2225			
ディプロマポリシーとの関係	知識・理解			
オフィスタイム	授業前後			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	福島県立博物館学芸員として博物館の運営に当たる経験を有する。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	博物館経営（ミュージアムマネジメント）の概要を説明する。	講義資料について復習する。	60
2	博物館法および関連法規	博物館法、博物館施行規則、望ましい基準に示されている博物館経営内容について説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
3	博物館の行政制度	行政内における公立博物館の位置づけについて具体的事例をあげて説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
4	博物館の財政制度	公立博物館における予算の作成について具体的事例を挙げながら説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
5	博物館の施設・設備	博物館の施設、設備の特徴について具体的な事例について説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
6	博物館の組織と職員	博物館の組織を具体的例をあげて提示し、それぞれの職務内容を説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
7	博物館の経営（1）	福島県立博物館を例にとり、その設立に至る経過、設立意義、条例などに基づきその使命を説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
8	博物館の経営（2）	福島県立博物館の一年を通した博物館運営の実例を紹介し、博物館経営の実際を説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
9	博物館の経営（3）	福島県立博物館の運営に関する評価方法、評価結果を提示し、博物館における評価制度の実際を説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
10	博物館の経営（4）	博物館における、体験学習など教育普及活動の方法と実践例について説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
11	博物館の経営（5）	友の会、ボランティア、支援組織の設立と運営方法について具体的事例をあげて説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
12	博物館の経営（6）	博物館と地域の連携について具体的事例をあげながら説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
13	博物館の経営（7）	博物館の危機管理、学芸員の倫理について具体的事例をあげて、説明する。	講義資料について予習・復習する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	博物館経営の諸問題	指定管理者制度の導入、予算の削減など現在の博物館の経営に関する問題点を説明する。	講義資料について予習・復習する。	60
15	まとめ	授業全体をふりかえるとともに、博物館経営に学芸員がどのように関わるかを実際の経験を踏まえて説明する。	講義資料について復習する。	60

授業名	博物館資料保存論	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 2年 2単位 選択	
担当教員名	◎松田 隆嗣			
開講期	IV			
授業の概要	〔授業の目的・ねらい〕 学芸員資格を取得する際に必要な博物館や美術館等において資料を展示・保管するために注意すべき点あるいは資料の取り扱い方とともに文化財の保管や公開における国が定めた基準等について学習します。また、博物館等の文化施設及び地域の文化財の保存活用等において果たすべき役割についても学習します。特に、国の施策として博物館や美術館、歴史的建造物などの施設の活用も重要な課題となっています。半面、施設の活用は、文化財の保存と公開と同様に資料保存の観点からは相反した問題が内在していると考えられ、博物館や美術館等の文化施設における資料保存の果たす役割は、これまでに以上に大きな役割が要求されおり、この点についても言及します。			
	〔授業全体の内容の概要〕 資料に劣化や害を及ぼす要因について学習するとともに資料を展示・保管している環境の調査方法や環境を適切に保つ方法について学習します。また、文化財の保管や公開に当り注意しなければならない数多くの基準等についても学習します。			
	〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 博物館や美術館ばかりでなく地域の文化財の保存や取り扱いについての一般的な知識について理解すること。 課題については最終授業において解説します。			
	〔実務経験に関する内容〕 福島県立博物館において資料の展示、収蔵環境の管理、資料の修復及び、考古資料の保存処理あるいはその他博物館収蔵資料の修復の経験をもとに博物館資料保存、管理について講義します。			
授業の到達目標	〔授業の目的・ねらい〕 学芸員資格を取得する際に必要な博物館における資料の展示、保管の基本、資料の取り扱い方法および文化財の保管や公開において注意すべき基準等について理解するとともに地域の文化財の保存活用において博物館等の施設が果たす役割についても理解することを目的とします。			
	〔授業全体の内容の概要〕 資料に劣化や害を及ぼす要因について学習するとともに資料を展示・保管している環境を調査し把握する方法や環境を適切に保つ方法並びに文化財の保管や公開に当り注意しなければならない基準等について講義します。また、博物館等の文化施設及び地域の文化財の活用等において果たすべき役割についても講義します。			
	〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 単位認定の最低基準は講義した内容の6割以上を理解していること。 博物館活動の根幹をなすものは収蔵資料です。その資料を収集し後世に伝えることも博物館活動の根幹をなすものです。しかし、資料を収蔵しただけで後世に残るものではなく、保管、展示環境を把握しその環境を適正に管理し続けることが不可欠です。ただ、国内で資料保存を専門とする学芸員が勤務している博物館や美術館は少なく、大半の施設では他の分野の学芸員が資料保存についても担当しています。このため、資料保存を担当されても対処できるように資料の展示、保管についでての基本となる点について理解できることを達成目標としています。			
履修条件	地域創成学科 2 年	成績の 評価方法・基準	①課題 60点（15点×4回） ②期末試験40点 合計100点 課題と期末試験の成績を合計点から成績を評価します。	
テキスト				
参考書	博物館学 IV 博物館資料保存論 * 博物館実習論（学社文）、文化財の保存環境（中央公論美術出版）、博物館資料保存論（講談社）、文化財保存環境学(朝倉書店)、美術工芸品の保存と保管(フジ・テクノシステム)など			
学生への要望	資料保存には様々な要因が複雑に絡み合っています。博物館資料保存論の講義の順序もこの点を考えて配置しています。つまり後ろにある講義はすでに行った講義の内容を理解していないと理解することが難しい内容が多くあります。このため、理解しにくい内容や事柄については、必ず復習を行うと共に内容によってはすでに学習した内容についても確認し理解を深めるようにして下さい。解らないことがあれば、授業終了後、気軽に質問していただければよいと思います。			
位置付け・水準	CD2226			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム	授業終了後			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	福島県立博物館において資料の展示、収蔵環境の管理、資料の修復及び、考古資料の保存処理あるいはその他博物館収蔵資料の修復の経験をもとに博物館資料保存、管理について講義します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	文化財に害を及ぼす様々な要因は数多くあり、授業時間内で全てを説明することは困難です。このため、これらの要因を列挙し、簡単に説明するとともに博物館の資料保存に関する文献の調査方法について講義します。	教材としてプリントを配布します。予習については、記載した参考書などを用いて行うのが望ましいが、授業の項目をすべて網羅している参考書はないため、可能な範囲で行ってください。	30分
2	資料に影響を及ぼす物理的要因（1 温度）について	温度の変化が資料にどのような影響を与えるかを説明します。 特に、温度は他の物理的要因や化学的要因、生物的要因にも大きな影響を与えます。このため、これらの点の関連について講義します。	予習には参考書の欄に記載の書籍で各自の学習しやすい参考書を参考にしてください。復習には教材として配布するプリントを用いると共に予習に用いた参考書も参考にされると良いと思います。	30分
3	資料に影響を及ぼす物理的要因（2 湿度）について	湿度の管理は、資料を展示・保管する上で最も注意すべき要因のひとつです。 このため、どのような要因が湿度の変化に影響及ぼし、どのような害が表れ、資料にどのような影響を及ぼすかについて講義します。	予習には参考書の欄に記載の書籍で各自の学習しやすい参考書を参考にしてください。復習には教材として配布するプリントを用いると共に予習に用いた参考書も参考にされると良いと思います。	30分
4	温度・湿度の計測について	温度・湿度の計測には温度計及び湿度計を用いますが、これらは、その種類により精度や測定方法が異なります。このため、温度計及び湿度計の基本的な測定法を説明する共に測定における注意点、測定した温湿度データの読み取り方について講義します。	温湿度計の使用法について詳しく記載された博物館資料保存論の参考書は、確認していません。 復習には教材として配布するプリントを用い予習に用いた参考書も参考としてください。	60分
5	資料に影響を及ぼす物理的要因（3 光（電磁波））とその計測について	博物館で資料を展示し、来館者に観ていただくには、光は不可欠なものです。また、資料の展示を様々な演出する上でも重要なものです。しかし、反面、光自体が資料に害を与えます。このため、この光による害とその測定法並びにその対処の仕方について講義します。	予習には参考書の欄に記載の書籍で各自の学習しやすい参考書を参考にしてください。復習には教材として配布するプリントを用いると共に予習に用いた参考書も参考にされると良いと思います。	30分
6	資料に影響を及ぼす化学的要因について	資料に影響を及ぼす化学物質には、数多くの様々な物質がありますが、中でも有機酸、ホルムアルデヒド、アンモニアは特に注意すべき物質です。これらの化学物質が資料に及ぼす影響並びに発生原因、及び計測方法並びにその対処方法等について講義します。	予習には参考書の欄に記載の書籍で各自の学習しやすい参考書を参考にしてください。復習には教材として配布するプリントを用いると共に予習に用いた参考書も参考にされると良いと思います。	45分
7	資料に影響を及ぼす生物的要因について	資料に影響を及ぼす生物学的要因としては文化財害虫による害及びカビ等による害があります。この文化財に害を与える文化財害虫とカビについて解説すると共に引き起こされる害及びその発生要因について講義します。	予習には参考書の欄に記載の書籍で各自の学習しやすい参考書を参考にしてください。復習には教材として配布するプリントを用いると共に予習に用いた参考書も参考にされると良いと思います。	30分
8	燻蒸ガスによる資料の燻蒸とその問題点について	資料燻蒸の長所・短所及びその問題点・注意点について講義すると共に、現在使用されている燻蒸ガス種類と毒性及び資料に及ぼす影響などについても講義します。	予習には参考書の欄に記載の書籍で各自の学習しやすい参考書を参考にしてください。復習には教材として配布するプリントを用いると共に予習に用いた参考書も参考にされると良いと思います。	30分
9	I P Mによる資料保存環境の管理と燻蒸剤によらない殺虫法について	I P M(総合的害虫管理)の概念についてはよく知られていますが、I P Mの具体的な対策については殆ど理解されていません。このため、I P Mの具体的な対策について講義を進めます。 また、I P Mにより資料の保存環境を管理するに当たり燻蒸剤に依存しない防・殺虫法は重要な役割を果たしています。このため、これらについても講義します。	I P Mについてはネット上に数多くの解説や事例が示されています。参考になる物が数多くあります。復習には教材として配布するプリントを用いるとともに有用なホームページを提示しますのでこれらも参考)としてください。	60分

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	展示室における資料展示環境とその維持方法について	展示室は外界などから、常に様々な影響を受けています。具体的にどのような影響を受けているのかについて講義しをすると共に展示環境を適正に保つための具体的な対策について講義します。	特に参考となる参考書は有りません。復習には教材として配布するプリントを用い復習を行ってください。	30分
11	収蔵庫における資料収蔵環境とその維持方法について	資料の保存環境の維持は空調設備により簡単に行えると思われませんが、現実には空調のみで環境を維持することは困難なことです。よりよい保管環境を維持するためにどのようなことを行っているのかについて講義します。	特に参考となる参考書は有りません。復習には教材として配布するプリントを用い復習を行ってください。	30分
12	伝統的な資料保存の方法について	昔から行われている日本古来の資料の保存方法には、現在でも資料を保存する上で重要な方法が数多くあります。また、博物館等に収蔵されている資料についても刀剣のように資料によっては伝統的な取り扱い方により定期的に手入れをする必要のある資料もあり、このような点について講義します。	一般的に博物館資料保存論の教科書で参考となる教科書は有りません。復習には教材として配布するプリントを用いるとともに有用なホームページを提示しますのでこれらも参考としてください。	30分
13	博物館資料の災害防止について	博物館資料が受ける災害について述べると共にその防止方法について講義します。	文化庁から災害防止についての様々な通達や防災についての手引きなどが予習、復習役立ちます。これらを用いて予習、復習	45分
14	資料の修理、修復、保存処理の基本について	資料の修理や修復の基本的な考え方及び遺跡から出土した金属製遺物や木製遺物の保存処理方法についてもその方法（科学処理）の概略について話します。	一般的に博物館資料保存論の教科書で参考となる教科書は有りません。復習には教材として配布するプリントを用いるとともに有用なホームページを提示しますのでこ	30分
15	地域資源と地域の文化財の保存と活用について	各地域に数多くの様々な文化財や資料が所在しますが、これら文化財や資料の保存への取り組みや活用について話します。 特に、国内の経済状況を回復させるため国が力を入れているところです。博物館施設等の文化施設の活用や文化財などの積極的に活用についての国の考え方について講義します。	文化庁が実施する「文化遺産を活かした地域活性化事業」における「文化遺産を活用した地域活性化に係る取組への支援」において文化遺産を活かした地域活性化事業や文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業、事例集 が公開されておりますので参考にされると良いと思います。	45分

授業名	考古学演習	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択必修
担当教員名	◎會田 容弘		
開講期			
授業の概要	考古資料を用いた実際的な研究を行ってきた経験を授業に生かし、指導する。発掘調査に参加し、出土した資料整理を通し、実際の考古資料を扱いその観察方法、記述方法を学び、実践する。さらに、実物資料認識の方法、その資料の関連研究を中心にまとめ、発表をおこない、学生同士の討論を行い、学習を深めて行くのが目標である。 本学では2001年以来会津若松市湊町大字赤井字笹山原に位置する笹山原遺跡No. 16の発掘調査を継続して行っている。笹山原遺跡No. 16は平安時代、縄文時代前期、後期旧石器時代の複合遺跡でそこから出土した資料を用いて、実践的な演習を行う。 発掘資料の整理、データ整理、記録法、写真撮影などの実践を踏まえて、資料に対する認識力を深め、論文読解を経て、学術的議論ができるような訓練を行う。課題に対するレポートはデータで提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 位置付け・水準CS2209		
授業の到達目標	<到達目標>考古資料の理解を経て、考古資料の考古学的基礎に基づいた記述が可能なレベルにまで到達できること。 考古学の学術論文を読み、批判的に検討できるレベルに到達すること。単位認定の最低基準は授業内容の7割以上を理解していること。		
履修条件	考古学の十分な理解があること	成績の 評価方法・基準	レポート及び発表内容(レポート70%、発表30%)で60点以上の理解度で、合とする。考古学で論文を作成する学生は80点以上の理解度を求める。
テキスト	イニザン他『石器研究入門』 山中一郎「考古学における方法の問題」		
参考書	文化学科（資格課程）報告集第4～21集 地域創成学科報告集第1～5集		
学生への要望	考古学実習発掘に参加すること。発表と議論が中心になるので事前の準備を十分行うこと。事前準備が予習にあたる。発表内容への指摘点、修正指導点は復習としておこなってほしい。		
位置付け・水準	専門職を目指す学生の最終段階である。考えながら、行動してほしい。		
ディプロマポリシーとの関係	ディプロマポリシーとの関係：研究課題と論理的・創造的		
オフィスタイム	水曜日は授業が少ないので、考古学実習室にいます。		
アクティブラーニング実施内容	発掘調査、整理作業は自主性が重んじられる。自分がやらなければ、全体が進まない。最上級学年なので、後輩の指導も求められる。		
実務家教員の経歴	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	考古学演習の説明	演習の進め方についての説明。	過去の発掘調査の理解。	60
2	発掘調査準備（1）	笹山原遺跡No. 16の発掘調査を行うにあたっての基本的な準備を行う。機材の確認、機材の操作方法の確認、発掘調査過程の確認を行う。	過去の発掘調査の理解。	60
3	発掘調査準備（2）	発掘調査に用いる図面、遺物カード、手引きなどの製作を行う。	過去の発掘調査の理解。	60
4	発掘調査実習（1）	笹山原遺跡No.16の発掘調査。Ⅱ a層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録の整理。	60
5	発掘調査実習（2）	笹山原遺跡No.16の発掘調査。Ⅱ a層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録の整理。	60
6	発掘調査実習（3）	笹山原遺跡No.16の発掘調査。Ⅱ a層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録の整理。	60
7	発掘調査実習（4）	笹山原遺跡No.16の発掘調査。Ⅱ b層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
8	発掘調査実習（5）	笹山原遺跡No.16の発掘調査。Ⅱ b層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
9	発掘調査実習（6）	笹山原遺跡No.16の発掘調査。Ⅱ b層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
10	発掘調査実習（7）	笹山原遺跡No.16の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	発掘調査実習（８）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
12	発掘調査実習（９）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
13	発掘調査実習（１０）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅳ層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
14	発掘調査実習（１１）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅳ層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録の整理。	60
15	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察（１）	実際に出土した笹山原遺跡No. 16の石器遺物の全体を観察する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
16	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察（２）	石材分類。笹山原遺跡No. 16から出土する石器遺物は様々な石材が用いられている。石材を理解し、その石材別の分類を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
17	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察（３）	母岩分類。同一の石材であっても、異なる母岩から製作されている。中には同一母岩から剥離された石器が存在することがある。それらを認識し分類する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
18	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察（４）	同一母岩に分類したものの中で、遺跡の中で剥片剥離行為がなされた場合、まれに接合する場合がある。それを捜し求める作業を行う。全部のピースがそろっていない立体ジグソーパズルである。接合する資料が確認された場合、それはその石器が持ち運ばれたか、石器製作中に飛び散ったかなどという具体的に石器時代人の行為を実証することができる。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
19	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察（５）	石器接合作業。石材、同一母岩データのデータベースへの入力。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
20	笹山原遺跡No.16の石器遺物観察（６）	石器接合作業。石材、同一母岩データのデータベースへの入力。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
21	石器の記録（１）	石器の記録方法として実測と写真撮影がある。その基本を説明する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
22	石器の記録（２）	写真撮影と実測を実際に行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
23	土師器の写真撮影	土師器の記録方法として写真撮影を行う。デジタルカメラを用いて、ライティングを調節しながら行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
24	土師器の観察（１）	土師器の破片資料の観察を行う。観察表の作成を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
25	土師器の観察（２）	土師器の観察表を作成し、集計を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
26	土師器の実験考古学	粘土を用いて土師器を実験的に製作する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
27	縄文土器の理解	笹山原遺跡No. 16から出土した縄文土器破片を観察し、との特徴を調べる。胎土、文様、器形、調整などの要素の見かたについて説明し、実際の遺物解説の発表を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
28	縄文土器の記録	縄文土器の記録方法として、拓本をとる。拓本の技術は既に修得しているので、実際に笹山原No. 16遺跡出土の縄文土器を採拓し、前回の観察内容を記述し、発表する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
29	縄文時代の石器理解	縄文時代の石器を検討する。笹山原No. 16遺跡から出土した縄文時代の石器を取り上げ、その石材、製作技術の特徴についてそれぞれ発表する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
30	縄文時代の石器の記録	石器を理解したうえで、写真撮影、実測を行う。撮影方法、実測方法については、博物館実習、日本の考古学で修得していることを前提に行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60

授業名	考古学特論	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択	
担当教員名	◎會田 容弘			
開講期				
授業の概要	史跡整備、埋蔵文化財の範囲確認・試掘・記録保存、学術調査などのさまざまな目的の発掘調査の実務経験を活かし、遺跡の発掘調査準備、調査、整理作業の実際を学ぶ。考古資料の基本的な操作方法を理解することが目標である。会津若松市笹山原遺跡16の発掘調査実習を通して発掘方法を理解する。次に出土資料の資料化の過程を理解する。課題に対するレポートはデータおよび版下図として提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 位置付け・水準CS2104			
授業の到達目標	<到達目標>発掘調査で出土した資料を考古学研究の資料として利用できるまで整理できる能力を身に着けるレベルまで到達すること。単位認定の最低基準は授業内容の7割以上を理解していること。			
履修条件	考古学の基本理解があること	成績の 評価方法・基準	レポートと授業への主体的参加度を評価する。100点を満点とし、60点以上で合格とする。考古学論文を作成する学生は80%以上の理解を求める。	
テキスト	『発掘調査のてびき』			
参考書	文化学科（資格課程）報告集第4～21集 地域創成学科報告集第1～5集			
学生への要望	考古学実習発掘に参加すること。この授業は実習作業が中心になる。資料を配布するので事前にそれを読み、確認しておくことが予習である。授業後、授業内容をノートに作成し復習すること。特に実測図の作成は授業時間で完成できない場合はあき時間に完成させること。			
位置付け・水準	文化財調査の専門職を目指す場合、必要な知識と経験が得られます。			
ディプロマポリシーとの関係	ディプロマポリシーとの関係：研究能力と研究課題			
オフィスタイム	水曜日が授業が少ないので考古学実習室にいます。			
アクティブラーニング実施内容	発掘調査・整理作業などの実習を含む授業である。自主的な参加が必要である。			
実務家教員の経歴	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	笹山原遺跡 1 6 の調査経過	会津若松市笹山原遺跡 1 6 のこれまでの発掘調査の経過を説明する。	過去の発掘調査の理解。	60
2	笹山原遺跡 1 6 の調査方法	笹山原遺跡 1 6 の発掘調査方法について説明を行い、実際に調査を行う準備を行う。	過去の発掘調査の理解。	60
3	笹山原遺跡群の研究成果	これまでの笹山原遺跡群の調査成果をまとめ、その意義と今後の課題について検討する。	過去の発掘調査の理解。	60
4	発掘調査実習（1）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱ a 層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページに	30
5	発掘調査実習（2）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱ a 層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページに	30
6	発掘調査実習（3）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱ a 層上面の精査及び掘り下げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページに	30
7	発掘調査実習（4）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱ b 層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
8	発掘調査実習（5）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱ b 層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
9	発掘調査実習（6）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅱ b 層の掘り下げ。縄文時代前期出土資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
10	発掘調査実習（7）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
11	発掘調査実習（8）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
12	発掘調査実習（9）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。Ⅲ層の掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	発掘調査実習（10）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。IV層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
14	発掘調査実習（11）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。IV層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
15	発掘調査実習（12）	笹山原遺跡N0.16の発掘調査。IV層aの掘り下げ。旧石器資料の出土位置の記録及び取り上げ。	発掘調査の記録を野帳に記録し、その日に行った作業内容と写真をホームページにアップする。	30
16	石器実測の方法	石の割れの原理を説明し、石器の実測方法について説明を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
17	石器実測（1）	実験で製作した剥片の実測を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
18	石器実測（2）	笹山原No.16遺跡から出土した後期旧石器を資料として実測を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
19	石器実測（3）	笹山原No.16遺跡から出土した石核を用いて実測を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
20	石器実測（4）	笹山原No.16遺跡から出土した石器を用いて、実測を行う。	完成した石器実測図をレポートとして提出する。	60
21	接合資料の理解	笹山原No.16遺跡から出土した石器の中に、接合資料が含まれている。この接合資料を用いて、笹山原No.16遺跡で行われた、石器製作技術理解の方法を述べる。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
22	石器属性分析の方法	石器を記述するために属性を抽出し、記述する。その方法を学ぶ。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
23	石器属性計測実習	石器の属性を実際に計測し、抽出する。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
24	石器属性分析の実際	抽出した属性をEXCELに入力し、属性分析を行う。	授業で行った属性分析結果をExcelに入力し、グラフに出力し、提出する。	60
25	石器写真撮影	笹山原No.16遺跡出土の石器の写真撮影実習。	授業で撮影した写真をフォトショップとイラストレーターを用いてレイアウトし、	60
26	報告書製作1	実測図のトレース、分布図の作成、属性表、調査内容の記述などの説明を行う。	授業で行った作業の復習として作業を行う。	60
27	報告書製作2	実測した石器のトレースを行い、版下のレイアウトを行う。	トレースした図をレイアウトし、版下を作成し、提出する。	60
28	報告書製作3	分布図を作成し、石器の出土位置を合成する。母岩別分布図を作成する。それらをトレースし、版下を作成する。	遺構図をレイアウトし、版下を作成し、提出する。	60
29	報告書製作4	遺構実測図の合成し、トレースを行い、遺構図面の版下を作成する。	分布図をレイアウトし、版下を作成し、提出する。	60
30	報告書製作5	報告書の体裁及び章立てなどの説明を行い、文章を実際に書いてみる。	遺物、分布、遺構の記述を行い、レポートとして提出する。	60

授業名	日本の考古学	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 4単位 選択	
担当教員名	◎會田 容弘			
開講期				
授業の概要	東北大学では中沢目貝塚の発掘と報告、奥松島縄文村歴史資料館では里浜貝塚の発掘調査と報告書作成をおこなってきた。その経験と研究成果を用いて、先史時代における考古資料を用いた人間の動作連鎖の復元研究の方法を提示する。具体的な研究例として宮城県東松島市里浜貝塚の調査成果を用いる。里浜貝塚からは石、粘土、鹿角などの様々な素材を用いた物質資料が出土している。資料の観察だけでなく、製作実験を行うことで、資料の技術的理解を深めることができる。課題に対するレポートはデータで提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 位置付け・水準CS2105			
授業の到達目標	<到達目標>貝塚出土資料分析の過程を理解し、実践的な調査を行うに十分な知識をもつレベルに到達すること。単位認定の基準は授業内容を7割以上理解していることが望まれる。			
履修条件	考古学の基本理解があること	成績の 評価方法・基準	レポートと授業への主体的参加度合を加味して評価する。100点を満点とし、60点以上で合格とするが、考古学で論文を作成する学生には80%以上の授業理解を求める。	
テキスト	授業中に紹介する			
参考書	里浜貝塚Ⅰ～Ⅸ 東北歴史博物館 里浜貝塚－平成9～12年度発掘調査概報－『松島湾の縄文カレンダー 里浜貝塚』「展望 考古学動作連鎖研究の社会的効用－遺跡博物館での活用法－」『考古学研究』第64巻第4号pp.31-35(2018.3)「縄文土器の動作連鎖－笹山原遺跡No.16の資料分析を通して－」『福島考古』第59号pp.1-14（柿沼梨沙と共著）（2017.11.20）			
学生への要望	参考書を読み、予習・復習を行い授業に参加すること。ノートをまとめておくこと。授業で用いたパワーポイントは「めばえ」で公開するので、復習に用いること。			
位置付け・水準	文化財調査員を目指す学生には必修の知識である。専門職を目指すのであれば、より深い理解を求める。			
ディプロマポリシーとの関係	ディプロマポリシーとの関係：専門的知識・研究能力			
オフィスタイム	水曜日は授業が少ないので、考古学実習室にいます。			
アクティブラーニング実施内容	講義形式ではあるが、実際の遺跡調査の実例を取り上げる。受講学生とは対話型で授業を進めるので、考えながら参加してほしい。			
実務家教員の経歴	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	里浜貝塚の位置と環境	里浜貝塚の位置と環境、周辺遺跡について。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60
2	里浜貝塚研究史	里浜貝塚の研究の歴史。	関連文献および資料を紹介するのでそれを	60
3	里浜貝塚の発掘（1）	里浜貝塚里・西畑・寺下囲地点の調査結果	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60
4	里浜貝塚の発掘（2）	里浜貝塚台囲地点の発掘調査。	関連文献および資料を紹介するのでそれを	60
5	里浜貝塚の発掘（3）	里浜貝塚畑中・梨木地点の発掘調査。	関連文献および資料を紹介するのでそれを	60
6	里浜環境史	泥炭層の植物遺体、花粉化石の分析による周辺環境の変遷史。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60
7	縄文時代の前期・中期の里浜	縄文時代の前期・中期の里浜の集落、墓城、貝塚のありかた。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60
8	縄文時代後期の里浜	縄文時代後期の里浜の集落、墓城、貝塚のありかた。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60
9	縄文時代晩期、弥生時代の里浜貝塚	縄文時代晩期、弥生時代初等の集落、墓城、貝塚、製塩炉、浜辺の利用のありかた。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場合がある。	60
10	縄文時代中期から晩期の里浜人	漁労活動。猟具と対象魚。採集対象魚。	関連文献および資料を紹介するのでそれを	60
11	縄文時代中期から晩期の里浜人	狩猟対象鳥獣と狩猟具。	関連文献および資料を紹介するのでそれを	60
12	縄文時代中期から晩期の里浜人	採集対象植物と植物加工具	関連文献および資料を紹介するのでそれを	60
13	縄文時代中期から晩期の里浜人	漁労具の素材調達と製作技術	関連文献および資料を紹介するのでそれを	60
14	縄文時代中期から晩期の里浜人	狩猟具の素材調達と製作技術	関連文献および資料を紹介するのでそれを	60
15	縄文時代中期から晩期の里浜人	植物加工具の素材調達と製作技術	関連文献および資料を紹介するのでそれを	60
16	里浜貝塚の発掘（1）	里浜貝塚の平成8年度の発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60
17	里浜貝塚の発掘（2）	里浜貝塚平成9年の発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60
18	里浜貝塚の発掘(3)	里浜貝塚の平成10年発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60
19	里浜貝塚の発掘（4）	里浜貝塚の平成11年発掘調査の成果と課題。	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
20	里浜人の土器作り（１）	里浜貝塚出土の土器を観察し、その作り方、文様施文方法などを動作連鎖に基づいた仮説を作る。	仮説をレポートにして提出する。	60
21	里浜人の土器作り（２）	仮説に基づいた土器製作実験計画を立てる。	仮説を発表し、議論する。	60
22	里浜人の土器作り（３）	実験的に土器を製作する。	土器製作実験を行う。	60
23	里浜人の土器作り（４）	実験的に土器を製作する。	土器製作実験を行う。	60
24	里浜人の土器作り（５）	実験的に土器を製作する。	土器製作実験を行う。	60
25	里浜人の石器作り（１）	石器石材の検討を行う。	縄文人の石器石材について笹山山原遺跡と	60
26	里浜人の石器作り（２）	石の割れの基本的理解。実験的に製作した石器を観察し、割れ面の理解を深める。	実験製作品を観察し、記述する。	60
27	里浜人の石器作り（３）	石器製作における加撃法、加撃具と残された痕跡の比較を行う。	加撃法・加撃具の明らかな実験石器と里浜貝塚出土遺物との比較を行い、レポートに	60
28	里浜人の石器作り（４）	縄文晩期前半の里浜集落の遺跡構成と生業と遺物（２）	関連文献および資料を紹介するのでそれを熟読し、要約しておくこと。発表させる場	60
29	里浜人の石器作り（５）	実際に実験的に石器を製作してみる。	自分で作った石器について、記述してみ	60
30	里浜人のモノづくりのまとめ	モノづくりの理解と動作連鎖の考え方を説明する。	実験研究をまとめ、何が理解できたかをまとめて提出する。	60

授業名	日本古代の歴史と文化		配当年次 単位数	短期大学部 専攻科文化学専攻 2年 4単位 選択
担当教員名	◎會田 容弘			
開講期				
授業の概要	文献史学と考古学的方法により書かれた通史である佐藤信編『古代史講義』『古代史講義<宮都編>』『古代史講義<戦乱編>』『古代史講義<氏族編>』をテキストにして、具体的な事例を補いながら授業を進める。課題に対するレポートはデータで提出し、それを添削し、コメントを加えるなどのフィードバックを行う。内容が不十分な場合は再提出を求め、同様のフィードバックを行う。 位置付け・水準：CS2202			
授業の到達目標	<到達目標>日本原始・古代史の最新の文献史学・考古学的成果の理解し、それについて説明ができるレベルにまで到達できること。単位認定の基準は授業内容を7割以上理解していることが望まれる。ディプロマポリシーとの関係：研究能力と研究課題			
履修条件	考古学・古代史の基礎理解があること	成績の 評価方法・基準	授業への参加度を平常点とし、課題レポートを課す(平常点30%、レポート70%)。 授業の60%以上の理解が必要である。考古学で専攻科論文を作成する学生は80%以上の理解が必要である。	
テキスト	佐藤信編『古代史講義』『古代史講義<宮都編>』『古代史講義<戦乱編>』『古代史講義<氏族編>』ちくま新書			
参考書	講義中に紹介する。			
学生への要望	授業の前に教科書を熟読し、わからない点などを確認し、ノートを作成すること。復習には授業時の内容をノートにまとめておくこと。			
位置付け・水準	古代史・考古学の知識の積み上げが必要です。			
ディプロマポリシーとの関係	発展的理解。			
オフィスタイム	水曜日は授業が少ないので、考古学実習室にいます。			
アクティブラーニング実施内容	テキストを用いた授業で、事前学習が必要である。授業中に発表を求める場合がある。			
実務家教員の経歴	東北大学文学部考古学研究室助手として考古学教育の補助、奥松島縄文村歴史資料館学芸員として博物館経営・文化財保護行政を担ってきた。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	日本考古学・日本歴史学の時代区分	時代区分論は歴史観だけでなく、考古学の世界では新発見によって変化する。また、日本という枠組みの変化もある。日本列島の地域区分とその中の時代区分を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
2	邪馬台国から古墳の時代へ	魏志倭人伝を中心とした史料からみた邪馬台国	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合があ	60
3	邪馬台国時代に相当する遺跡遺物	吉野ヶ里遺跡・纏向遺跡など邪馬台国に相当する時代の遺跡を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合があ	60
4	前期古墳	箸墓古墳、メスリ山古墳、桜井茶臼山古墳、古墳時代前期の集落	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合があ	60
5	倭の大王と地方豪族	中国の文献に登場する倭の国、及び稻荷山古墳鉄剣銘、江田船山古墳鉄剣銘など数少ない文字資料から見える古墳時代を考える。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表	60
6	中期・後期古墳大王墓と地方豪族の墓	畿内の大王墓と推定される古墳及び、それに準じる古墳の調査資料、そこから考古学者が考えた古墳時代像を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60
7	蘇我氏とヤマト王権	古事記、日本書紀の記述から文献史学者が復元したヤマト王権について検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合があ	60
8	飛鳥の古代遺跡と大津宮	奈良県明日香村を中心にした古代飛鳥（藤原京以前）の遺跡について、検討する。宮跡、終末期古墳、寺院跡など断片資料から考古学者がどのように研究を行っているかを見る。大津宮についても、明らかになったことを検討する。橿原考古学研究所の展示品を見ながら、検討したい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
9	飛鳥・藤原の時代と東アジア	ヤマト王権が畿内政権として成立する過程を東アジアの視点から見るという考え方を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60
10	藤原京	始めて作られた条坊制の都城藤原京の発掘成果を見る。飛鳥資料館の展示を見ながら検討したい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	藤原京の寺院遺跡	藤原京内内には薬師寺、大官大寺などの寺院が作られている。同時代の寺院及び関連遺跡を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60
12	平城京の実像	文献研究から明らかにされた平城京の造営課程、都市に伴う付帯施設などがどのような形で作られていったのか、基本文献の「続日本紀」がどのようなものかなどにも触れながら、文献研究で明らかになった平城京を検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
13	平城宮・難波宮・恭仁京・紫香楽宮	考古学的調査により、平城京、難波宮、恭仁京、紫香楽宮がある。明らかになった考古学的事実を検証する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60
14	平城京内の邸宅・施設	平城京域の調査は奈良文化財研究所の計画的な調査だけでなく、行政発掘の成果もある。それらの成果を見てみたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60
15	平城京内の寺院遺跡	平城京内の寺院は現在も機能している唐招提寺や薬師寺、興福寺、元興寺そして東大寺がある。しかしそれらの寺院が奈良時代の建物が残っているものは唐招提寺・薬師寺東塔等だけである。発掘調査によって明らかになった奈良時代の寺院をみってみる。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
16	奈良時代の騒乱	奈良時代の政治史である。このようなテーマは文献に記された記録をもとに知る以外にない。どのような文献の記述から政治的騒乱があったのかを読み解く方法をみてみたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
17	長屋王邸宅と木簡	長屋王の変で失脚した左大臣長屋王の邸宅の発掘成果から、長屋王邸宅の遺構、木簡、遺物から文献に記された事象と考古学的事実と対比して検討する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表	60
18	地方官衙と地方豪族	テキストでは考古資料を用いて地方官衙と地方豪族について述べている。文献研究が難しいことがよくわかる。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60
19	多賀城と陸奥・出羽の城柵遺跡と附属寺院	時代は遡るが、仙台長町郡山遺跡から話は始まる。東北地方の国府は多賀城と秋田城である。古代出羽と陸奥は国境線の国であった。蝦夷との不明確な国境線には他の古代の国々とは異なる、城柵がある。東北地方ならではの城柵遺跡を発掘調査成果からみてゆく。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
20	陸奥国の郡衙	国の下部組織に郡がある。福島県内では二本松郡山遺跡、清水台遺跡など郡衙や駅に相当する可能性がある遺跡が発掘されている。遺跡と郡衙を繋げる研究を概観する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
21	遣唐使と天平文化	続日本紀と中国の記録などから、遣唐使の活動を記述している。まずはその記述内容を学ぶ。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60
22	東大寺・正倉院研究	東大寺と正倉院には1500年の歴史が詰まっている。国家珍宝長に記載されている資料の同定作業から始まり、伝世資料の研究がある。さらに、世界の宝正倉院の資料保存の問題など、物質資料研究法を学ぶ。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
23	平安遷都と対蝦夷政策	桓武天皇即位までの天皇血統問題。考古資料では知ることのできない天皇の血筋問題。それが政治にどのように藩営しているのかを文献研究成果を見てゆく。さらに、蝦夷問題が中央でどのように見られていたのかを理解する。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
24	長岡京・平安京と寺院	考古学的研究成果は行政発掘で明らかにされるが、千年の都には千年の歴史が重層している。京都府埋蔵文化財研究センターの仕事から学びたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表	60
25	平安時代の多賀城・城柵	蝦夷政策の最前線の考古学的成果をみてゆきたい。多賀城、秋田城、城輪柵、弘田柵、伊治城、東山遺跡、城生柵、桃生城、玉造柵、色麻柵など多数ある。さらに北進した陸奥国府は胆沢城、徳丹城、紫波城である。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
26	平安時代の陸奥国生産遺跡－鉄・須恵器・瓦・塩－と寺院	鉄生産は福島県相馬市一帯に広がる製鉄遺跡群横大道製鉄遺跡などである。須恵器・瓦窯は多賀城関連の台原窯跡、日出山瓦窯、木戸瓦窯などである。製塩遺跡は松島湾沿岸の製塩遺跡が挙げられる。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
27	平安京の成熟と都市王権の展開・摂関政治の実像	平安時代を特徴づける貴族政治を文献史学の研究成果から理解を深めたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合があ	60
28	国風文化と唐物の世界・受領と地方社会	平安時代の王朝文化を彩る国風文化とそれを支えた地方経済について、文献資料成果を見てゆきたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60
29	平安時代の集落：笹山原遺跡	郡山女子大学短期大学部で20年間発掘して見えてきた土師器生産集落の姿を、文献史学の成果を学んだあとで、考古学の成果をみて、そのギャップを知ってもらう。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、調べて置き次の授業に備えること。発表させる場合がある。	60
30	平将門・藤原純友の乱の再検討、平泉と奥州藤原氏	古代の終末について、文献史学研究成果を学ぶ。時間があれば、世界遺産となった奥州平泉の発掘成果を見てゆきたい。	テキストを事前に読んでおき、授業部分を要約しておくこと。発表させる場合がある。授業終了後関連資料を例示するので、	60

授業名	パソコン実務演習	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 1年 2単位 選択
担当教員名	◎山口 猛		
開講期			
授業の概要	パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。具体的には、子どもや家庭を対象とした情報モラル教育を題材として、一貫した資料作成・アンケート調査・データ集計・プレゼンテーション資料の作成を行う。実務で求められる業務資料作成に必要な文書作成ソフトの技能を学習する。また、表計算ソフトを用いた集計方法とグラフ作成を理解し、データ集計の基礎を身に着ける。最後に、プレゼンテーションソフトを用いた表現方法と動画作成技法を学ぶ。		
授業の到達目標	1. 情報モラルを把握していること 2. 実務で求められる文書作成ソフトの操作ができること 3. 独自性を持った資料作成を行うための創意工夫ができること		
履修条件	なし	成績の 評価方法・基準	達成目標の到達度合いは課題により評価する。内容の区切りで課題を提示し演習と確認を行う。評価は資料作成演習（アンケート用紙作成）30%、データ集計演習（アンケート結果集計）30%、プレゼンテーション演習（説明スライド作成とプレゼンテーション実施）40%とする。
テキスト	なし、適宜資料を配布する		
参考書	なし		
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。		
位置付け・水準	ES2120		
ディプロマポリシーとの関係	「専門的学識」「問題発見・解決力」		
オフィスタイム	月曜1限・月曜3限 芸術館2階No.3地域創成学科研究室		
アクティブラーニング実施内容	授業全体を通してパソコン操作を含むアクティブラーニングを実施		
実務家教員の経歴	システムエンジニアとして株式会社エフコムに勤務 システム開発・情報処理の経験をもとに、文書作成・表計算・プレゼンテーションについての授業を行う。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業内容を説明と、パソコンの基本設定を確認する	実施個所について、再度実施し、復習する。	30
2	情報モラルの理解	子どもの情報モラルに関する現状を理解する。統計資料や、子ども・保護者向け情報モラル講習の内容を踏まえて、課題にも触れる。	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
3	情報モラルの指導	第2回で学習する情報モラル教育の具体例として、タイムマネジメントとリスクマネジメントを理解する。	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
4	著作権・肖像権	教材や資料作成で注意すべき、著作権や肖像権について学ぶ。特に、最近では園の活動の様子をホームページ公開する次回以降の資料作成で必要な対策を理解する。	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
5	資料作成演習（1）	情報モラルの現状を保護者調査するためのアンケート用紙を想定し、フォント・インデント・挿入・PDF等の機能理解を行い、文書作成演習を行う。（学習機能：オートコレクト、特殊文字、フォント変更、行の間隔、段落の間隔、配置、インデント、書式コピー、強調表示、ワードアート、ページ区切り、段組みなど）	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
6	資料作成演習（2）	第5回の続き（学習機能：表作成、ページ設定、ヘッダー・フッター、頁番号、PDF作成など）	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
7	資料作成演習（3）	完成したアンケート用紙の講評と、改善点の確認及び修正を行う。	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
8	データ集計演習（1）	第7回までに作成したアンケート用紙を用いたアンケートの模擬実施、および表計算ソフトでのデータ集計を行う。（学習機能：テーブル作成・管理・スタイル・レコード抽出並び替えなど）また、などクラウドサービスを用いたWEBアンケートを紹介する。	実施個所について、再度実施し、復習する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	データ集計演習（2）	第8回の続き（学習機能：関数・条件付き書式・グラフ作成など）	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
10	プレゼンテーション演習（1）	完成した集計結果を用いて、子どもや保護者に対する情報モラル教育の指導内容を検討する。指導内容は、次回以降作成するプレゼンテーションスライドの基となる。	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
11	プレゼンテーション演習（2）	アンケート子どもや保護者向けを想定したプレゼンテーション用スライド作成演習を行う。（学習機能：挿入、アニメーション、録画など）	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
12	プレゼンテーション演習（3）	第11回の続き（学習機能：挿入、アニメーション、録画など）	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
13	プレゼンテーション演習（4）	第12回の続き（学習機能：挿入、アニメーション、録画など）	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
14	プレゼンテーション演習（5）	作成したプレゼンテーションを用いた発表を行う	実施個所について、再度実施し、復習する。	60
15	振り返り	これまでの学習内容を振り返り、総括する。	実施個所について、再度実施し、復習する。	60

授業名	保育課程特論	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 1年 2単位 必修/短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 2年 2単位 必修	
担当教員名	◎賀門 康博			
開講期				
授業の概要	この授業では、基本的は理論をもとにしつつ、実際の保育現場におけるカリキュラムマネジメントの在り方について学修していく。教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領において「「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ教育課程を編成すること、教育課程の実施状況の評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各幼稚園の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）と示されている点からも、園の組織と共に保育者自身が教育課程を編成していく事が重要であり、授業を通してその力を身につけていく。 実務経験（賀門康博）：幼稚園教諭（現在は園長）として郡山女子大学附属幼稚園に勤務 〃（奥美代）：幼稚園教諭（現在は副園長）として郡山女子大学附属幼稚園に勤務 位置づけ・水準 ES2104			
授業の到達目標	本科目は、ディプロマ・ポリシーの「問題発見・解決力」と「キャリア形成力」に対応している。 乳幼児の発達や興味・感性、その背後にある社会環境や生活の流れへの理解を深めながら、子ども達が充実感を持って活動出来る保育課程(カリキュラム)作成への理解を深めつつ、実践事例とその考察を行って、実践力を高めていく。保育課程への考察、作成などの学習を通じ、発達の連続性や保育者としての役割・責務を把握していく。 ①保育におけるマネジメントの意味とその意義について理解できたか。 ②カリキュラムマネジメントにおけるPDCAの意味とその意義について理解できたか。 ③実践例などを元に、保育の各場面におけるカリキュラムマネジメントの実践について理解が深まったか。 単位認定の最低基準：「内容の7割を理解していること」			
履修条件	原則として、幼稚園教諭一種免許状取得希望者	成績の 評価方法・基準	授業参加度30％ 試験70％	
テキスト	なし(適宜資料配付)			
参考書	・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省） ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府） ・池田幸代、田中謙編著『マネジメントする保育・教育カリキュラム』（教育情報出版） ・松本峰雄監修、浅川蒨子他著『保育の計画と評価 演習ブック』（ミネルヴァ書房）			
学生への要望	授業用のノートを用意すること。 欠席、遅刻はしないようにすること。 保育における「乳幼児の発達」と「ねらい・方法」の関係を意識し、授業内容に沿った気づきや発想を、積極的に発言すること。			
位置付け・水準	位置づけ・水準 ES2104			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	実務経験（賀門康博）：幼稚園教諭（現在は園長）として郡山女子大学附属幼稚園に勤務 〃（奥美代）：幼稚園教諭（現在は副園長）として郡山女子大学附属幼稚園に勤務			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション（本授業の概要等について）	講義の内容、予定、評価など、授業に関する説明を聞く。 また、保育課程を考える時に重要な「乳幼児の発達」と「興味・関心」「社会環境」について、保育現場としての基本的な考え方について知る。	これまでの学修内容やニュースなどから、現代の保育を取り巻く環境や問題について考えておく。	30
2	社会状況との関係から考える保育3法令の変遷の歴史について	保育3法令の意味について改めて確認するとともに、その背景にある社会的な意義や目的について知り、自分なりに考えてみる。	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の記載を概観する。	30
3	乳幼児期における「生きる力」と育みたい資質・能力について	前回の授業内容等を元にしなが、現代を生きる子ども達にとって必要な資質を知り、その重要性について考察をしていく。	「認知能力」「非認知能力」「10の姿」というキーワードの意味について改めて復習し、それぞれの実践場面についてイメー	30
4	保育における「カリキュラム」の考え方について	保育現場におけるカリキュラムの位置づけを知り、子ども達に寄り添った保育の在り方について考える。	保育実践とカリキュラムの位置づけについて、これまでの学修内容を振り返り概観しておく。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	保育における「カリキュラムマネジメント」の意義とその範囲について	カリキュラムマネジメントについての見方やポイントや、マネジメントにおいて重要な振り返りや省察の技法などについて知る。	これまでの自らの実習経験を振り返り、客観的に保育を振り返る姿勢や視点を概観する。	30
6	P D C A サイクルに基づくカリキュラムマネジメントとは	カリキュラムマネジメントを行う考え方の一つである P D C A を理解するとともに、その活用の仕方について学ぶ。	PDCAという技法について予め調べるとともに、保育におけるPDCAの意義を考える。	30
7	保育の記録と省察（１） ～保育における様々な記録とその意味～	保育計画において根本となる子どもの読み取りについて、その基礎となる記録の仕方とその意味について改めて確認するとともに実践的な演習を行う。	保育実践における省察に活用できる記録とは何かについて、これまでの学修内容等から概観する。	30
8	保育の記録と省察（２） ～記録からの省察について～	前回の授業を元に、記録から指導計画に繋がる子どもの姿の読み取りについて演習を行い、振り返り(省察)の考え方について学ぶ。	前回の授業内容について復習を行うとともに、省察に活かせる記録の要素などについて考える。	30
9	幼稚園、保育所、こども園におけるマネジメントの実践例から考える（１）	これまでの保育計画や教育課程についての学びから、保育場面におけるカリキュラムマネジメントの実例を元にその意味について検討を行う。（主に0～2歳）	0～2歳児の保育内容について、自らの実習などの経験を想起し、振り返りを行う。	30
10	幼稚園、保育所、こども園におけるマネジメントの実践例から考える（２）	これまでの保育計画や教育課程についての学びから、保育場面におけるカリキュラムマネジメントの実例を元にその意味について検討を行う。（主に3～5歳）	3～5歳児の保育内容について、自らの実習などの経験を想起し、振り返りを行う。	30
11	特別なニーズのあるこどもの支援に関するマネジメントについて（１）	支援が必要な子やグレーゾーンの子について、現場での合理的な配慮やカリキュラムマネジメントの意味を知り、実践例などから考察を行う。	「支援が必要な子」と「グレーゾーンの子」の違いについてこれまでの学修内容等を振り返る。	30
12	特別なニーズのあるこどもの支援に関するマネジメントについて（２）	支援が必要な子やグレーゾーンの子について、園全体として取り組むマネジメントの仕方について学び、実践例などから考察を行う。	先の授業内容を元にしつつ、園の教育・保育課程とクラスのカリキュラムについてどう連動させていく事が出来るかについて想起する。	30
13	保護者との連携をマネジメントする意味とその方法について	子ども達の背後にある家庭の状況を知り、保護者との連携の仕方や家庭支援の仕方を知り、事例などから保育としてどう取り組んでいけるかについて考察を行う。	現代の家庭を取り囲む課題について、ニュースなどから情報を集め、自分なりに必要な課題を考えてみる。	30
14	地域、関係機関との連携や接続に関するマネジメントについて	園を取り巻く社会資源について知り、各専門機関や社会環境との連携の仕方や活用の仕方について学ぶ。	これまでの学修内容や各情報などから保育に関連する機関は何かがあるかを考え、その関連性について概観する。	30
15	まとめ	これまで授業で学んできたことを、トータル的に振り返り、保育課程の役割やマネジメントする意義等を再確認する。	ノートやプリントを整理し、これまでの保育課程に関する視点を再確認する。	30

授業名	保育学	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎山上 裕子			
開講期				
授業の概要	「保育原理」「教育原理」で学修した内容を基礎にした講義を行う。内容は、母性、子どもの権利、自己実現、コミュニティーなどのトピックにおいて、コメニウス、ペスタロッチ、ルソー、フレーベル、マスロー、デューイ等の教育思想を取りあげる。方法は、講義に加え、議論を行う。最終授業で全体に対するフィードバックを行う。			
授業の到達目標	次の項目の70%以上を達成目標とする。 ①現代の保育の在り方を考えるため、過去の保育思想を理解できたか。 ②授業で取りあげられたトピックについて、多くの議論が積み重ねられてきたことを理解できたか。 ③他の受講生との議論をととして、多様な見方や考え方ができたか。			
履修条件	幼稚園教諭一種免許状取得希望者	成績の 評価方法・基準	授業参加度 50% レポート50%	
テキスト	特に指定しない。			
参考書	適宜、授業で紹介し、資料を配布する。			
学生への要望	自身の問題意識と関連付けて受講されることを望みます。			
位置付け・水準	ES2101			
ディプロマポリシーとの関係	「専門的学識」「問題発見・解決力」			
オフィスタイム	火、金 14：40～16：10 833研究室			
アクティブラーニング実施内容	授業内の議論			
実務家教員の経歴	盲学校・小学校教員経験			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	講義内容について説明を受け、到達目標や評価方法を確認する。「保育原理」「教育原理」で学修した人物の思想について振り返る。	シラバスを通読し、「保育原理」「教育原理」で学修した人物を振り返る。	60
2	保育における母性の語られ方①	母親という概念枠組みから解放された意味での母性について、コメニウスやペスタロッチらが母親そして母性をどのように語っているかを学ぶ。	資料を読む。	60
3	保育における母性の語られ方②	キンダーガルテン創始者のフレーベルが、母性をどのように語っているかを学ぶ。	資料を読む。	60
4	保育における母性の語られ方③	これまでの授業内容から、保育において母性をどう考えたらよいか。家庭の役割や意味との関連から受講生同士で議論をし、ミニポートにまとめる。	議論をまとめる。	60
5	啓蒙思想と教育	理性の力に信頼をおく啓蒙思想家たちが、教育にどのような意味を見出してきたのか。ルソーの『エミール』から、守られるべき存在から主体として生きる人間教育について学ぶ。	資料を読む。	60
6	子どもの権利と学校教育制度	近代化が進むにつれて、児童労働、貧困などの社会問題が生じていくなかで、近代学校教育制度が整備され、識字率が上昇したことを学ぶ。	資料を読む。	60
7	セツルメント活動と保育①	イギリスに端を発するセツルメントと保育との関連を、イタリアのマリア・モンテッソーリによる「子どもの家」の実践をとおして学ぶ。	資料を読む。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	セツルメント活動と保育②	セツルメント活動の取り組みから生まれてきた保育について、ジェーン・アダムズのハルハウスの実践や日本の紙芝居などを取りあげる。	資料を読む。	60
9	子どもの権利と保育	これまでの授業内容から、子どもの権利に関わる取り組みについて議論し、ミニレポートにまとめる。	議論のまとめる。	60
10	教育における自己実現	何に価値を求めるかによって人は生き方が変わる。マスローの欲求の段階を学び、教育で語られる自己実現について学ぶ。	資料を読む。	60
11	遊びという至高経験	マスローは自己実現を至高経験において最も高く、深くなされるといい、子どもにおいてそれは遊びにみられるという。遊びにみられる至高経験について学ぶ。	資料を読む。	60
12	コミュニティと教育	民主主義社会の教育において、コミュニティという観点を示したデューイ。コミュニティの観点と教育の関連について学ぶ。	資料を読む。	60
13	道徳性の芽生え	コミュニティの一員としての道徳性の芽生えとみられる事例をデューイの『学校と社会』から取りあげ、具体的な子どもの活動から道徳性の芽生えについて学ぶ。	資料を読む。	60
14	保育におけるコミュニティの 実践	これまでの保育活動（実習含む）等において、道徳性の芽生えとみられる子どもの姿を、受講生同士で紹介しあい、今後の保育のあり方を議論する。	議論をまとめる。	60
15	まとめ	これまで学んできたことを振り返り、レポートにまとめ、解説を受ける。	議論をまとめる。	60

授業名	臨床心理学	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 1年 2単位 必修
担当教員名	◎宇治 和子		
開講期			
授業の概要	臨床心理学とは、心に何らかの問題を抱える大人や子どもに対し、心理学の観点から、問題の理解と解決につながる糸口を示し支援する方途を探索する学問です。従来の臨床心理学の基本となる考え方の他に、昨今の家族構造の変化を鑑み、親子関係や家族関係に焦点を当てて取り扱われる問題を幅広く紹介します。 各種課題は授業内にて随時返却 or 口頭フィードバックしていきます。		
授業の到達目標	本授業は、以下2点を達成目標（8割以上で単位認定）とします。 ・臨床心理学がどのような学問か説明できる。 ・家族や子どもに対する心理的関わりにはどんなものがあるか概略を説明できる。		
履修条件	幼児教育学専攻科1年	成績の 評価方法・基準	ディスカッションへの積極的参加（50％）、授業内課題提出（50％）により評価します。
テキスト	教科書は使わず、レジュメ、資料を配布します。		
参考書	授業の中で、随時紹介します。		
学生への要望	資料等を工夫してイメージしやすい授業を心がけるので、積極的な授業参加を期待します。		
位置付け・水準	ES2108		
ディプロマポリシーとの関係	この科目は、本専攻科DPの「専門的学識」「社会貢献力」に関連しています。		
オフィスタイム	授業の前後に質問を受け付けます（研究室836）。		
アクティブラーニング実施内容	グループワーク・ディスカッションなど		
実務家教員の経歴	この授業は、子ども家庭福祉の現場で心理職（臨床心理士・公認心理師）として実務経験のある教員が担当します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	臨床心理学とはなにか	・幼児理解と臨床心理学の関係について説明する	このテーマに関連する参考資料や図書を紹介するので、それを読み知見を広げる	60
2	臨床心理学の歴史・考え方・立	・臨床心理学の歴史の大枠を説明する	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
3	臨床心理学的アプローチ	・子ども領域の臨床心理学について説明する	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
4	臨床心理学的アプローチ	・臨床心理学的接近法の理論を説明する ・子どもの行動をより深く理解する必要性について説明する	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
5	臨床心理学的アプローチ	・臨床心理学的接近法の理論を説明する ・子どものところに寄り添うことの必要性や方法について説明する	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
6	臨床心理学の世界 1	・夢分析（ユング心理学を中心に）について ・臨床心理学的理解と対応についてディスカッションする	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
7	臨床心理学の世界 2	・認知行動療法について ・臨床心理学的理解と対応についてディスカッションする	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
8	臨床心理学の世界 3	・内観療法（アレンジ合）について ・臨床心理学的理解と対応についてディスカッションする	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
9	臨床心理学の世界 4	・芸術療法（ポエムを中心に）について ・臨床心理学的理解と対応についてディスカッションする	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
10	臨床心理学の世界 5	・遊戯療法（コラージュ療法を中心に）について ・臨床心理学的理解と対応についてディスカッションする	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
11	心理療法の世界 1	・現代社会とジェンダー	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
12	心理療法の世界 2	・現代社会と産業ストレス・うつ	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
13	心理療法の世界 3	・現代社会と自殺の問題	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
14	心理療法の世界 4	・現代社会と性の問題	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
15	心理療法の世界 5	・現代社会と依存の問題 ・まとめ	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60

授業名	臨床心理学演習	配当年次 単位数	短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 1年 2単位 必修
担当教員名	◎宇治 和子		
開講期			
授業の概要	臨床心理学とは、心に何らかの問題を抱える大人や子どもに対し、心理学の観点から、問題の理解と解決につながる糸口を示し支援する方途を探索する学問です。臨床心理学の基本に基づいた人に対するかまえ、相談の受け方（接近の方法）、心理アセスメントの方法（DAM・遠城寺式乳幼児分析的発達検査・新版K式発達検査を中心に）などを体験的に学び、科学的視点をもちつつ寄り添いながら支援していくことについての考察を深めます。各種課題は授業内にて随時返却 or 口頭フィードバックしていきます。		
授業の到達目標	本授業は、以下2点を達成目標（8割以上で単位認定）とします。 ・相談支援を行う際の臨床心理学的対人接近の方法について、理解し実践できる。 ・心理アセスメントについて理解し、その知識を支援に活かすことができる。		
履修条件	幼児教育学専攻科1年	成績の 評価方法・基準	ロールプレイやディスカッションへの取り組み、積極的な授業参加（50％）、授業内課題やレポート提出（50％）により評価します。
テキスト	教科書は使わず、レジュメ、資料を配布します。		
参考書	授業の中で、随時紹介します。		
学生への要望	資料等を工夫してイメージしやすい授業を心がけるので、積極的な授業参加を期待します。		
位置付け・水準	ES2109		
ディプロマポリシーとの関係	この科目は、本専攻科DPの「問題発見・解決力」「キャリア形成力」に関連しています。		
オフィスタイム	授業の前後に質問を受け付けます（研究室836）。		
アクティブラーニング実施内容	ロールプレイなど		
実務家教員の経歴	この授業は、子ども家庭福祉の現場で心理職（臨床心理士・公認心理師）として実務経験のある教員が担当します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	臨床心理学的かまえ	・カウンセリングの理論について説明する ・カウンセリングマインドについて考えるワーク	このテーマに関連する参考資料や図書を紹介するので、それを読み知見を広げる	60
2	臨床心理学的接近の方法	・相談者の話を聞く姿勢と技法の説明 ・聞き方について考えるワーク	このテーマに関連する参考資料や図書を紹介するので、それを読み知見を広げる	60
3	アセスメントについて	・心理アセスメントについて説明する	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
4	心理療法について	・子どもが出す様々なサインについて説明する ・心理療法について説明する	このテーマに関連する参考資料や図書を紹 介するので、それを読み知見を広げる	60
5	心理アセスメント実習 1	・発達検査の種類について説明 ・グッドイナフ人物画知能検査（DAM）の実習	このテーマに関連する参考資料や図書を紹 介するので、それを読み知見を広げる	60
6	心理アセスメント実習 2	・遠城寺式乳幼児分析的発達検査法の実習	このテーマに関連する参考資料や図書を紹 介するので、それを読み知見を広げる	60
7	心理アセスメント実践実習	・DAM＋遠城寺式のロールプレイ実習	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
8	心理アセスメント実践実習	・DAM＋遠城寺式のロールプレイ実習後の分析	このテーマに関連する参考資料や図書を紹 介するので、それを読み知見を広げる	60
9	発達臨床心理アセスメント実習	・新版K式発達検査と発達支援	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
10	発達臨床心理アセスメント実習	・乳幼児健康診査との関連	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
11	発達臨床心理アセスメント実習	・新版K式発達検査の説明と実践	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
12	発達臨床心理アセスメント実習	・新版K式発達検査の説明と実践	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
13	発達臨床心理アセスメント実習	・新版K式発達検査の発達指数の算出	このテーマに関連する参考資料や図書を紹	60
14	発達臨床心理アセスメント実習 6	・他機関との連携 ・検査解釈例 1	このテーマに関連する参考資料や図書を紹 介するので、それを読み知見を広げる	60
15	発達臨床心理アセスメント実習 7	・保護者との関わり ・検査解釈例 2	このテーマに関連する参考資料や図書を紹 介するので、それを読み知見を広げる	60